

## 各部・所事業報告

# I 総務企画部 ～法人運営と公益事業、協働事業の推進～

## 1 地域共生・信州の推進

【一般会計—法人運営事業費】

【一般会計—地域福祉事業費】

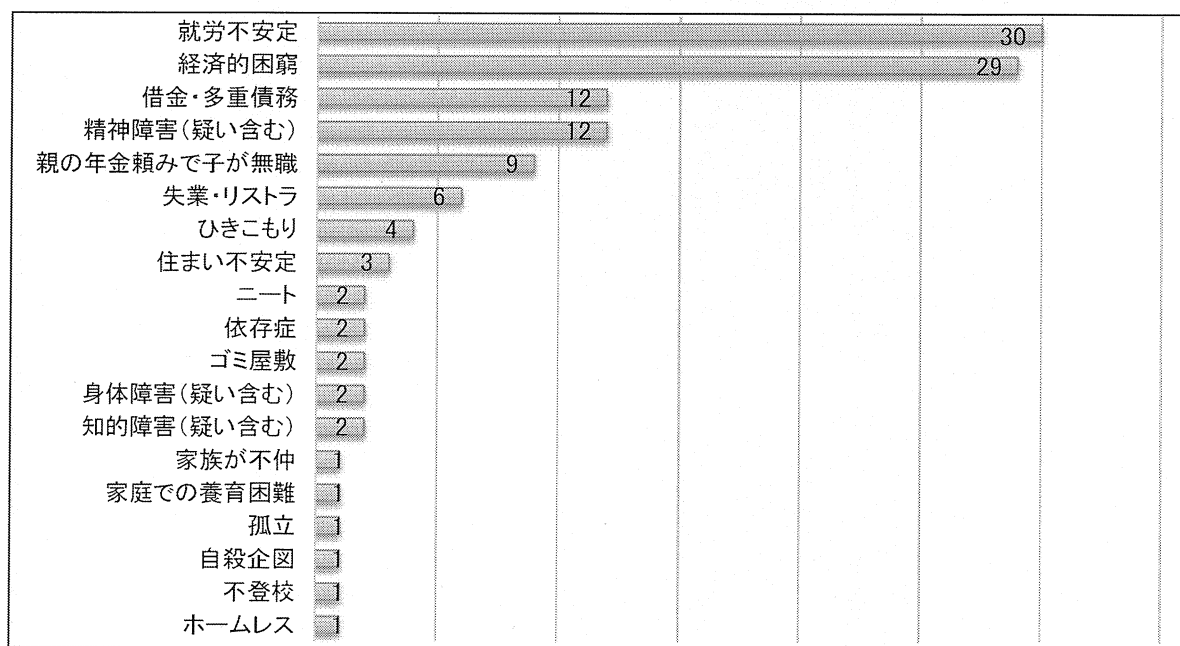
### (1) 地域共生社会推進事業

上伊那圏域の6町村をモデル地域として設定し、包括的支援体制づくりに向けて相談支援包括化推進員を配置し、支援が難航している複合的な課題を抱えた59世帯61人に対して、圏域内の生活困窮者自立相談支援機関（まいさぼ）、医療機関、成年後見支援センター、障がい者総合支援センターなどと連携を図り支援を実施した。また、平成30年度モデル地域の松本圏域4町村に対して、包括的支援体制づくりのためのフォローアップを行った。

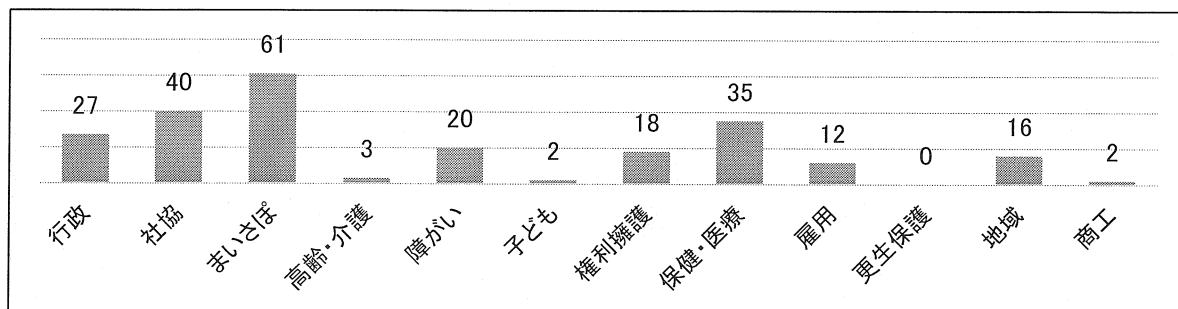
#### ① 相談者に対する支援の実施

|     |         |      |         |     |       |
|-----|---------|------|---------|-----|-------|
| 辰野町 | 8世帯8人   | 飯島町  | 10世帯11人 | 宮田村 | 6世帯6人 |
| 箕輪町 | 14世帯15人 | 南箕輪村 | 16世帯16人 | 中川村 | 5世帯5人 |

#### 相談事例内容（重複）



#### ② 相談支援包括化ネットワークの構築



### ③ 相談支援包括化推進会議の開催

#### (ア) 自治体別支援調整会議

| 自治体名 | 第1回      | 第2回       | 第3回          |
|------|----------|-----------|--------------|
| 辰野町  | 7月16日(火) | 11月11日(月) | 3月6日(金) ※中止  |
| 箕輪町  | 7月16日(火) | 11月11日(月) | 3月6日(金) ※中止  |
| 飯島町  | 7月19日(金) | 11月14日(木) | 3月4日(水) ※中止  |
| 南箕輪村 | 7月17日(水) | 11月13日(水) | 2月28日(金) ※中止 |
| 宮田村  | 7月17日(水) | 11月13日(水) | 3月2日(月) ※中止  |
| 中川村  | 7月19日(金) | 11月14日(木) | 3月4日(水) ※中止  |

出席者：行政（福祉担当）、社協、地域包括、まいさぼ、障がい者総合支援センター等

※新型コロナウイルス感染症対策として中止

#### (イ) 圏域ネットワーク会議（上伊那圏域6町村合同）

○ 第1回：令和元年5月30日（木）17人出席

○ 第2回：令和2年1月21日（火）※上伊那地域生活就労支援センター広域連絡会議 36人出席

#### (ウ) フォローアップ圏域（東筑）のネットワーク会議

○ 第1回：令和元年5月20日（月）15人出席

○ 第2回：令和2年2月14日（金）16人出席

### ④ 新たな社会資源創出のための取り組み

#### (ア) 自治体別事業

| 自治体名 | 事業人                               | 事業概要                                                           |
|------|-----------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 辰野町  | 地区社協へのアプローチによる地域住民の福祉力の向上         | 包括・社協との定例ミーティング(年6回)、「地区社協研修会」の計画(3月9日※中止)                     |
| 箕輪町  | 社会福祉法人連絡会による地域共生事業の推進             | 町内5事業所の定例会(年5回)、「ごちゃまぜ見本市」(連絡会主催)の開催(2月8日)                     |
| 飯島町  | 「ごちゃまぜ」をキーワードに公民館と連携したコミュニティ食堂の展開 | 5か所の公民館で開催(8月1日、5日、6日、7日、9日)。他に年間を通じてデイサービスにて「ごちゃまぜコンサート」の実施   |
| 南箕輪村 | 人生終焉後の不安をあんしんに変えるプロジェクト           | 「身寄りのない方等のエンディングに関する研究会」の開催(7月31日、12月19日)                      |
| 宮田村  | 複雑的・複合的な地域課題の発見及びつなぐためのシステムづくり    | 村内相談支援事業機関のつながりの強化を図る研修会の計画(3月19日※中止)                          |
| 中川村  | 福祉事業所の災害時の初動体制の構築を通じた地域と事業所連携の整備  | 村内福祉事業所による外部研修参加(2月6日)、研修会の実施(2月19日)。事業継続計画(BCP)の作成(令和2年度継続実施) |

#### (イ) 圏域事業

○ 上伊那圏域福祉フォーラム（上伊那圏域地域自治支援協議会主催）に参加

「災害時要配慮者の防災体制」に関するシンポジウムの講師

### ⑤ 包括的支援体制普及のための研修等の開催

#### (ア) 第3回地域共生社会推進長野フォーラム

○ 期 日 令和2年2月6日（木）

○ 会 場 松本市浅間温泉文化センター

○ 参加者 230人

- 内 容 基調講演「ボランティア精神が拓く 地域共生社会」（講師：同志社大学 上野谷教授）、シンポジウム（登壇者所属：長野市社協、社会福祉法人賛育会、JA ながの、浄光寺）

（イ）相談支援包括化推進員研修の開催

- 期 日 令和2年2月6日（木）
- 会 場 松本市浅間温泉文化センター
- 参加者 80人
- 内 容 基調説明「地域共生社会推進検討会 最終とりまとめ」を読み解く（講師：厚生労働省社会・援護局地域福祉課 玉置地域福祉専門官）、実践報告（富士見町社会福祉協議会、長野県社会福祉協議会）、意見交換「今後の地域共生社会推進施策について」

（ウ）機関誌「地域共生・信州」第2号の発行

A4判全12ページ 2,000部（自治体、市町村社会福祉協議会、福祉事務所等に送付）

（2） 福祉計画の促進

長野県地域福祉支援計画の初年度にあたり、県的福祉関係団体等のトップが一堂に会し、この計画の理念を共有し、民間福祉団体の協働によるアクションプランづくりをテーマにした長野県福祉懇談会を開催した。

また、第4次基本構想の期間最終年度につき、次期基本構想をこれまでの本会の発展強化計画としての機能に加えて、長野県の地域福祉の未来に向けて、民間福祉関係団体がそれぞれ願いや使命を目標化する「長野県地域福祉活動計画」として策定するため総合企画部会を開催した。

① 長野県福祉懇談会

- 期 日 令和元年7月10日（水）
- 会 場 ホテル信濃路（長野市）
- 参加者 34団体・機関（社協、福祉施設団体、当事者団体、職能団体、関係・協働団体、県行政）、36人
- 内 容 行政説明「長野県地域福祉支援計画について」（県健康福祉部 大月部長）  
基調説明「地域共生社会に向けて～長野県地域福祉活動計画（アクションプラン）～への期待」（同志社大学 上野谷教授 本会総合企画部会長）  
懇談「みんなで取り組むアクションプラン」に向けたご提案
- その他 <職員ヒアリング>県的福祉推進団体長及び社会福祉法人、市町村社会福祉協議会 68団体

② 総合企画部会

（ア）第2回

- 期 日 令和元年8月23日（金）
- 会 場 県社会福祉総合センター
- 出席者 委員9人※上野谷部会長（同志社大学教授）他オブザーバー（県地域福祉課長等）
- その他 <職員ワーキング会議>第1回：8月5日（月）、第2回：8月19日（月）

（イ）第3回 令和元年東日本台風災害の影響により延期



### (3) 共生みらいプロジェクト

地域共生と福祉の未来の視点から、住民参加で学び・体験できる福祉教育や福祉の仕事PRプログラムを募集し、県内各地の様々な学びの場での活用を促進した。

#### ① 訪問講座の開催(「福祉を学ぼう」訪問講座)

上田千曲高校生活福祉科生徒の協力を得て、主に小学生以下を対象に、大規模イベント会場内で実際のユニフォームを着用し、福祉現場のスタッフになりきって福祉のお仕事を模擬的に体験する「ふくしニア」を実施した。

【「ふくしニア」の実施実績(単位:人)】

| 期日                  | 場所       | 体験者数 | 備考                           |
|---------------------|----------|------|------------------------------|
| 6月23日(日)            | ビッグハット   | 100  | 「ハピスポ広場2019」内で実施             |
| 7月27日(土)<br>～28日(日) | ビッグハット   | 150  | 「体験と学びの環境博～信州環境フェア2019～」内で実施 |
| 7月28日(日)            | アザレアンさなだ | 38   |                              |
| 8月2日(金)             | 長野県庁     | 100  | 「夏休み県庁見学イベント」内で実施            |
| 9月8日(日)             | エス・バード   | 93   | 2019南信州お仕事キッズタウン内で実施         |
| 11月23日(土)           | 上田千曲高校   | 20   |                              |
| 計                   | 7日間      | 501  |                              |

#### ② 「信州共生みらいアイデアコンテスト2019」の実施

工学やデザイン等の様々な分野で学ぶ学生が各専門分野の知識を活かしたイノベーションの進展による福祉・介護現場の活性化、若者の福祉・介護業界への新規参入を促すことを目標に「信州共生みらいアイデアコンテスト2019」を開催した。

##### ア 実行委員会

- ・期 日 令和元年9月3日(火)
- ・会 場 県社会福祉総合センター(長野市)
- ・内 容 「共生みらいアイデアコンテスト」の進捗状況と今後の予定について

##### イ 応募者向けオリエンテーションの開催

標記コンテスト応募者が、福祉の現場で発生している課題を知り、当事者の声を聴き、アイデアをまとめる際の参考とするため、下記のとおりオリエンテーションを実施した。

##### ○ 岡学園トータルデザインアカデミー学生向け

- ・第1回 岡学園トータルデザインアカデミー(長野市)  
令和元年5月21日(火) 同校学生14名参加
- ・第2回 介護老人保健施設野澤苑(長野市)

- 令和元年 5 月 28 日 (火) 同校学生 14 名 参加
- ・ 第 3 回 長野市ななせ仲まち園 (長野市)
- 令和元年 6 月 4 日 (火) 同校学生 14 名 参加

#### ○ 長野大学学生向け

- ・ 第 1 回 長野大学 (上田市)
- 令和元年 6 月 19 日 (水) 同校学生 4 名 参加

### ウ 作品・アイデアの募集受付

募集内容「福祉×○○○」のコラボにより、福祉・介護の課題解決に役立つ、信州らしい技術、サービス、ビジネスモデル、政策アイデア等を募集。

- ・ 募集期間 平成 31 年 4 月 24 日 (水)～令和元年 6 月 10 日 (月)
- ・ 募集対象 県内の高校、専門学校、高等専門学校、大学、短期大学等の学生チーム
- ・ エントリー数 信州大学教育学部、長野大学企業情報学部・福祉学部、駒ヶ根工業高等学校、岡学園トータルデザインアカデミーの 4 校、計 20 チーム

### エ 審査会

#### ○ 第 1 次審査

エントリーのあった 20 作品・アイデアについて書類審査を行い、11 作品・アイデアを第 2 次審査に諮るものとして選考した。

#### ○ 第 2 次審査

第 1 次審査で選考された作品を対象に審査会を行い、受賞者を決定した。

- ・ 期 日 令和元年 9 月 5 日 (木)
- ・ 会 場 長野県立図書館 (長野市)
- ・ 内 容 1 チーム 10 分以内のプレゼンテーションにより審査を行った
- ・ 審査員 藤原忠彦 (長野県社会福祉協議会会長)  
佐藤正雄 氏 (長野県社会福祉法人経営者協議会会長)  
小池玲子 氏 (長野県社会教育委員連絡協議会会長)  
山田光徳 氏 (長野県在宅福祉機器協議会会長)  
増澤良雄 氏 (福祉を考える企業の会会長)

- ・ 審査結果 審査結果以下の 2 チーム・3 個人に 5 賞授与を決定した

| 賞                      | チーム(個人)名                   | テーマ                    |
|------------------------|----------------------------|------------------------|
| 長野県教育委員会賞              | 駒工 Z<br>(駒ヶ根工業高等学校)        | 介護職の為のゆっくりリフター         |
| 長野県社会福祉協議会<br>会長賞      | とろチャレ<br>(信州大学教育学部)        | とろみの付き具合が測定できる<br>アイデア |
| 長野県社会福祉法人<br>経営者協議会会長賞 | 井澤詩萌<br>(岡学園トータルデザインアカデミー) | ショーステイ時の荷物チェックの改善案     |

|                     |                             |                              |
|---------------------|-----------------------------|------------------------------|
| 長野県在宅福祉機器協議会<br>会長賞 | 山崎隆道<br>(岡学園トータルデザインアカデミー)  | 食事介助用のエプロンデザイン               |
| 福祉を考える企業の会<br>会長賞   | 青木くるみ<br>(岡学園トータルデザインアカデミー) | 誰にとっても楽しく遊べるユニバーサルカラーすごろくの提案 |

#### オ 表彰式

- ・期 日 令和元年9月20日(金)※第68回長野県社会福祉大会と併せて実施
- ・会 場 駒ヶ根市文化会館
- ・対 象 受賞決定した2チーム、3個人
- ・内 容 表彰状授与、受賞者によるプレゼンテーション

### (4) 地域福祉の基盤強化

#### ① 市町村社協トップセミナー

- 期 日 令和元年8月27日(火)
- 会 場 レザンホール(塩尻市)
- 参加者 133人(41社協:15市、26町村)
- 内 容
  - <基調講演>「地域共生社会の実現に向けた市町村社会福祉協議会の使命」  
上野谷加代子氏(同志社大学社会学部教授、本会総合企画部会長)
  - <先進実践報告>滋賀の縁創造実践センターの実践に学ぶ  
谷口郁美氏(滋賀県社会福祉協議会事務局長)
  - <対談>「社会福祉法人との協働による“あんしん未来”の創造を考える」  
上野谷加代子氏(再掲)、谷口郁美氏(再掲)
  - まとめのセッション「(仮称)信州ふっころプランの策定に向けて」  
説明:長野県社会福祉協議会

#### ② 市町村社会福祉協議会事務局長研究協議会

令和元年東日本台風災害に関連し、当初予定していた内容を変更、短縮して実施した。

- 期 日 令和元年11月7日(木)～8日(金)
- 会 場 ホテル鷺乃湯(諏訪市)
- 参加者 54人
- 内 容
  - 基調報告 「台風19号災害への対応について」  
説明:長野県社会福祉協議会 長野市社会福祉協議会
  - 基調協議 「社協経営改革・改善について」  
<実践報告>
    - ・大沢和博氏(飯田市社会福祉協議会理事・総務課長)
    - ・宮本賢太郎氏(奈良県大淀町社会福祉協議会事務局長)
  - <コーディネーター>  
小林 功氏(富士見町社会福祉協議会介護保険事業所長)  
(全社協・地域福祉推進委員会 市区町村社協介護サービス経営研究会幹事)
  - 研究協議 「働き方改革への対応について」

<実践報告>

- ・小池浩史 氏（伊那市社会福祉協議会事務局次長）

<分科会助言>

- ・山下大輔 氏（成迫会計事務所福祉コンサルティング事業部長）
- ・上條通夫 氏（県社協経営相談事業アドバイザー）
- ・県働き方改革推進支援センター登録社会保険労務士
- ・社会福祉施設アドバイザー事業登録社会保険労務士

特別講義 「地域共生社会に向けた市町村社協への期待」

講師 宮島 渡 氏

地域共生社会推進検討会（厚生労働省 社会・援護局 設置）委員  
社会福祉法人恵仁福祉協会理事長

評価： 「地域共生・信州」の目標を実現していくため、企画グループを中心に市町村社協や福祉関係団体との協働促進や本会各部門間の企画調整を行った。

地域共生社会推進事業では、相談支援包括化推進員を本会に設置してモデル圏域に深く関り、各市町村での配置促進の必要性を示した。今後もフォローアップを続ける必要がある。

長野県地域福祉支援計画の初年度にあたり、「長野県地域福祉活動計画」を策定するため、総合企画部会を開催し、ヒアリングや福祉懇談会の開催など民間福祉団体の意見集約も行った。令和元年東日本台風災害により策定が延期となっており、次年度に完成予定となっている。

## 2 総合企画と部門間連携

【一般会計－法人運営事業費】

【一般会計－共同募金配分金事業費】

【一般会計－地域福祉事業費】

### （１） 災害福祉広域支援ネットワーク事業

平成31年2月に発足した長野県災害福祉広域支援ネットワーク協議会（災福ネット）の活動を本格化すべく、先進地の取組を学びながら災害派遣福祉チーム（長野県ふくしチーム）員の養成研修を開催し、チーム員の登録を行った。令和元年東日本台風災害においては、長野県ふくしチーム員を避難所へ派遣するとともに在宅避難者支援及び被災事業所支援に取り組んだ。

#### ① “災福ネット”の運営

##### （ア） 総 会

- 期 日 令和2年1月17日（金）
- 会 場 県社会福祉総合センター
- 参加者 26人
- 内 容 議題1 災福ネット加入希望について（一般社団法人長野県助産師会）  
議題2 令和元年度事業の進捗状況について  
議題3 令和2年度事業計画及び予算について

<正副会長会議>

[第1回]

- 期 日 令和元年6月25日（火）

<先進地視察>

- 期 日 令和元年6月25日（火）～26日（水）
- 視察先 令和元年度第1回京都府災害派遣福祉チーム養成研修、福祉施設における防災対策の取組について[社会福祉法人成光苑 ライフ・ステージ舞夢(京都府舞鶴市)]
- 参加者 8人

<部 会>

[第1回]

- 期 日 令和元年7月10日（水）
- 会 場 ホテル信濃路（長野市）
- 参加者 17人
- 内 容 長野県災害派遣福祉チーム設置要綱(案)について  
長野県災害派遣福祉チーム員養成研修内容の検討について  
今後のスケジュールについて  
その他（各団体の動き、災福ネット先進地視察研修の報告等

[第2回]

- 期 日 令和2年3月3日（火）  
新型コロナウイルス感染症の影響により延期、後日書面決議
- 内 容 長野県災害派遣福祉チーム設置要綱の改正について  
チーム員養成研修の実施方法について  
チーム運営体制の強化に向けた当面の方針について

<広報活動>

- リーフレットの作成、長野県ふくしチーム員用ビブスの作成
- 市長会、町村会への説明及び市町村社協への説明

(イ) 令和元年東日本台風災害における支援活動

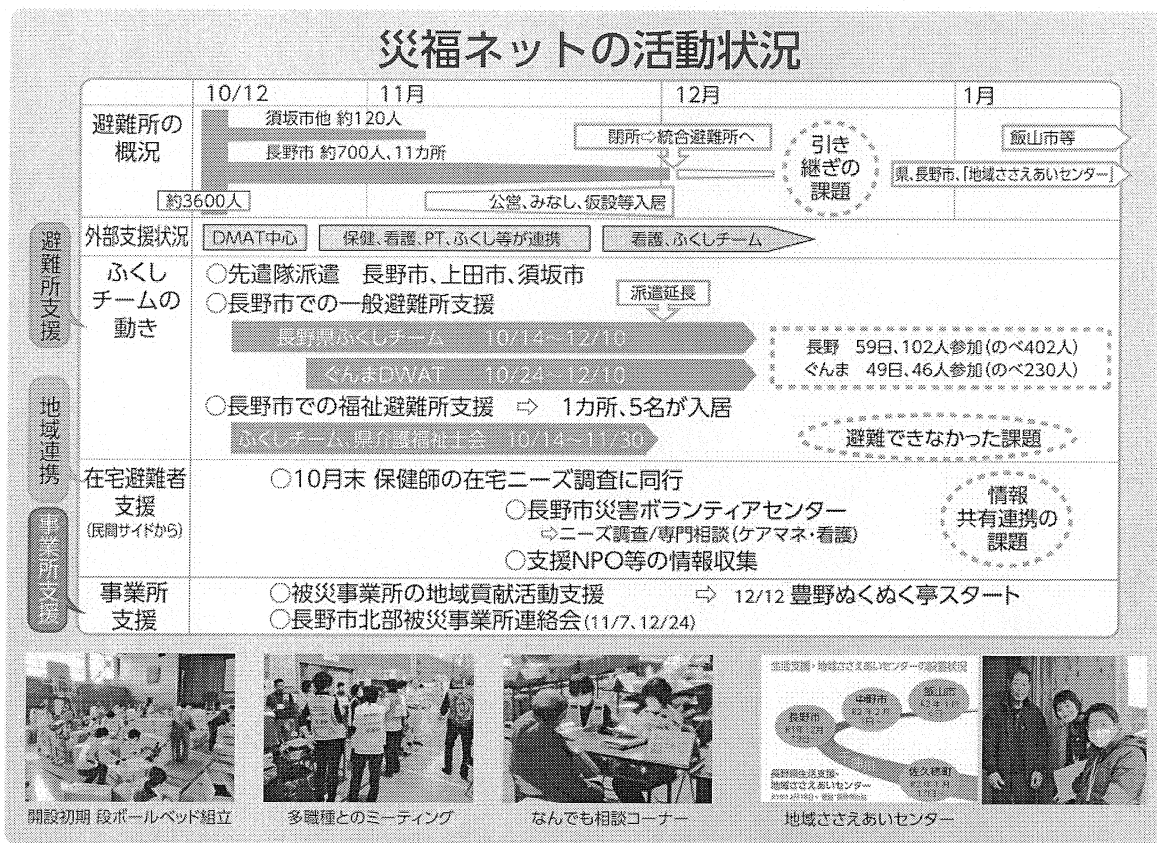
○ 活動の概況

災福ネットでは長野市、須坂市、上田市の避難所に先遣隊を派遣するとともに、長野市の依頼に基づいて長野県から要請を受けて、長野市内の避難所に長野県災害派遣福祉チームを初めて派遣するなど、避難所支援、被災事業所支援、地域連携の3つの支援に一体的に取り組んだ。

○ 長野県ふくしチームの派遣実績

|                        |                  |          |
|------------------------|------------------|----------|
| 活動者数                   | 102人             | 派遣地域：長野市 |
| 活動日数                   | 59日間             |          |
| のべ活動者数                 | 420人             |          |
| 平均活動日数<br>(コーディネーター除く) | 3.6日<br>(1日～15日) |          |

〈災福ネットの活動状況〉



〈長野県ふくしチームの活動〉



<在宅避難者への支援（保健師による在宅ニーズ調査への同行）>

10月下旬から県外からの応援保健師チームを中心とした被災した約5,000世帯を対象に訪問調査が行われた。

長野県ふくしチームでは、長野市の了解を得て保健師によるこの調査に同行し、生活課題や福祉課題の把握を試みたが、保健師調査との項目の違い等から同行を続けることができず、調査範囲は一部の地区にとどまった。

○ 長野市災害ボランティアセンターにおける専門相談の実施

・長野県介護支援専門員協会による専門相談の実施

(期 間) 11月28日(木) から12月13日(金)

(人 数) 23名

・長野県看護協会による専門相談

(期 間) 11月28日(木) から12月13日(金)

(人 数) 91名

○ 長野県介護福祉士会による介護職派遣

長野市内の福祉避難所及び避難所の介助用務に従事するため、長野県福祉チームの活動の一環として、長野県介護福祉士会の調整により介護福祉士を派遣した。

(期 間) 10月28日(月) から12月13日(金)

(活動場所) 福祉避難所(長野市北部保健センター)の日勤・夜勤、自衛隊風呂(北部レクリエーションパーク及び豊野西小学校)の介護

(活動者) 255名

(ウ) 被災地福祉施設・事業所への支援と地域貢献活動の促進

○ 取組の概要

| 項 目              | 活動内容                                       | 根拠、財源等                   |
|------------------|--------------------------------------------|--------------------------|
| ○被災事業所のニーズ把握     | ○県社会福祉法人経営者協議会被災状況、支援ニーズ調査(会員法人向け)         |                          |
|                  | ○長野市北部地域被災社会福祉法人連絡会議(第1回 11/7、第2回 12/24)   |                          |
|                  | ○災害対応に係るケアマネージャー・相談支援専門員の事務学習会(10/31、11/1) |                          |
| ○被災事業所の地域貢献活動の促進 | ○社会福祉法人賛育会職員が災害ボランティアセンターのニーズ調査等に従事        | ・全国社会福祉法人経営者協議会災害助成事業    |
|                  | ○特養「りんごの郷」敷地を災害VCサテライトに提供(社会福祉法人ジェイエー長野会)  | ・県社協災害ボランティア本部経費(共同募金)   |
|                  | ○社会福祉法人とNPOが連携して在宅避難者支援拠点「ぬくぬく亭」を開設        | ・共同募金(ボラサポ中・長期活動助成)      |
| ○農福片付けプロジェクト     | ○長野市から、農地への漂着ごみの片付け業務を受託＝農福片付けプロジェクト       | ・長野市委託事業(農地の災害復旧事業費、国負担) |

○ 農福片付けプロジェクト

(事業名) 長沼地区・豊野地区漂流ごみ運搬事業

(実施主体等) 委託元 長野市

受託法人：社会福祉法人長野市社会事業協会

参加法人：社会福祉法人絆の会、社会福祉法人花工房福祉会、社会福祉法人  
長野県社会福祉協議会（とりまとめ）

(期間) 第1期 令和元年12月3日（火）～12月20日（金）（平日のみ）

第2期 令和2年1月7日（火）～1月31日（金）（平日のみ）

(賃金) 利用者（軽作業員） 時給1,250円（1日4時間、5,000円）、のべ319人参加

(まとめ) ・利用者の皆さんがやりがいをもって災害復旧に活躍。

・災害復旧事業の一環として工賃を確保できる。

・軽トラ系の地元農家と一緒に作業しており、今後の農福連携につなげていきたい。

② 災害派遣福祉チームの養成

(ア) 災害派遣福祉チーム員養成研修

[東北信会場]

○ 期 日 令和元年8月7日（水）

○ 会 場 にじいろキッズらいふ（長野市）

○ 参加者 47名

○ 内 容 基調説明「災害時におけるふくしチームの期待と役割」  
基調講演「チーム員に求められるもの」  
講義・演習Ⅰ「支援者の心構え、支援現場の実際」  
講義・演習Ⅱ「支援見積、現地関係者との支援調整」  
講義・演習Ⅲ「チーム内の情報共有」

○ 講 師 石井布紀子氏（NPO法人さくらネット 代表理事）

[中南信会場]

○ 期 日 令和元年8月8日（木）

○ 会 場 松本市浅間温泉文化センター

○ 参加者 82名

○ 内容・講師 東北信会場と同様

(イ) 災害派遣福祉チームの派遣訓練

令和元年10月20日（日）の長野県総合防災訓練（会場：長野市）にて実施する予定であったが、令和元年東日本台風災害により中止。

○ チーム員の登録及び地区学習会

・登録者：47人

・地区学習会

(北 信)

○ 期 日 令和元年9月30日（月）

○ 会 場 にじいろキッズらいふ（長野市）



- 参加者 16人
- 内 容 チーム員証授与式、地区チーム員の連絡方法の確認、学習（長野県総合防災訓練について、平常時、発災時、派遣先での活動内容について  
[その他研修・学習会等]  
(南部地区介護支援専門員研修会)
- 期 日 令和2年1月23日（木）
- 会 場 下條村コスモホール
- 内 容 災福ネット及び長野県ふくしチームの説明及び台風災害の活動報告  
(長野県介護福祉士会中信支部大北・松本西ブロック研修)
- 期 日 令和2年2月14日（金）
- 会 場 安曇野市豊科公民館
- 参加者 15人（介護福祉士会）
- 内 容 災福ネット及び長野県ふくしチームの説明及び台風災害の活動報告

(ウ) 社会福祉施設等の災害時相互応援の仕組みづくり

<福祉避難所設置・運営訓練>

長野県総合防災訓練にて実施する予定であったが、令和元年東日本台風災害により中止。

[北部地区障害者自立支援協議会委員会]

- 期 日 令和2年2月19日（水）
- 会 場 信濃町総合会館
- 内 容 福祉避難所講習会

<社会福祉施設の事業継続計画作成支援>

県内4地区ごとに1法人を選定(東信：社会福祉法人大樹会、北信：社会福祉法人長野市社会事業協会、中信：社会福祉法人七つの鐘、南信：社会福祉法人りんどう信濃会)し、各法人で学習会及び法人内での検討を推進し水害想定のあるBCP作成に着手した。

[学習会]

| 法人名             | 第1回      | 第2回                                     |
|-----------------|----------|-----------------------------------------|
| 社会福祉法人大樹会       | 9月25日（水） | 11月～12月に実施予定であったが、令和元年東日本台風災害の支援活動により中止 |
| 社会福祉法人長野市社会事業協会 | 8月6日（火）  |                                         |
| 社会福祉法人七つの鐘      | 9月24日（火） |                                         |
| 社会福祉法人りんどう信濃会   | 9月26日（木） |                                         |

<BCP作成手引き、事例集作成>

令和元年東日本台風災害における被災事業所へのヒアリングをもとに、法人及び事業所でBCPの作成の参考としての事例集を作成した。

○A4判全40ページ 2,000部（自治体、福祉事務所、福祉施設事業所等に送付）

(エ) 災害福祉支援ネットワークセミナーの開催

- 期 日 令和2年1月17日（金）
- 会 場 県社会福祉総合センター

- 参加者 211 名
- 内 容 活動報告「令和元年台風第 19 号災害にかかわる支援活動（中間報告）」  
 パネルディスカッション「災害福祉支援 第 1 歩の成果と課題、そして今後に向けて」  
 （パネラー）  
 “福祉チームによる被災者支援活動”  
 長野県ふくしチーム（橋本主任：長野県社会福祉協議会、吉池裕也氏：社会福祉法人大樹会）  
 ぐんま DWAT（南川基治氏：社会福祉法人邑友会）  
 “社会福祉施設の避難状況と地域貢献活動”  
 松村 隆氏（社会福祉法人賛育会豊野事業所）  
 “社会福祉施設の避難状況と農福連携プロジェクト”  
 青柳興昌氏（社会福祉法人長野市社会事業協会）  
 （コーディネーター）  
 石井布紀子 氏（NPO 法人さくらネット 代表理事）

## （２） 災害時住民支え合いマップづくり促進事業

### ① マップ作成・更新の伴走支援

未着手の 15 市町村中、12 市町村へ訪問または問合せを実施。小谷村、天龍村では役場担当者で作成が進むこととなった。その他の市町村では担当者へマップの説明を行ったが、地域の協力が得られない、手が回らない等の理由で取組が進まない市町村もあった。

モデル地区作成支援実施は天龍村、麻績村、長野市朝陽地区で実施。安曇野市では更新に向けて支援を実施した。

10 月後半から 12 月にかけては災害対応、3 月からコロナウイルス対応で訪問できない期間があった。

#### ○市町村対象の説明会等の開催

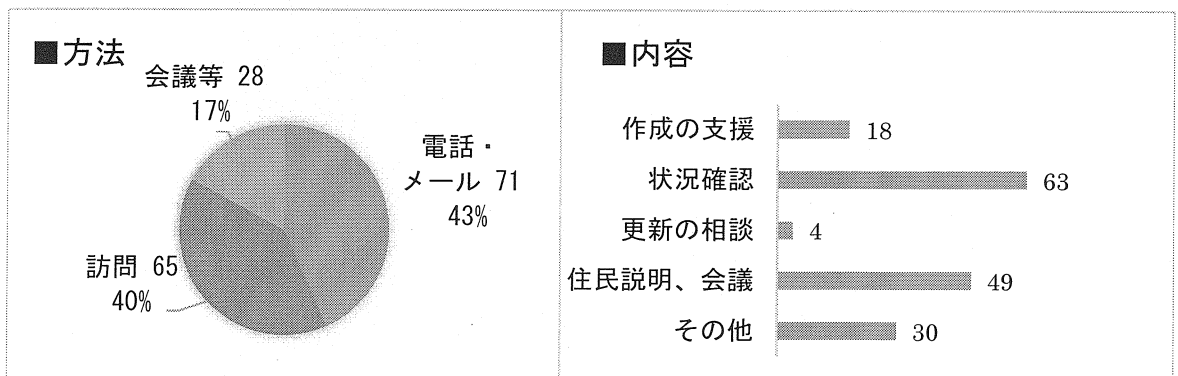
<訪問箇所> 20 市町村、24 社協、7 地区 計 51 か所

<地域防災力向上に向けた取り組みに関する市町村説明会（キャラバン）>  
 8 月～9 月 10 会場

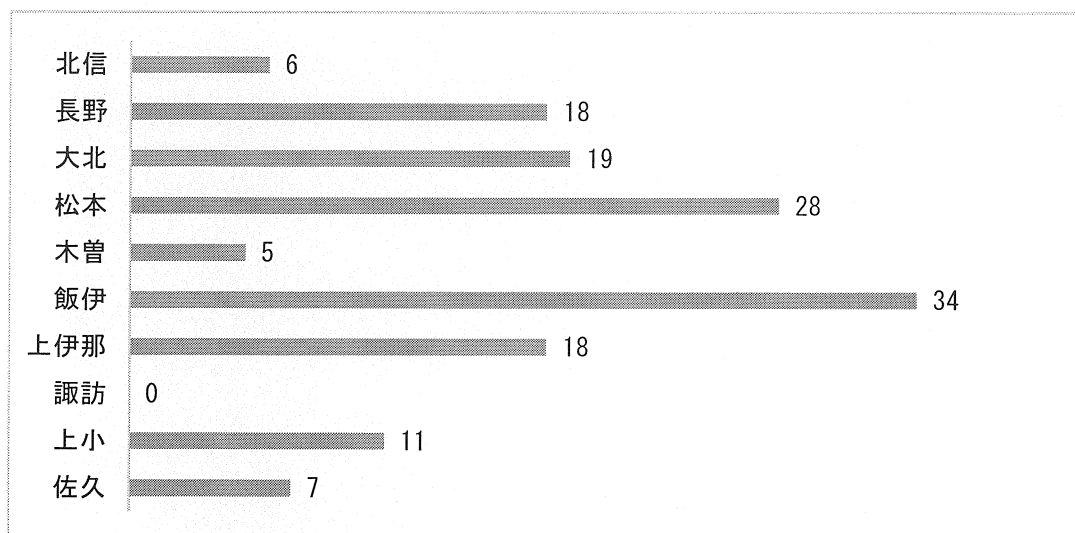
#### ○伴走型支援の展開

市町村のニーズに応じて、専門人材（マップ作成支援員）による伴走型支援を実施した。

<マップ作成支援員対応実績> 164 件



## ■地域



### ② ABCアセス表作成、避難訓練の実施支援

住民主体による災害時住民支え合いマップの作成と並行して、福祉関係者と連携し、災害時要配慮者の避難支援ニーズを程度別にABCの3つのランクでアセスメント(分類)し、防災と地域と福祉の情報をつなぐツールとして、ABCアセス表の作成の推進を図った。

### (3) 本会の災害対応の強化

本会における「災害時職員初動対応マニュアル」を整備するとともに、災害時の緊急連絡訓練を行い、災害時の初動対応に備えた。

### (4) 広報活動

【一般会計—法人運営事業費】

【一般会計—共同募金配分金事業費】

#### ① 広報紙「福祉だより信州」の発行

本会の広報紙を年間10回発行し、市町村社協をはじめ関係機関・団体等に配布した。

- 発行部数 10,000部
- 体裁 8ページ構成
- 特集 通年テーマ「みんなで取り組む 地域共生・信州」
  - 5・6月号 長野県社協 令和元年度事業計画
  - 7月号 防災×地域×福祉で災害に備える
  - 8月号 「ふくしニア」から始めましょう！
  - 9月号 共生の地域づくりのために
  - 10月号 社会とのつながりや参加の機会をつくる
  - 11・12月号 “ONE NAGANO”で復興へ
  - 1月号 「生活支援・地域ささえあいセンター」の活動がスタートしました
  - 2月号 他機関協働による地域の課題解決
  - 3月号 令和元年東日本台風災害「災福ネット」の活動を振り返って

## ② ホームページ「ふれあいネット信州」の運営

長野県社協ホームページ(名称:「ふれあいネット信州」)を運営し、インターネットで最新の福祉に関する情報を発信した。

## 3 社会福祉法人等との連携・協働

【一般会計—法人運営事業費】

【その他—経営協事業費】

### (1) 公益事業の推進

#### ① 長野県社会福祉法人経営者協議会等の運営支援

長野県社会福祉法人経営者協議会、長野県社会福祉法人経営青年会の事務局業務を受託するとともに、セミナー等を協力して実施し、会の活動を支援した。

#### (ア) 事務局支援体制

長野県社会福祉法人経営者協議会から事務局業務を受託し、本会職員のうち、事務局長1名、事務職員2名 合計3名を同協議会業務担当として支援を行った。

#### (イ) 長野県社会福祉法人経営者協議会の主な事業

##### <福祉経営セミナー>

- 期 日 令和元年5月9日(木)
- 会 場 長野市若里市民文化ホール
- 参加者 50名(うち会員33名)
- 内 容 講 演 「働き方改革をめぐる動向  
～これから法人に求められることは」  
(講師) 杉山 逸人 氏(杉山社会保険労務士事務所)

##### <【全国経営協】長野県経営協セミナー(前期)>

- 期 日 令和元年7月29日(月)
- 会 場 長野市若里市民文化ホール
- 参加者 84名(うち会員66名)
- 内 容 講 義 「令和時代のビジョンを描く！  
2040年を展望した社会福祉と社会福祉法人」  
(講師) 湯川 智美 氏(全国経営協 地域共生社会推進委員会委員)  
説 明 「ここが知りたい社会福祉法人経営Ⅰ」、  
「ここが知りたい社会福祉法人経営Ⅱ」  
(説明者) 全国社会福祉法人経営者協議会 事務局

##### <【全国経営協】長野県経営協セミナー(後期)>

- 期 日 令和元年 12 月 11 日（水）
- 会 場 ホテルメトロポリタン長野 （長野市）
- 参加者 59 名（うち会員 46 名）
- 内 容 講 義 「経営者が主導する働き方の改革と人材確保～社会福祉法人経営をめぐる動向も含めて～」  
 講 義 「明日の法人経営を考える～保育所経営法人を中心に～」  
 （説明者）湯川 智美氏（全国経営協 地域共生社会推進委員会委員）  
 全国青年会取組報告・入会 PR  
 （報告者）斎藤 優希氏（長野県社会福祉法人経営青年会会長）  
 説 明 「お答えします！よくあるちょっと教えて！経営協」  
 （解説）全国社会福祉法人経営者協議会 事務局

#### （ウ）長野県社会福祉法人経営青年会の主な事業

##### ＜福祉経営セミナー＞

- 期 日 令和元年 7 月 12 日（金）
- 会 場 長野市若里市民文化ホール
- 参加者 50 名（うち会員 41 名）
- 内 容 講 演 「これからの人材育成 -ミドルリーダーの育成を中心に-」  
 （講師）武居 敏 氏（社会福祉法人松溪会理事長 / 全国経営協副会長）

##### ＜経営実践セミナー＞

- 期 日 令和 2 年 2 月 25 日（火）
- 会 場 ホテル信濃路（長野市）
- 参加者 35 名（うち会員 26 名）
- 内 容 講 演 「相続法大改正を考える～知っておきたい相続預金の取扱い・配偶者居住権など～」  
 （講師）平田 厚 氏（弁護士・明治大学法科大学院教授）

#### （エ）県社協との共同事業

地域の生活困窮者に対する独自の支援事業として、会員の協賛金により「信州あんしんセーフティネット事業」を企画し、本会が運営する生活就労支援センター“まいさぼ”の相談者を対象に、就職活動応援金付職場体験事業及び就職支度金給付事業を実施した。

##### ＜就職活動応援金付職場体験事業（プチバイト事業）＞

- 利用実績 利用者数延べ 61 人 支給額 877,600 円

##### ＜就職支度金給付事業＞

- 利用実績 利用者数延べ 21 人 支給額 188,291 円

#### ② 市町村社会福祉法人連絡会の設置促進

| 市町村名 | 事業内容                     | 備 考                                     |
|------|--------------------------|-----------------------------------------|
| 長野市  | 北部地域におけるサロン活動、コミュニティ復興支援 | 北部地域被災事業所連絡会の開催（第 1 回 11/7、第 2 回 12/24） |

|      |                                 |                                                                |
|------|---------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 上田市  | 社会福祉法人連絡会の設置の検討                 | 社協、社会福祉法人のヒアリング実施                                              |
| 安曇野市 | 福祉の仕事PR活動、福祉教育等                 | “公益・協働事業”意見交換会の開催                                              |
| 箕輪町  | 社会福祉法人連絡会の設立                    | 定例会に出席（年5回）、連絡会の設立及び主催事業への協力                                   |
| 木曽郡  | 郡内の法人によるプラットフォームの設立及び協働事業の実施を検討 | 高齢者の配食・見守りサービスの充実、障がいや引きこもりの若者たちの居場所づくり支援、職員の合同研修・人事交流の実施などを協議 |

## （２） 福利厚生事業の支援

## 【一般会計—法人運営事業費】

社会福祉法人福利厚生センターから委託を受け、民間社会福祉事業従事者のリフレッシュと会員相互の交流を図るため、会員交流事業等を実施した。

### ① 加入法人数等

○加入法人数 63法人

○加入会員数 3,145名

### ② 会員交流事業

ア 宿泊事業 参加者計 105名

○令和元年8月 東京都「宝塚歌劇団雪組公演」 19名

○令和元年9月 東京都「ディズニーリゾートフリープラン」 86名

イ 日帰り事業 参加者計 779名

○令和元年10月～12月 東京都「ディズニーリゾート日帰りプラン」 161名参加

○令和2年1月～3月 グルメクーポン「長野市：THE SAIHOKUKAN HOTEL」

グルメクーポン「松本市：ヒカリヤヒガシ」

グルメクーポン「軽井沢町：万平ホテル」

グルメクーポン「伊那市：廣女屋」

グルメクーポン「飯田市：光彩苑」 合計451名参加

(※新型コロナウイルス感染症の影響で一部取り消しあり)

○令和2年3月～ 映画鑑賞券(県内映画館5施設) 合計328組参加

・グランドシネマズ長野

・松本シネマライツ8

・イオンシネマ松本

・佐久アムシネマ

・岡谷スカラ座

## (1) 市町村社会福祉協議会への法人運営支援

## ① 市町村社会福祉協議会事務局長会議

- 期 日 平成 31 年 4 月 19 日(金)
- 会 場 松本市浅間温泉文化センター
- 参加者 66 社協 72 名(事務局長等)
- 内 容 行政説明「地域福祉支援計画について」

講師：小野幸恵氏(長野県地域福祉課企画幹兼課長補佐兼地域支援係長)

県社協説明 「平成 31 年度事業内容の説明・質疑応答」

情報提供 「同一労働同一賃金について」

講師：山内 浩氏(長野県働き方改革推進支援センター副センター長)

情報交換 ブロックごと計画策定について、生活支援 Co について、介護保険の  
経営状況についてなど情報交換

※10 ブロック代表社協連絡会議

理事・監事・評議員の選出方法の改案について了承を得て、局長会議閉会時  
に出席社協に報告。

## ② 市町村社会福祉協議会新人事務局長研修

- 期 日 平成 31 年 4 月 18 日(木)～19 日(金)
- 会 場 松本市浅間温泉文化センター
- 参加者 18 社協 19 人(新人事務局長等)
- 内 容 説明「社会福祉協議会のあゆみと活動原則」

説明者：長野県社会福祉協議会 総務企画部長

講義「市町村社会福祉協議会の使命と事務局長の役割」

講師：神原伸生氏(塩尻市社会福祉協議会 事務局長)

講義「社協経営と働き方改革」

講師：山下大輔氏(成迫会計事務所 福祉コンサルティング事業部長)

## ③ 市町村社会福祉協議会経理研修

## (ア) 1 期

会計の基礎について、1～2 年目の市町村社協会計職員を対象とした会計講座を開催した。

- 期 日 令和元年 6 月 20 日(木)
- 会 場 県総合教育センター(塩尻市)
- 参加者 20 社協 22 名
- 内 容 講義・演習

社会福祉法人の会計処理の基本、社会福祉協議会の仕訳の概要、費用に係る  
仕訳、収益に係る取引等

説明者：長野県社会福祉協議会

## (イ) 2 期

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修の開催を中止し、資料提供のみ行った。

④ 市町村社会福祉協議会労務セミナー

- 期 日 令和元年8月1日（木）
- 会 場 県社会福祉総合センター
- 参加者 42社協 63名
- 内 容 介護保険事業及び障がい者支援事業において、今年度新たに導入される特定処遇改善加算の申請方法について説明会を実施して積極的な活用を促進するとともに、働き方改革に係る同一労働同一賃金への対応について研修を行った。

行政説明：「特定処遇改善加算について」

説明：長野県健康福祉部介護支援課

講義Ⅰ「同一労働同一賃金に係る法改正のポイント」

講師：長野県働き方改革推進支援センター

講義Ⅱ「市町村社協の対応の留意点」

講師：山下大輔 氏（成迫会計事務所福祉コンサルティング事業部長）

グループ討議

各グループ助言者（社会保険労務士等）

5 法人運営・庶務

【一般会計—法人運営事業費】

【一般会計—地域福祉事業費】

内部管理体制の基本方針に基づき法人運営を行った。

(1) 法人運営

① 評議員会

ア 第136回評議員会（定時評議員会）（県社会福祉総合センター）

令和元年6月27日（木）に開催し、次の議案を諮り原案どおり議決した。

○議事

- ・平成30年度事業報告について
- ・平成30年度収入支出決算について
- ・理事・監事の選任について

イ 第137回評議員会

令和2年3月19日、新型コロナウイルス感染症対策のため、次の議案を書面により提案し、評議員の全員から書面により同意の意思表示を得た。

評議員会の決議があったものとみなされた日

令和2年3月30日

○議事

- ・長野県社会福祉協議会役員報酬等規程の一部改正及び役員報酬総額の決議について



- ・会計監査人の選任について
- ・緊急・災害時等経営安定積立金の取崩しについて
- ・令和元年度収入支出補正予算について
- ・令和2年度事業計画について
- ・令和2年度収入支出予算について

○報告事項

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた取組状況について
- ・令和元年東日本台風災害に関する長野県社協災害福祉支援本部の対応状況について

## ② 理事会

### ア 第258回理事会(県社会福祉総合センター)

令和元年6月13日(木)に開催し、次の議案を諮り原案どおり議決した。

○議事

- ・長野県社会福祉協議会監事監査規程の制定について
- ・長野県社会福祉協議会経理規程の一部改正について
- ・平成30年度事業報告について
- ・平成30年度収入支出決算について
- ・評議員候補者の選任について
- ・理事・監事候補者の選任について
- ・第136回評議員会(定時評議員会)の開催について

○報告事項

- ・平成30年度長野県福祉サービス運営適正化委員会の事業報告について

### イ 第259回理事会(県社会福祉総合センター)

令和元年6月27日(木)に開催し、次の議案を諮り原案どおり議決した。

○議事

- ・会長、副会長及び常務理事の選定について
- ・欠員に伴う評議員選任・解任委員会委員の選任について

○報告事項

- ・長野県社会福祉協議会令和元年度重点事業等について
- ・総合企画部会の検討状況について
- ・評議員選任・解任委員会の審議結果について

### ウ 第260回理事会(ホテル国際21・長野市)

令和元年8月22日(木)に開催し、次の議案を諮り原案どおり議決した。

○議事

- ・長野県社会福祉協議会職員就業規則等の一部改正について
- ・金融機関との取引の開始について
- ・評議員候補者の選任について

○協議事項

- ・第 68 回長野県社会福祉大会の「大会アピール」について
- ・長野県社会福祉大会の今後の開催方法について
- ・長野県地域福祉活動計画（仮愛称：信州ふっころプラン）について

○報告事項

- ・会長及び常務理事の業務執行状況について
- ・長野県社会福祉協議会会長表彰について

エ 第261回理事会（県社会福祉総合センター）

令和元年 12 月 13 日（金）に開催し、次の議案を諮り原案どおり議決した。

○議事

- ・長野県社会福祉協議会組織規程の一部改正について
- ・長野県社会福祉協議会経理規程の一部改正について
- ・長野県社会福祉協議会嘱託職員就業規則等の一部改正について

○協議事項

- ・会計監査人及び顧問税理士の選任方法について

○報告事項

- ・台風 19 号災害に関する長野県社協災害福祉支援本部の対応状況について
- ・令和元年度介護支援専門員実務研修受講試験再試験について

オ 第262回理事会（県社会福祉総合センター）

令和 2 年 3 月 19 日（木）に開催し、次の議案を諮り原案どおり議決した。

○議事

- ・長野県社会福祉協議会組織規程の一部改正について
- ・長野県社会福祉協議会役員報酬等規程の一部改正及び役員報酬総額の決議について
- ・会計監査人候補者の選任及び報酬額について
- ・評議員候補者の選任について
- ・緊急・災害時等経営安定積立金の取崩しについて
- ・令和元年度収入支出補正予算について
- ・令和 2 年度事業計画について
- ・令和 2 年度収入支出予算について
- ・令和 2 年度における運営費の一時借入金について
- ・第 137 回評議員会の開催について

○報告事項

- ・会長及び常務理事の業務執行状況について
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた取組状況について
- ・令和元年東日本台風災害に関する長野県社協災害福祉支援本部の対応状況について
- ・評議員選任・解任委員会の審議結果について

- ・顧問税理士の選任について

### ③ 業務執行状況及び財産状況監査

#### ア 会計監査人監査

多田哲夫会計監査人（公認会計士）により、令和元年5月28日（火）～5月31日（金）、6月3日（月）、4日（火）に実施された。

#### イ 監事による監査（県社会福祉総合センター）

令和元年6月5日（水）に、平成30年度業務執行状況及び財産状況の監査を受け、いずれも適正であることが認められた。

#### ウ 会計監査人による中間監査

令和2年1月14日（火）～16日（木）に会計監査人による中間監査を行った。

### ④ 評議員選任・解任委員会

#### ア 第7回委員会

令和元年6月19日（水）に書面により開催し、次の議案を諮り原案どおり議決した。

##### ○議事

- ・社会福祉法人長野県社会福祉協議会評議員（6名）の選任について

#### イ 第8回委員会

令和元年9月17日（火）に書面により開催し、次の議案を諮り原案どおり議決した。

##### ○議事

- ・社会福祉法人長野県社会福祉協議会評議員（2名）の選任について

#### ウ 第9回委員会

令和2年3月24日（火）に書面により開催し、次の議案を諮り原案どおり議決した。

##### ○議事

- ・社会福祉法人長野県社会福祉協議会評議員（5名）の選任について

### ⑤ 会長・副会長会議

ア 令和元年6月13日（木）に開催し、第258回理事会、第136回評議員会、第259回理事会の議案等について協議した。

イ 令和元年6月27日（木）に開催し、今後の日程等について協議した。

ウ 令和元年8月22日（木）に開催し、第260回理事会の議案等について協議した。

エ 令和元年12月13日（金）に開催し、第261回理事会の議案等について協議した。

オ 令和2年3月19日（木）に開催し、第262回理事会、第137回評議員会の議案等について協議した。

## （2） 会員の状況（令和2年3月31日現在）

|      | 団体     | 個人                 |
|------|--------|--------------------|
| 普通会員 | 148 団体 | 5,274 名（民生委員・児童委員） |
| 賛助会員 | 18 団体  | —                  |

### (3) 顕彰の実施

社会福祉関係功労者に対し、第 68 回長野県社会福祉大会の場において、次のとおり長野県社会福祉協議会長の表彰状及び感謝状を贈呈した。

|                              |           |
|------------------------------|-----------|
| ○ 民生委員・児童委員功労表彰              | 18 名      |
| ○ 民間社会福祉施設・団体及び社会福祉協議会役員功労表彰 | 6 名       |
| ○ 民間社会福祉施設・団体及び社会福祉協議会職員功労表彰 | 1 名       |
| ○ 永年勤続者                      | 27 名      |
| ○ ボランティア及びボランティア団体           | 7 名・12 団体 |
| ○ 優良社会福祉事業                   | 1 団体      |
| ○ 感謝                         | 2 名       |

### (4) 基金等の運用管理

【一般会計―地域福祉事業費】

#### ① 社会福祉法人長野県社会福祉協議会福祉基金

長野県社会福祉協議会福祉基金(一般基金 73,593,621 円)の基金果実(521,900 円)を財源として、県内福祉団体の大会・研修会等への助成及び県社協広報活動費への助成を行った。

#### ② 長野県ボランティア活動振興基金

長野県ボランティア活動振興基金(576,222,604 円)の基金果実(6,814,753 円)を財源として、ボランティア活動振興・地域福祉推進事業を実施した。

### (5) その他

令和 2 年 2 月に発生した新型コロナウイルス感染症について、情報収集に努めるとともに、本会事業の対応について発信した。

○新型コロナウイルス感染症にかかる本会各事業の対応について(令和 2 年 2 月 27 日)

○新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた令和 2 年 4 月以降の当面の事業実施方針について(令和 2 年 3 月 30 日)

## 6 大会・情報発信

【一般会計―法人運営事業費】

【一般会計―共同募金配分金事業費】

県民の福祉意識の高揚を図り、「みんなで取り組む地域共生・信州」が進むよう、各種の情報活動を実施した。

### (1) 第 68 回長野県社会福祉大会

“みんなで取り組む地域共生・信州”を大会テーマとして、表彰等の式典並びに信州共生みらいアイデアコンテスト、講演を実施し、併せて大会アピールを行った。

○期 日 令和元年 9 月 20 日(金)

○会 場 駒ヶ根市文化会館

○参加者 709 名(被表彰者 30 名、来賓 19 名、関係者 98 名を含む)

○内 容

・式 典

・信州共生みらいアイデアコンテスト 2019

プレゼンテーション、表彰式

・講演

演題「ごちゃまぜで挑む 共生の地域づくり」

講師 雄谷良成氏（公益社団法人青年海外協力協会会長、社会福祉法人佛子園理事長）

## 第 68 回長野県社会福祉大会「大会アピール」

私たちの住む地域は、少子高齢化の進展や、非正規雇用の増加とこれらに起因する子どもの貧困の問題、自然災害の頻発化など取り巻く状況が大きく変わりつつあるなかで、複合的な福祉課題を抱える家庭も増加するなど福祉ニーズは多様化しています。

長野県においては、今年度から地域福祉支援計画をスタートさせ「ともに生きる、ともに暮らす」地域共生社会づくりに重点的に取り組んでいます。

こうした環境変化のなか、地域のつながりを高め、住民の支え合い活動やボランティア活動を一層推進するとともに、福祉各分野の相談機関が「縦割り」ではなく包括的な相談体制を作っていくことが、地域福祉の実践課題となっています。

第 68 回長野県社会福祉大会に集う私たちは、「地域共生社会」の実現に向けて、地域のすべての福祉関係者と連携しながら、次に掲げる活動に取り組んでいきましょう。

1 地域共生社会の理念の浸透を図り、福祉教育を推進していきましょう！

私たちの地域には、高齢者、障がい者、外国籍住民など多様な人々が生活しています。地域や福祉を身近なものとして考える機会をつくり、誰もが役割をもって支え合える地域づくりを進めるため、きっかけづくりや環境整備に取り組んでいきましょう。

2 包括的な相談体制の構築に向け、連携と創意工夫に取り組みましょう！

高齢者、障がい者、こども、生活困窮者など、各福祉分野にまたがる複合的な課題に対応するため、福祉関係者の連携を強化するとともに、保健・医療、就労支援、法的支援、地域づくりなど多様な分野に連携を広げていきましょう。

3 地域における公益的な取り組みを、力強く推進していきましょう！

社会福祉法人関係者をはじめとして、私たちは、制度だけでは対応が難しい新たな福祉課題の解決や次代を担う福祉人材の養成のため、地域住民とともに知恵を出し合い、多様で先進的な取り組みにチャレンジしていきましょう。

4 地域福祉計画の策定、改定を住民参加で進めましょう！

地域福祉計画の位置付けの強化、努力義務化を契機に、各市町村の地域福祉計画の策定、改定がさらに活発化していくよう、幅広い福祉関係者が「我が事」として参画していきましょう。

令和元年 9 月 20 日

第 68 回長野県社会福祉大会

(2) 長野県社協公式キャラクター「ふっころ」による啓発活動

「ふっころ（ふくしのころ）」のキャラクターを、本会の各種PR資料に掲載したり、着ぐるみの貸し出しを行うなどして、福祉啓発に活用した。

(3) 長野県社協メールマガジン「e-だより信州」の配信

毎月第2・第4月曜日に、福祉関係及び福祉関連情報をメールマガジン登録者（令和元年度末現在：315名）に配信し、情報提供を行った。

(4) 「長野県社協報」の発行

毎週1回、市町村社協を対象に「長野県社協報」を電子メールにより配信した。

(5) 令和元年東日本台風災害特設サイトの開設

サイボウズ株式会社の協力のもと、令和元年東日本台風災害におけるボランティア情報、支援情報をまとめた特設サイトを開設し、県内災害ボランティアセンターの開設状況や活動時の注意事項、高速道路無料措置等のボランティア関連情報等を随時発信した。

評価：「みんなで取り組む地域共生・信州」をテーマとした広報・啓発活動を行った。また、令和元年東日本台風災害においては、日々更新される各市町村災害ボランティアセンターの情報を一元管理し発信することで、ボランティア希望者へ必要となる情報を提供することができた。

## 7 民間社会福祉事業従事者の福利厚生事業

社会福祉事業に従事する職員の待遇や福利厚生の充実等を促進するため、退職共済事業、福利厚生センター事業を実施した。

(1) 長野県社会福祉団体職員退職手当積立基金事業【一般会計—公益事業区分—県退職手当積立基金事業費】

- 契約団体数 81 団体
- 加入者数 1,885 名
- 給 付 143 名（570,913,349 円）
- 運営委員会の開催 第1回 令和元年 8 月 6 日（火） 県社会福祉総合センター  
第2回 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止
- 「積立基金だより」の発行 9 月

(2) 長野県民間社会福祉事業従事者退職年金共済事業【一般会計—公益事業区分—県退職年金共済事業費】

- 契約事業所数 335 事業所
- 加入者数 9,015 名
- 給 付 ・年 金 652 名（368,200,344 円）  
・一時金 856 名（585,198,772 円）  
合 計 1,508 名（953,399,116 円）

- 年金委員会の開催                      令和元年 7月31日(水) 県社会福祉総合センター  
第2回 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止
- 「年金共済だより」の発行    9月

(3) 社会福祉施設職員等退職手当共済事業の受託

【一般会計—法人運営事業費】

独立行政法人福祉医療機構からの受託業務を実施した。

- 契約法人数                                  220 法人
- 加入施設                                    996 施設
- 加入者数                                    14,657 名
- 諸届取扱件数                              1,262 件

評価： 両共済制度ともに複数の信託銀行を活用した効果的な資産運用により、堅実な制度運営を堅持しており、今後の景気予測動向を踏まえ、9月に資産運用比率を変更したところであったが、新型コロナウイルス感染症による景気動向の変化を踏まえ、信託銀行とともに対応を検討していく必要がある。

また、福利厚生事業については、宿泊、日帰り等バラエティ豊かな会員交流事業を企画し、多くの参加を得た。しかし、今後は新型コロナウイルス感染症により旅行等の事業が開催困難になることが予想されるため、新たな形での交流事業を企画していく必要がある。

## Ⅱ まちづくりボランティアセンター 住民主体の地域福祉～新しいお互いさまの地域づくり～

### 1 地域連携の人づくり

【一般会計－地域福祉事業費】

【一般会計－共同募金配分金事業費】

#### (1) 福祉教育の推進

##### ①社会教育と地域福祉の連携による地域づくり研究事業の実施

住民の「学びの場」＋「活動拠点」機能を確保していくために、福祉と教育の連携を図っていくための実践研究やネットワークづくりのためのリーダー研修を予定していたが、令和元年東日本台風災害の影響により中止となった。

##### ア 地域づくり実践研究大会（信州発ボランティア・地域活動フォーラム）の開催

実行委員会の開催 準備会 令和元年7月31日（水）安曇野スイス村サンモリッツ

第1回 令和元年9月6日（金）県社会福祉総合センター

第2回 令和元年10月7日（月） //

研究大会の実施 令和元年12月7日（土）～8日（日）

※令和元年東日本台風災害の影響により中止した。

##### イ 地域づくり実践地域別研究会の開催

※令和元年東日本台風災害の影響により中止した。

##### ②福祉教育推進に関する研究会の設置

長野県内における福祉教育のあり方や、他機関との福祉教育の連携について検討する研究会を開催した。

##### ア 福祉教育の推進に関する研究会の開催

第1回 令和元年5月22日（水）安曇野市社会福祉協議会堀金支所 7人参加

第2回 令和元年7月2日（火）安曇野市社会福祉協議会堀金支所 6人参加

第3回 令和元年8月19日（月）安曇野市社会福祉協議会堀金支所 7人参加

第4回 令和2年1月28日（火）長野県社会福祉協議会 9人参加

##### イ 福祉教育推進リーフレットの作成

福祉教育の普及を図るため、リーフレット「【保存版】福祉教育のススメ ver2020」のデータ版を作成した。

周知先 市町村社協、NPO、研修参加者等

##### ③福祉教育推進フォーラムの開催

|             | A 日程                                         | B 日程                 |
|-------------|----------------------------------------------|----------------------|
| 日 時         | 9月2日（月） 10:00～15:30                          | 9月18日（水） 10:00～15:30 |
| 会 場         | 塩尻総合文化センター                                   | 長野市若里市民文化ホール         |
| 参加者         | 57名                                          | 35名                  |
| 内 容<br>（共通） | ・アイスブレイク講座<br>講師：安曇野市社会福祉協議会 山岸久美子氏<br>・基調講演 |                      |



|  |                                                                                                     |
|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | 「学校・地域・家庭の協働による地域共生社会の実現を目指した福祉教育」<br>講師：新崎 国広 氏（大阪教育大学教育学部教育協働学科 教授）<br>・グループディスカッション<br>・トークセッション |
|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|

#### ④小中学生ボランティア新聞「やまびこだより」の発行

地域で学ぶ、地域に学ぶ福祉教育を推進するため、県内の小中学校の活動実践を特集記事に掲載するとともに、学校の総合学習や地域の学習で新聞の活用を図る解説書を作成し、県内全ての小中学校のほか、市町村社協、公民館、児童館などに配布した。また、特別支援学級向けに音訳 CD、デイジーを作成するとともに、ホームページに音訳データを掲載した。

#### ア 小学校向けボランティア新聞（5,850部×年2回発行）

|    |         |                             |
|----|---------|-----------------------------|
| 前期 | 特 集     | 「介護ロボット参上」伊那市社協「なつチャレ」      |
|    | 各校の活動紹介 | 松本市立島内小学校、大町市立美麻小中学校の取組み    |
| 後期 | 特 集     | 「災害ボラ 気持ちちが動いたら」災害ボランティアの紹介 |
|    | 各校の活動紹介 | 豊丘村立豊丘南小学校、飯山市立秋津小学校の取組み    |

#### イ 中学校向けボランティア新聞（3,880部×年2回発行）

|    |         |                                           |
|----|---------|-------------------------------------------|
| 前期 | 特 集     | 「ふれあう心 地域の未来へ」<br>飯綱町立飯綱中学校、松本市立安曇中学校の取組み |
|    | 各校の活動紹介 | 上田市立第六中学校、須坂市立相森中学校の取組み                   |
| 後期 | 特 集     | 「災害ボラ 気持ちちが動いたら」災害ボランティアの紹介               |
|    | 各校の活動紹介 | 木曽町立日義中学校、長野日本大学中学校の取組み                   |

## （2）地域をつくる人材養成

### ①地域福祉コーディネーター総合研修の実施

地域における福祉課題は、住民活動や民間との協働による対応が不可欠であり、住み慣れた地域の日常生活圏域で受けられるような総合的な相談・支援のしくみを行政と住民が協働して構築することが求められている中で、計画的な地域福祉推進を図るため「地域福祉コーディネーター養成研修」を多様な関係団体等と協働で開講し、市町村及び市町村社協等の専門職の養成を進めた。

【令和元年度実績】受講者数延べ662人 / 受講登録者数154人 / 全課程修了者数24人

| 講座内容・講師・期日・会場                                                                                                                                                                                                                                   |              | 受講者 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-----|
| <b>講座① 地域福祉の方向性と地域福祉コーディネーターの役割</b><br>地域における生活課題の解決に向けた制度変遷と多様な地域の生活課題を受け止め、住民・関係者と協働しながら取り組みを進める地域福祉コーディネーターの役割・機能を学ぶ。<br><br>講 師 市川一宏 氏（ルーテル学院大学 学長）<br>報 告 者 黒岩秀美 氏（長野市中条地区住民自治協議会）<br>矢澤秀樹 氏（伊那市社会福祉協議会）<br>期日・会場 令和元年6月17日（月）松本市勤労者福祉センター | 91人          |     |
| <b>講座②③ 生活支援コーディネーターのための地域福祉コーディネート</b><br>主に生活支援コーディネーターを対象に、住民の暮らしと環境を把握し、家族                                                                                                                                                                  | ②57人<br>③43人 |     |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                        |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|
| <p>や地域、専門職等の関係者とのネットワークの構築方法とその活用を学ぶ。</p> <p>講 師 矢澤秀樹 氏（伊那市社会福祉協議会）<br/>長峰夏樹 氏（社会福祉士会会員）<br/>沖 弘宣 氏（社会福祉士会会員）<br/>磯村政範 氏（松塩筑木曾老人福祉施設組合）</p> <p>期日・会場 ② 令和元年8月29日（木）－8月30日（金）<br/>③ 令和元年11月26日（火）<br/>松本市勤労者福祉センター</p>                                                                   |                                        |
| <p>講座④⑤ 福祉・介護事業所のための地域福祉コーディネート</p> <p>地域資源の一つである福祉事業所が地域でどのような役割を果たすことができるのか、地域住民や関係者と協働して地域の課題解決に向けた事業所（拠点）としてのネットワークの構築と地域福祉の推進を学ぶ。</p>                                                                                                                                              | <p>受講者<br/>少数<br/>のため<br/>中止</p>       |
| <p>講座⑥⑦ コミュニティにおけるソーシャルワーク力の強化</p> <p>ソーシャルワークの理念、価値、知識、方法、技術などを学び、個別に組織・地域に、そして制度や仕組みに働きかけるソーシャルワークの実践力を養い、各組織のソーシャルワーク機能を高める。</p> <p>講 師 上野谷加代子 氏（同志社大学 教授）</p> <p>期日・会場 【1st Group】<br/>⑥ 8月20日（火） ⑦ 8月21日（水）深志神社梅風閣（松本市）<br/>【2nd Group】<br/>⑥ 8月22日（木） ⑦ 8月23日（金）ホクト文化ホール（長野市）</p> | <p>[1st]<br/>62人<br/>[2nd]<br/>62人</p> |
| <p>講座⑧ ボランティアの基礎的理解とボランティアコーディネーション</p> <p>ボランティア活動の理解と、多様な人・組織がつながり、新たな力を生み出し、一人ひとりが市民社会づくりに参加できるボランティアコーディネーションを学ぶ。</p> <p>講 師 筒井のり子 氏（日本ボランティアコーディネーター協会）</p> <p>期日・会場 令和元年6月29日（土）長野市ふれあい福祉センター</p>                                                                                 | <p>39人</p>                             |
| <p>講座⑨⑩ コミュニティソーシャルワークの実践Ⅰ・Ⅱ</p> <p>地域アセスメント、個別課題からプランニングまでのコミュニティソーシャルワークの具体的な実践を学ぶ。</p> <p>講 師 加山 弾 氏（東洋大学 教授）</p> <p>期日・会場 ⑨令和元年7月5日（金）浅間温泉みやま荘（松本市）<br/>⑩令和元年9月3日（火）諏訪湖ハイツ（岡谷市）</p>                                                                                                 | <p>⑨12人<br/>⑩10人</p>                   |
| <p>講座⑪ まちあるきワークショップ</p> <p>地域を歩き、お宝（資源）を発見する。まち歩きワークショップの手法を学ぶ。</p> <p>講 師 まちの縁側育みプロジェクトながの</p> <p>期日・会場 令和元年10月4日（金）南相木村中島地区地域交流センター</p>                                                                                                                                               | <p>46人</p>                             |
| <p>講座⑫ 住民参加とコーディネーション</p> <p>住民主体の地域づくりに必要不可欠な住民参加。地域が動員ではなく主体的に地域課題に向き合うためのコーディネーションを学ぶ。</p>                                                                                                                                                                                           | <p>108人</p>                            |

|                                                                                                                                                                                                       |         |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| <p>講 師 西川 正 氏 (NPO法人ハンズオン 代表理事)</p> <p>期日・会場 令和元年10月15日 (火) 千曲市総合観光会館</p>                                                                                                                             |         |
| <p>講座⑬ 住民参加を促すボランティアコーディネーションとケース検討</p> <p>地域住民の主体的な活動が社会を創るコーディネーションを具体的な相談ケースを基に学ぶ。</p> <p>講 師 戸田千登美 氏 (長野県長寿社会開発センター)<br/>小林 博明 氏 (まちの縁側育みプロジェクトながの 代表)</p> <p>期日・会場 令和元年10月2日 (水) 県自治会館 (長野市)</p> | 30人     |
| <p>講座⑭ 共生型サービスの目指す地域づくり</p> <p>老いも若きも誰でも精神である「共生ケア」の基礎を学び、地域と拠点の関係性を考える。</p> <p>講 師 惣万佳代子 氏 (NPO法人デイサービスこのゆびと一まれ理事長)</p> <p>期日・会場 令和元年9月20日 (金) 豊科交流学習センターきぼう (安曇野市)</p>                              | 21人     |
| <p>講座⑮ 改めて問う「協働」とは</p> <p>「地域福祉」を考える上でのキーワード“連携”“協働”とは何か。地域づくりの要ともなる協働を紐解き、地域づくりを学ぶ。</p> <p>講 師 川北秀人 氏 (人と組織と地球のための国際研究所 代表)</p> <p>期日・会場 令和元年10月24日 (木) もんぜんぷら座 (長野市)</p>                            | 12人     |
| <p>講座⑯ 持続可能な地域を目指す小規模多機能自治</p> <p>小地域において、分野にとらわれない様々な機能による住民主体の地域を支えるための役割を学ぶ。</p> <p>講 師 川北 秀人 氏 (人と組織と地球のための国際研究所 代表)</p>                                                                          | 台風により中止 |
| <p>講座⑰ ファシリテーショングラフィックの習得</p> <p>グループワークや会議を見える化×デザイン化するための丸い会議の開き方、合意形成のつくり方、ファシリテーションスキルを学ぶ。</p> <p>講 師 名畑 恵 氏 (NPO法人まちの縁側育み隊 代表理事)</p> <p>期日・会場 令和元年11月6日 (水) 県総合教育センター (塩尻市)</p>                  | 22名     |
| <p>講座⑱ 会議の場に活かされるコーディネーション力</p> <p>“おひとりさま”を出さない会議の場づくりをめざし【学ぶ】【考える】【実践する】の3つの視点を通してコーディネーションを学ぶ。</p> <p>講 師 加留部貴行 氏 (九州大学大学院 客員教授)</p> <p>期日・会場 令和元年11月12日 (火) 長野市安茂里公民館</p>                         | 14名     |
| <p>講座⑲ 多職種による事例検討から個を地域で支える支援</p> <p>事例検討をもとに、地域で暮らす人々の思いを、地域で支えるための支援の在り方を学ぶ。</p> <p>講 師 山下興一郎 氏 (淑徳大学 准教授)</p> <p>期日・会場 令和元年12月3日 (火) 県総合教育センター (塩尻市)</p>                                           | 13名     |
| <p>講座⑳ 活動プログラムづくり</p> <p>ニーズに即した住民参加プログラムの企画のポイント、アイデア出しから</p>                                                                                                                                        | 20名     |

|                                                                                              |  |                                                                             |
|----------------------------------------------------------------------------------------------|--|-----------------------------------------------------------------------------|
| 企画づくり、プレゼンテーションを学ぶ。                                                                          |  |                                                                             |
| 講 師 山崎富一 氏（笑顔せたがや 事務局長）                                                                      |  |                                                                             |
| 期日・会場 令和2年1月22日（水）県総合教育センター（塩尻市）                                                             |  |                                                                             |
| 講座②① 地域福祉推進における住民参加と地域福祉（活動）計画<br>住民参加による地域福祉（活動）計画策定と評価の基本を学び、地域福祉（活動）計画が目指すもの、住民参加の意味を考える。 |  | 新 型<br>コ ロ ナ<br>ウ イ ル<br>ス の 影<br>響 に よ<br>り レ ポ<br>ー ト 対<br>応 と し<br>て 実 施 |
| 講 師 市川一宏 氏（ルーテル学院大学学長）                                                                       |  |                                                                             |
| 講座②② 地域福祉の実践に向けた目標設定<br>地域福祉の実践の展開や、地域福祉推進における目標設定のポイントと評価の方法を学ぶ。                            |  |                                                                             |
| 講 師 市川一宏 氏（ルーテル学院大学学長）                                                                       |  |                                                                             |

## ②心配ごと相談所等相談員研修の実施

心配ごと相談所等相談員、市町村社協関係職員を対象にした研修会の開催を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため直前に中止した。

### 【実施計画内容】

期 日 令和2年3月2日（月）

会 場 松本市勤労者福祉センター

内 容 講義・演習 「相談場面で役立つ傾聴力UP研修！！」

講 師 端田篤人 氏（長野大学 准教授）

## ③民生委員・児童委員の研修実施

### ア 民生児童委員協議会会長研修

民生委員児童委員のリーダーとして、民生児童委員協議会会長の資質向上のために実施した。

|     | 中南信                                                                                                                                                                                                    | 東北信          |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| 期 日 | 令和2年2月19日（水）                                                                                                                                                                                           | 令和2年2月21日（金） |
| 会 場 | 塩尻総合文化センター                                                                                                                                                                                             | 県自治会館（長野市）   |
| 参加者 | 153 名                                                                                                                                                                                                  | 135 名        |
| 内 容 | ○講義「地域福祉の動向とこれからの民生委員活動のあり方、会長等の役割」<br>○グループ討議「民生委員活動と個人情報の取り扱いについて」<br>○情報交換「単位民児協の活動の活性化について」<br>講 師 山田秀昭 氏（関東学院大学社会学部 客員教授）<br>○行政説明「動物の多頭飼育崩壊事例から考える地域福祉の多職種連携について」<br>「長野県におけるひきこもりの現状と今後の対応について」 |              |

### イ 主任児童委員研修

家庭での子育ての不安や社会での孤立を防ぎ、課題を抱えた親や子どもを支援するため、主任児童委員の資質向上を目的に実施した。

|     | 中南信          | 東北信          |
|-----|--------------|--------------|
| 期 日 | 令和2年2月13日（木） | 令和2年2月14日（金） |
| 会 場 | 県伊那文化会館      | 県自治会館（長野市）   |
| 参加者 | 222 名        | 222 名        |

|            |                                                                                                                                                                                                                  |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 内 容<br>講 師 | ○行政説明「長野県における児童虐待の状況と施策・取組」<br>○講義「児童福祉問題の理解と主任児童委員の役割」<br>○グループワーク「私の地区の主任児童委員活動」<br>○フロアディスカッション「主任児童委員力の向上を目指して」<br>講師 新崎国広 氏（大阪教育大学教育学部教育協働学科 教授）<br>○活動発表「地域に根差した主任児童委員の活動」<br>発表者 竹田孝司 氏（東北信） 松村由美子 氏（中南信） |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

#### ウ 民生委員児童委員研修

地域での相談や要援護者の見守りなどの支援、また地域の機関・団体や住民同士をつなぐけん引役として期待される民生委員・児童委員の資質向上を目的に実施した。

< 1 期目対象 > 参加者計 1,575 名

|            | 東信                                                                                                                | 北信              | 中信              | 南信              |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 期 日        | 令和 2 年 2 月 18 日                                                                                                   | 令和 2 年 2 月 17 日 | 令和 2 年 2 月 26 日 | 令和 2 年 2 月 27 日 |
| 会 場        | 小諸市文化会館                                                                                                           | 長野市芸術館          | 塩尻市レザンホール       | 駒ヶ根市文化会館        |
| 参加者        | 590 名                                                                                                             | 985 名           | (※)             | (※)             |
| 内 容<br>講 師 | ○講義「地域共生社会と民生委員児童委員の役割について」<br>○演習「相談援助の心構え」<br>講師 市川一宏 氏（ルーテル学院大学 学長）<br>○行政説明「自殺予防ゲートキーパーについて」<br>「消費者被害防止について」 |                 |                 |                 |

(※) = 新型コロナウイルス感染症の影響により中止

< 2 期目以上対象 > 参加者計 2,049 名

|            | 東信                                                                                                       | 北信             | 中信              | 南信             |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-----------------|----------------|
| 期 日        | 令和 2 年 1 月 17 日                                                                                          | 令和 2 年 2 月 3 日 | 令和 2 年 1 月 24 日 | 令和 2 年 2 月 4 日 |
| 会 場        | 小諸市文化会館                                                                                                  | 長野市芸術館         | 塩尻市レザンホール       | 岡谷カノラホール       |
| 参加者        | 365 名                                                                                                    | 620 名          | 548 名           | 516 名          |
| 内 容<br>講 師 | ○講義、演習「地域共生社会と民生委員児童委員の役割」<br>～地域版活動強化方策作成のススメ～<br>講師 金井敏 氏（高崎健康福祉大学健康福祉学部 教授）<br>○行政説明「自殺予防ゲートキーパーについて」 |                |                 |                |

### (3) 市町村社協活動の支援

#### ①市町村社協実務者会議の開催

県内社会福祉協議会の実務者が顔の見える関係を構築し、県内社会福祉協議会が一丸となって地域づくりを進めることを目的に開催した。

期日・会場 令和元年 5 月 10 日（金）塩尻総合文化センター

参 加 者 87 人

内 容 〔第 1 部〕

○県地域福祉支援計画の概要について

岩崎明弘 氏（長野県地域福祉課）

○県地域福祉支援計画に込めた想いと社協の目指す方向性と協働の可能性

長峰夏樹 （長野県社会福祉協議会）

沖 弘宣 氏（元飯綱町社会福祉協議会事務局長）

佐藤もも子 氏（東御市社会福祉協議会）

〔第2部〕

○市町村社協と目指す今年度の県社協の取り組みについての共有  
長野県社会福祉協議会

〔第3部〕

○ワールドカフェで顔の見える関係づくり

## ②市町村社協職員研修（新任・実務者）の実施

### ア 社会福祉協議会職員基礎研修

入職から経験3年程度の社協職員を対象に、社協の使命や役割、自分の現在の業務の位置づけを学び、今後の社協職員としての目標を立てることを目的に研修を実施した。

期日・会場 令和元年9月13日（金）松本市勤労者福祉センター

参 加 者 62人

内 容 ○講 義 「社協ってナンダ？」

講 師 坪井 真 氏（作新学院大学女子短期大学部 教授）

○実践発表 「社協のしごとってナンダ？」

発表者 南箕輪村社協、岡谷市社協、山ノ内町社協

○グループワーク「地域の利用者の相談を受け止める」

講 師 坪井 真 氏（再掲）

○演 習 「仲間をつくろう」

講師 坪井 真 氏（再掲）

### イ 市町村社会福祉協議会実務者研修

台風19号の社協による災害支援を振り返り、平時の社協活動と災害時の支援を考える機会として開催した。

期日・会場 令和2年1月18日（土）アグリながぬま（長野市）

参 加 者 100人

内 容

|        |                                                                                                                                                                           |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| シンポジウム | 「台風19号災害への取組みの共有」<br>【コーディネーター】石井布紀子 氏（NPO法人さくらネット 代表）<br>【シゴジスト】前原土武 氏（災害NGO結 代表）<br>小林こず枝 氏（佐久穂町社会福祉協議会）<br>唐木雅彦 氏（南箕輪村社会福祉協議会）<br>山崎博之（長野県社会福祉協議会）<br>福澤信輔（長野県社会福祉協議会） |
| 分科会1   | 「災害ボランティアセンター運営支援」<br>【コーディネーター】石井布紀子 氏（再掲）<br>【出演者】武井未緒 氏（長野市社会福祉協議会）<br>松岡伸樹 氏（長野市社会福祉協議会）<br>小林こず枝 氏（再掲）<br>唐木雅彦 氏（再掲）<br>山崎博之（再掲）                                     |

|      |                                                                                                                                                             |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 分科会2 | <p>「NPO・NGOとの連携」</p> <p>【コーディネーター】 前原土武 氏（再掲）</p> <p>【出演者】 西川遼馬 氏（飯山市社会福祉協議会）<br/>足立 崇 氏（みゆき野青年会議所）<br/>小林周平 （長野県社会福祉協議会）</p>                               |
| 分科会3 | <p>「農業支援連携」</p> <p>【コーディネーター】 福澤信輔（再掲）</p> <p>【出演者】 徳永慎吾 氏（長沼林檎生産組合ぼんど童 組合長）<br/>下川英紀 氏（津野復光隊 代表）<br/>塚田史郎 氏（TEAM SHIRO 代表）<br/>小林弘幸 氏（JAながの営農部指導課 考査役）</p> |

### ③広域圏（ブロック）社協活動の推進

広域圏（ブロック）社協の事務局長等会議、役職員研修会、ボランティア交流研究集会、ブロック別事例検討会等にブロック担当者を派遣し、相互に連携・協力して事業・活動を支援・推進した。また、広域圏社会福祉協議会活動推進事業補助金として、ブロック単位に、最大150,000円の補助を行った。

| ブロック | 期日・会場・参加者                                | 内容                                                                                                                       |
|------|------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 佐久   | 令和元年東日本台風災害の影響により中止                      | <div> 職員研修・フォーラム合同開催<br/> 佐久地区ボランティア・地域活動フォーラム<br/> 「共に地域で暮らすために」 </div>                                                 |
| 上小   | 令和元年9月28日（土）<br>東御市総合福祉センター<br>参加者：90人   | 令和元年度上小ブロックボランティアフォーラム<br>○「パラスポーツを楽しもう」<br>講師 上原大祐 氏（NPO法人D-SHIP32 代表）<br>○ユニバーサルスポーツ「ボッチャ」体験会<br>指導 公益財団法人身体教育医学研究所 所員 |
|      | 令和元年東日本台風災害の影響により中止                      | （上小ブロック社協役職員研修）                                                                                                          |
| 諏訪   | 令和元年10月20日（日）<br>下諏訪総合文化センター<br>参加者：148人 | 諏訪ブロック社協 ボランティア交流研究集会<br>○全体会「みんなで楽しめる！かんたんレクリエーション」<br>講師 寺平美樹 氏（松本大学非常勤講師）<br>○分科会（全4分科会）                              |
|      | 令和元年11月22日（金）<br>岡谷市ライフプラザマリオ<br>参加者：60人 | 諏訪ブロック社協 役員及び職員合同研修会<br>○「長野県社協災害福祉支援本部活動状況報告」<br>○講演会「一人暮らしの増加と今後<br>～どのような地域や社会を構築していくか～」<br>講師 藤森克彦 氏（日本福祉大学/みずほ情報総研） |
| 上伊那  | 令和元年11月30日（土）<br>中川文化センター<br>参加者：259人    | 第35回上伊那ブロックボランティア交流研究集会<br>○アトラクション 人形劇「傾城阿波鳴門 巡礼唄の段」<br>中川西小学校 中川人形クラブ<br>○講演会「笑顔でいきいき社会参加」<br>講師 城取茂美 氏<br>○分科会 全8分科会  |

|    |                                               |                                                                                                                                                                       |
|----|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | 令和2年2月22日(土)<br>梨の木ふれあいセンター<br>参加者：49人        | 上伊那ブロック社協職員研修会<br>○講義「災害から学んだ社協職員の役割や使命を考えよう」<br>講師 唐木雅彦 氏(南箕輪村社会福祉協議会)<br>福澤信輔 (長野県社会福祉協議会)                                                                          |
| 飯伊 | 令和2年2月8日(土)<br>豊丘村交流センター<br>ゆめあるて<br>参加者：294人 | 令和元年度飯伊ブロックボランティア交流研究集会<br>○持ち寄り特産市場<br>○活動発表「私の居場所 私の出番」<br>報告 柿下土手作りサロン(豊丘村)<br>めだかの学校・めだかカフェ(下条村)<br>伊賀良ボランティアグループ(飯田市)<br>コーディネーター 今村光利 氏(長野県長寿社会開発センター)<br>○抽選会等 |
|    | 令和元年10月11日(金)<br>飯田勤労者福祉センター<br>参加者：40人       | 令和元年度飯伊ブロック事例検討会<br>事例検討「地域や社協との関わりを拒否される方に対して、社協としてどのような支援ができるか」<br>情報交換                                                                                             |
| 木曽 | 令和元年8月31日(土)<br>木曽町文化交流センター<br>参加者：153人       | 第19回木曽ブロックボランティア地域活動フォーラム<br>○講義「いまこそほっこり気分になりましょう<br>～心揺さぶる童謡メンタルセラピー～」<br>講師 山西敏博 氏(国際音楽メンタルセラピスト協会会長)                                                              |
|    | 令和元年東日本台風災害の影響により中止                           | (職員研修「災害時BCPについて」)                                                                                                                                                    |
| 松本 | 令和元年東日本台風災害の影響により中止                           | (松本ブロックボランティア交流会)                                                                                                                                                     |
|    | 新型コロナウイルス感染症の影響により中止                          | 松本ブロック社協職員防災研修会<br>○講演「BCPについて」                                                                                                                                       |
|    | 令和元年7月21日(日)<br>安曇野市社協堀金支所<br>参加者：49人         | 松本ブロック社協職員研修会<br>「支援者間の連携について」<br>講師 鳥羽弘幸 氏(松本市成年後見支援センターかけはし)                                                                                                        |
| 大北 | 令和元年東日本台風災害の影響により中止                           | (第21回大北ブロックボランティア地域活動フォーラム)                                                                                                                                           |
|    | 令和元年10月11日(金)<br>小谷村福祉センターせせらぎ                | 令和元年度大北ブロック社協職員研修会<br>地域おこし協力隊と交流しよう<br>ヨガ×アロマでリラックス&リフレッシュ<br>講師 松本友可氏、小宮あずさ氏(小谷村地域おこし協力隊)                                                                           |
| 長野 | 令和元年東日本台風災害の影響により中止                           | (長野ブロックボランティア交流研究集会)                                                                                                                                                  |
|    | 令和元年9月18日(水)<br>高山村保健福祉総合センター                 | ブロック社協職員研修<br>○寄りたい市場について<br>○誰もがその人らしく生き抜く長寿社会の実現を目指して                                                                                                               |
| 北信 | 令和元年東日本台風災害の影響により中止                           | 〔北信ブロックボランティアの集い〕<br>「パラスポーツを楽しもう」                                                                                                                                    |



|                                   |                                                                                 |
|-----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 令和2年2月25日（火）<br>飯山市公民館<br>参加者：37人 | 北信ブロック社協職員研修会（北信発社協人のつどい）<br>「災害時の社協職員の役割と事業所等の初動対応を考える」<br>講師 福澤信輔（長野県社会福祉協議会） |
|-----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|

#### ④市町村社協概況調査の実施

市町村社会福祉協議会の財務、組織体制、事業内容を把握し、県内市町村社会福祉協議会の事業推進資料とするため、概況調査を実施し情報提供した。

#### ⑤長野県内社会福祉協議会職員連絡協議会の運営

県内の社協職員の資質向上と相互の親睦を図り、社会福祉事業の推進に資することを目的とした事業を実施した。

##### ア 会議の運営

理事会の開催（年2回）新型コロナウイルス感染症の影響により2回目は書面決議とした。

※理事：10ブロック及び県社協から各1人

##### イ 関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会への参加

令和元年度関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会へ参加した。

期 日 令和元年7月29日（月）～30日（火）

会 場 国際ファッションセンター（東京都）

参加者 20人（長野県参加者）

内 容 基調講演、分科会（6テーマ）、記念講演

#### ⑥関東ブロック都県・指定都市社協組織・ボランティア業務担当者研究協議会の開催

当番県として春季の会議及び秋季の研究協議会を実施した。

##### ア 春季関東甲信越静ブロック都県・指定都市社協組織・ボランティア業務担当者会議

期 日 令和元年6月10日（月）

会 場 東京ボランティア・市民活動センター

参加者 36名

内 容 協議題に対する意見交換

関係会議の持ち方及び開催順について 等

##### イ 秋季関東甲信越静ブロック都県・指定都市社協組織・ボランティア業務担当者研究協議会

期 日 令和元年11月21日（木）

会 場 東京都社会福祉協議会

参加者 37名

内 容 台風15号及び19号等に係る災害への対応について

今後の被災社協支援スキームについて 等

評価： 県の地域福祉支援計画が策定され長野県の地域福祉の方向性が示されたことにより、地域福祉の推進を担う社会福祉協議会の役割と、地域の様々な生活課題の解決に向けて活動している多様な主体との協働を図るコーディネーターの養成を中心に取り組みを進めたことにより、県内各地の支援関係者の横のつながりと資質向上に寄与することができた。また、台風災害によって、一部事業の中止・縮小なども発生したが、改めて地域の支え合いによる地域づくりの重要性を発信し、日頃の取組みへつなぐきっかけづくりを行うことができた。

## 2 地域共生の仕組みづくり

## 【一般会計－地域福祉事業費】

### (1) まちづくりボランティアセンター運営委員会の設置

長野県まちづくりボランティアセンター設置要項に基づき運営委員会を開催した。

- ・第1回 (期日・会場) 令和元年9月6日(金) 県社会福祉総合センター  
(協議事項) 事業実施状況について、センターの現状・課題について

### (2) 住民支え合い活動の推進

#### ①住民支え合い活動支援事業の実施

地域の課題を住民が主体的に解決に向けて取り組みを進めるための支援を行う人材の支援を行うために、以下の事業を実施した。

また、住民による支え合い・ボランティア活動と公的サービスとの協働による小地域で生活全般を支える仕組みの普及を図るためのフォーラムを開催した。

#### ア 住民力強化検討会議の開催等

地域の生活・福祉課題を住民主体で共有し、解決に向けた検討・活動の展開に向け、それを支援する人材の課題共有・解決を図るための場を開催した。

| 市町村 | 開催日 (参加者数) |           |          |          | 計  |
|-----|------------|-----------|----------|----------|----|
| 長野市 | 10/2(30)   |           |          |          | 1  |
| 松本市 | 7/5(16)    |           |          |          | 1  |
| 上田市 | 5/30(8)    |           |          |          | 1  |
| 岡谷市 | 9/3(16)    |           |          |          | 1  |
| 飯田市 | 10/11(40)  |           |          |          | 1  |
| 伊那市 | 4/15(13)   | 6/14(14)  | 8/20(14) | 1/16(14) | 4  |
| 塩尻市 | 5/10(87)   | 12/13(13) | 1/22(20) |          | 3  |
| 開催数 |            |           |          |          | 12 |

また、地域福祉のコーディネーターが行う、地域で実践する住民啓発等の住民力強化の取り組みに対し、現場に赴いて実践の方向性等を支援し、地域の住民力を高めた。

| 市町村     | 期日     |       |        |       |       |       |       |       |      |  | 計  |
|---------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|------|--|----|
| 長野市     | 4月22日  | 5月16日 | 6月4日   | 6月25日 | 7月17日 | 8月2日  | 9月18日 | 10月3日 | 1月9日 |  | 9  |
| 上田市     | 10月8日  | 1月27日 | 2月13日  |       |       |       |       |       |      |  | 3  |
| 飯田市     | 7月11日  | 7月24日 | 8月9日   | 8月30日 | 9月7日  |       |       |       |      |  | 5  |
| 小諸市     | 4月23日  | 7月3日  | 8月5日   |       |       |       |       |       |      |  | 3  |
| 伊那市     | 9月4日   | 1月24日 |        |       |       |       |       |       |      |  | 2  |
| 中野市     | 5月20日  | 5月24日 | 6月28日  | 7月8日  | 7月11日 | 8月26日 | 2月19日 |       |      |  | 7  |
| 飯山市     | 10月10日 | 2月25日 |        |       |       |       |       |       |      |  | 2  |
| 塩尻市     | 6月24日  | 10月1日 |        |       |       |       |       |       |      |  | 2  |
| 佐久市     | 4月23日  | 5月14日 | 7月3日   |       |       |       |       |       |      |  | 3  |
| 千曲市     | 7月3日   |       |        |       |       |       |       |       |      |  | 1  |
| 安曇野市    | 5月15日  | 2月20日 |        |       |       |       |       |       |      |  | 2  |
| 小海町     | 7月26日  | 8月28日 |        |       |       |       |       |       |      |  | 2  |
| 軽井沢町    | 4月25日  | 5月27日 | 6月25日  | 7月19日 |       |       |       |       |      |  | 4  |
| 長和町     | 2月20日  |       |        |       |       |       |       |       |      |  | 1  |
| 富士見町    | 2月20日  |       |        |       |       |       |       |       |      |  | 1  |
| 辰野町     | 2月12日  |       |        |       |       |       |       |       |      |  | 1  |
| 喬木村     | 5月30日  | 6月12日 | 10月11日 |       |       |       |       |       |      |  | 3  |
| 豊丘村     | 8月1日   |       |        |       |       |       |       |       |      |  | 1  |
| 生坂村     | 5月23日  | 6月6日  | 7月9日   |       |       |       |       |       |      |  | 3  |
| 山形村     | 6月19日  | 7月18日 | 8月20日  |       |       |       |       |       |      |  | 3  |
| 高山村     | 5月13日  |       |        |       |       |       |       |       |      |  | 1  |
| 支援(訪問)数 |        |       |        |       |       |       |       |       |      |  | 59 |

## イ 活動支援フォーラムの開催

### お互いさまの地域づくりを考えるつどい

住民参加型在宅福祉サービスの活動の原点を学び、活動者とそれを支援するコーディネーターの想いを共有し、これからの住民主体の支え合い活動を地域でさらに推進するための方向性について検討した。

期 日 令和元年 7 月 12 日（金）

場 所 塩尻総合文化センター

参加者 79 人

内 容 「お互いさまの地域づくりを考えるつどい～くらしの“足” どうする～」

<講演> 「くらしの“足” どうする」

講師 河崎民子 氏（NPO 法人全国移動サービスネットワーク 副理事長）

<情報交換・グループワーク>

## ②総合事業・生活支援体制整備事業の相談支援

県内で実践されている多様な住民主体の支え合い活動を発見・発掘し、情報発信するとともに、活動の普及を目指す地域の推進役や関係者等と協働によるコーディネート支援をおこなった。

### ア 住民支え合い活動の発掘・情報発信及び活動コーディネート支援

県内各地に訪問して発掘した多様な地域活動を、本会広報誌への掲載・研修会等で共有するとともに、地域の支え合い活動を推進する社会福祉協議会などの関係機関等からの相談に応じて訪問しコーディネート支援を行った。

| 市町村  | 期 日   |       |       |       |       | 計  |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|----|
| 長野市  | 5月20日 | 5月29日 | 6月5日  | 6月14日 | 6月21日 | 10 |
|      | 6月23日 | 7月3日  | 7月10日 | 10月8日 | 1月9日  |    |
| 上田市  | 4月5日  | 4月28日 | 5月30日 | 1月16日 |       | 4  |
| 飯田市  | 7月24日 |       |       |       |       | 1  |
| 諏訪市  | 7月12日 |       |       |       |       | 1  |
| 須坂市  | 5月14日 |       |       |       |       | 1  |
| 伊那市  | 7月4日  | 8月7日  |       |       |       | 2  |
| 中野市  | 5月24日 | 7月16日 | 8月8日  | 9月17日 |       | 4  |
| 茅野市  | 7月23日 |       |       |       |       | 1  |
| 塩尻市  | 4月25日 | 5月14日 |       |       |       | 2  |
| 千曲市  | 4月11日 | 9月9日  |       |       |       | 2  |
| 東御市  | 9月28日 |       |       |       |       | 1  |
| 安曇野市 | 5月31日 | 6月26日 |       |       |       | 2  |
| 南相木村 | 9月3日  | 10月4日 |       |       |       | 2  |
| 立科町  | 9月30日 |       |       |       |       | 1  |
| 上松町  | 5月13日 |       |       |       |       | 1  |
| 筑北村  | 8月25日 |       |       |       |       | 1  |
| 小布施町 | 1月27日 |       |       |       |       | 1  |
| 飯綱町  | 7月9日  |       |       |       |       | 1  |
| 訪問数  |       |       |       |       |       | 38 |

## ③長野県民生委員児童委員協議会連合会の運営支援

長野県民生委員児童委員協議会連合会から事務局運営を受託し、本会職員参与 1 名、事務局長 1 名、事務局職員 4 名を業務担当として配置し運営を支援した。

### ア 第 24 回長野県民生委員児童委員大会の開催支援

県内の民生委員児童委員が「地域共生社会の実現」のために担うべき役割を確認し、活動を継続的に行うことを目的に開催した。

期日・会場 令和元年7月25日（木）、26日（金）・佐久市コスモホール

参加者 延べ1,500人

大会内容 式典

長野県民生委員児童委員協議会連合会会長表彰（33名・4団体）

長野県知事表彰（社会福祉表彰 須坂市民生児童委員協議会）

記念講演「一流の人材が育つ環境作り」～今と昔～

講師 佐久長聖中学・高等学校 校長 佐藤 康 氏

シンポジウム「地域共生社会の実現に向けて」

司会 松嶋隆徳氏（県民児連副会長）

実践発表者 土屋慶子氏（長野市民児協）、土屋珠江氏（佐久市民児協）

前島三津江氏（飯田市民児協）

アトラクション「佐久市オリジナル 健康長寿体操」出て鯉サポーター

#### ④長野県社会福祉協議会福祉基金事業助成金の交付

長野県社会福祉協議会福祉基金の運用果実により、県的福祉関係団体の県大会・関東ブロック大会等を開催経費を助成した。

| 団体名                | 助成対象事業                                       | 助成額(円)  |
|--------------------|----------------------------------------------|---------|
| 社会福祉法人長野県聴覚障害者協会   | 第53回全国ろうあ青年研究討論会                             | 100,000 |
| 社会福祉法人長野県身体障害者福祉協会 | 平成31年度第70回長野県身体障害者福祉大会                       | 100,000 |
| 長野県身体障害者施設協議会      | 平成31年度関東・甲信越地区身体障害者施設協議会第2回総会・第3回施設長会議・施設長研修 | 50,000  |
| 一般社団法人長野県児童福祉施設連盟  | 第34回関東ブロック児童養護施設職員研修会                        | 100,000 |
| 合計                 |                                              | 350,000 |

### （３）ボランティア活動の支援

#### ①ボランティア活動リーダー養成

地域の支援、ニーズに対応した活動、地域資源を有効に活用した活動など地域力を生かしたボランティアの実践を支援した。

##### ア 地域力を活かした見守りボランティア活動

地域コミュニティ、地域で活動する実践者等の経験を活かし、障がい者・認知症高齢者や子どもなどを地域で見守り、日常的に支援活動を行うボランティアの人材養成と活動推進を行った。

##### ■信州こどもカフェ応援講座

- ・令和元年7月22日（月） 松本市勤労者福祉センター 27名
- ・令和元年7月29日（月） 佐久平交流センター 23名

##### ■地域支え合いボランティア実践塾

- ・令和元年8月3日～4日 中野市福祉ふれあいセンター
- ・令和2年2月8日～9日 //

## ■災害について考える講座

- ・令和2年1月21日（火） 山ノ内町文化センター 27名

## イ 実践者と地域を結ぶボランティアプログラム支援

地域の多様な福祉課題をテーマにボランティアの情報交換の場を設け、地域の課題・ニーズに対応した活動、地域資源を有効に活用した活動など、ボランティアグループの立ち上げ・プログラム支援などのボランティア活動を推進した。

## ■防災講座

- ・令和元年6月9日（日） 松本市梓川福祉センター 107名

## ■災害ボランティア講座

- ・令和元年7月20日（土） あいとびあ田（佐久市） 22名

## ■学びと防災の学校（ICTの活用による講座）

- ・令和元年5月25日（土） 新軽井沢会館 9名
- ・令和元年7月20日（土） karuizawa camp gold 15名
- ・令和元年8月28日（水） 軽井沢町中央公民館 7名

## ②ボランティア活動に関する相談支援

市町村社協、民間団体、企業、個人等からのボランティア活動に関する相談に対応し、研修情報等の提供や相手方の紹介等の支援することを通じ、ボランティア活動への参加機運の醸成を図るとともに、地域の多様な機関・団体との連携を促進した。

## ③信州こどもカフェ運営支援事業の実施

「地域で子どもを育むプロジェクト」と称して、長野県が推進する子どもの居場所機能を有する「信州こどもカフェ」を運営する団体等への支援を通じて、市町村社協と活動団体のつながりづくりを進めた。

## ア 助成事業の実施

助成団体：計47団体

信州こどもカフェ：41団体 地域連携組織（プラットフォーム）：6団体

## イ 応援講座の実施

|     | 東北信                 | 中南信          |
|-----|---------------------|--------------|
| 期 日 | 令和元年7月29日（月）        | 令和元年7月22日（月） |
| 場 所 | 佐久平交流センター           | 松本市勤労者福祉センター |
| 参加者 | 23名                 | 27名          |
| 内 容 | 基調説明と情報提供・実践報告・演習体験 |              |

## ウ 活動大報告会の開催

期 日 令和2年3月10日（火）

※新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。

## ④信州くらしの支えあいネットワークとの連携

住民参加型在宅福祉サービスの県組織である「信州くらしの支えあいネットワーク」の事務局運営を担い、県内の生活支援サービス団体の支援を行った。

### 【団体概要】

会 長：新井厚美 氏（ワーカーズコープかがやき 代表理事）

構成団体：40団体

#### ○役員会

期日・会場 平成31年4月26日（金）県社会福祉総合センター

内 容 令和元年度の運営方針について、令和元年度全体会内容について

#### ○全体会

期日・会場 令和元年7月12日（金）塩尻総合文化センター

内 容 ≪総 会≫ 14団体 48人参加

平成30年度事業報告及び令和元年度事業計画説明

正副会長について

≪全体会≫ 79人参加

「お互いさまの地域づくりを考えるつどい～くらしの“足” どうする～」

<講演> 「くらしの“足” どうする」

講師 河崎民子 氏（NPO法人全国移動サービスネットワーク 副理事長）

<情報交換・グループワーク>

#### ○情報発信・広報活動

メールニュースの配信、ホームページの更新

#### ○訪問活動

役員と事務局が加入団体を訪問し、活動内容をお聞きした。

加入していない団体を訪問し、加入に向けた説明、啓発を行った。

### ⑤ボランティア活動の支援

#### ア 活動団体調査の実施

平成31年4月1日現在の県内市町村社協のボランティアグループ等の状況について実態調査を行い、事業促進に活用した。

・個人ボランティア数 8,325人（716人減）

・団体数 6,378団体（123団体減）、所属人数 255,963人（21,413人減）

#### イ 助成金等の情報発信

助成金情報の提供をはじめ、ホームページの充実を図った。また、「県社協報」に助成金情報を掲載し、市町村社協を通じて発信をした。

#### ウ ボランティア活動保険の事務

ボランティア保険（ボランティア活動保険、ボランティア行事用保険、福祉サービス総合補償、送迎サービス補償）の加入促進を進めるとともに、保険加入手続を行った。

評価： 県内各地における多様なボランティア・地域活動を推進するために、信州こどもカフェに対する助成等の新規事業にも着手し、市町村社協と地域の担い手の発掘や活動起こしの支援に注力することができた。

また、地域福祉コーディネーターをはじめとして、こうした地域を支援する人材に対する情報共有の場を設けたり、本会職員が直接出向いて実態把握と情報提供を行うことで、県内各地の実践を参考にした様々な活動や講座の企画開発の支援を行うことができた。しかし、まだ県内各地の地域では、地域支援を担う人材が孤立している地域もあるため、引き続き県内各地でのネットワーク化を図る。

### 3 災害ボランティア活動の推進

【一般会計—地域福祉事業費】

【一般会計—共同募金配分金事業費】

災害ボランティア活動が効果的に展開できるよう、民間団体のおこなう災害支援の充実を目指し、長野県内社協職員災害初動時における先遣チーム（DSAT）メンバーの資質向上を中心に、企業・NPO等とのネットワーク構築等を実施した。

#### （１）災害ボランティアセンター運営支援者（DSAT）研修の実施

##### ①災害ボランティアセンター運営支援スーパーバイザー養成研修

期 日 令和2年1月18日（土）

会 場 アグリながぬま

参加者 長野県内市町村社協職員災害初動時における先遣チーム（DSAT）スタッフ、  
県内の社会福祉協議会職員 等 100人

内 容 （再掲）

|        |                                                                                                                                                                                                             |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| シンポジウム | <p>「台風19号災害への取組みの共有」</p> <p>【コーディネーター】 石井布紀子 氏（NPO法人さくらネット 代表）</p> <p>【シンポジスト】 前原土武 氏（災害NGO結 代表）</p> <p>小林こず枝 氏（佐久穂町社会福祉協議会）</p> <p>唐木雅彦 氏（南箕輪村社会福祉協議会）</p> <p>山崎博之（長野県社会福祉協議会）</p> <p>福澤信輔（長野県社会福祉協議会）</p> |
| 分科会1   | <p>「災害ボランティアセンター運営支援」</p> <p>【コーディネーター】 石井布紀子 氏（再掲）</p> <p>【出演者】 武井未緒 氏（長野市社会福祉協議会）</p> <p>松岡伸樹 氏（長野市社会福祉協議会）</p> <p>小林こず枝 氏（再掲）</p> <p>唐木雅彦 氏（再掲）</p> <p>山崎博之（再掲）</p>                                      |
| 分科会2   | <p>「NPO・NGOとの連携」</p> <p>【コーディネーター】 前原土武 氏（再掲）</p> <p>【出演者】 西川遼馬 氏（飯山市社会福祉協議会）</p> <p>足立 崇 氏（みゆき野青年会議所）</p> <p>小林周平（長野県社会福祉協議会）</p>                                                                          |
| 分科会3   | <p>「農業支援連携」</p> <p>【コーディネーター】 福澤信輔（再掲）</p> <p>【出演者】 徳永慎吾 氏（長沼林檎生産組合ぼんど童 組合長）</p> <p>下川英紀 氏（津野復光隊 代表）</p> <p>塚田史郎 氏（TEAM SHIRO 代表）</p> <p>小林弘幸 氏（JAながの営農部指導課 考査役）</p>                                        |

## ②訓練の実施

### ア 災害ボランティアセンター体制整備事業研修

期日・会場 令和元年8月3日（土）飯山市木島地区活性化センター  
 講師 長野県社会福祉協議会  
 参加者 39人

### イ ボランティア・NPO等活動調整訓練

期日・会場 令和元年9月2日（月）長野県庁災害対策本部室  
 参加者 15人

## ③災害ボランティア講習会等への派遣

延べ9回

## ④災害時の災害ボランティアセンターへの派遣・研修

本事業で養成したスーパーバイザーを令和元年東日本台風による被害を受けた県内被災地へ派遣した。

## （２）地域、企業、NPO等による災害時の連携支援事業の実施

### ①地域・企業・NPO等連携災害支援ネットワーク会議の開催

構成団体 長野県生活協同組合連合会、長野県NPOセンター、日本青年会議所北陸信越地区長野ブロック協議会、長野県長寿社会開発センター、長野県共同募金会、日本労働組合総連合会長野県連合会、長野県、長野県社会福祉協議会

期日・会場

|       |               |             |    |
|-------|---------------|-------------|----|
| 〔第1回〕 | 平成31年4月26日（金） | 県社会福祉総合センター | 6人 |
| 〔第2回〕 | 令和元年5月16日（木）  | 〃           | 5人 |
| 〔第3回〕 | 令和元年6月20日（木）  | 〃           | 5人 |
| 〔第4回〕 | 令和元年7月18日（木）  | 〃           | 5人 |
| 〔第5回〕 | 令和元年8月29日（木）  | 〃           | 4人 |
| 〔第6回〕 | 令和元年9月19日（木）  | 〃           | 3人 |

### ②災害時の連携プラットフォーム（つながるBOOK）の開催

|     | 第1回         | 第2回                                   | 第3回                                | 第4回                           |
|-----|-------------|---------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------|
| 期 日 | 令和元年6月20日   | 令和元年7月18日                             | 令和元年8月29日                          | 令和元年9月19日                     |
| 会 場 | 県社会福祉総合センター |                                       |                                    |                               |
| 参加者 | 8人          | 9人                                    | 11人                                | 6人                            |
| 内 容 | 準備<br>情報交換  | 災害ボランティア<br>活動時に注意する<br>衛生面等について      | 警戒レベルや大雨<br>（台風・秋雨前線）<br>等について     | 防災士の資格や<br>活動について             |
| 講 師 |             | 日赤長野県支部<br>健康生活支援<br>講習指導員<br>小橋 信子 氏 | 気象庁<br>長野地方気象台<br>地域防災官<br>松沢 正孝 氏 | 長野県地域防災<br>推進協議会会長<br>有賀 元栄 氏 |

### ③ボランティア・NPO等活動調整訓練（長野県主催）への参加

期 日 令和元年9月2日（月）  
 会 場 長野県庁



#### ④ONE NAGANO 復興応援会議の開催

期 日 令和元年 12 月 18 日 (水)  
会 場 長野市生涯学習センター  
参加者 121 人  
内 容 ○被災地住民や災害支援に関わる関係者のリレートーク

##### 【出演者】

清水厚子 氏 (とよの被災者支援チーム「集落元快」)  
柳見澤宏 氏 (長野市長沼地区住民自治協議会会長)  
小野道子 氏 (NPO 法人災害時こどものこころと居場所サポート副代表  
長野市子どもにやさしいまちフォーラム運営委員)  
小林芳則 氏 (J Aながの営農部次長)  
前原土武 氏 (災害 NGO 結代表)  
山崎博之 (長野県社会福祉協議会)  
○円卓を囲んでの情報共有

#### ⑤ネットワーク構成団体と県内社協との連携のための訓練の実施

令和元年東日本台風災害により中止

#### (3) 災害時住民支え合いマップづくり促進事業との連携

総務企画部企画グループと連携し、各地域での災害時住民支え合いマップの策定促進に取り組んだ。

評価：令和元年東日本台風で被災した千曲川流域での災害ボランティアの活躍により、県内各地で災害に対する意識の醸成と活動に対する意識の高まりを感じることができた。  
また、多様な主体が災害支援の可能性を高めるために取り組んできた地域・企業・NPO等との連携についても、今回の災害時に効果的に連携が図られたことは、大きな成果となった。

#### 4 令和元年東日本台風災害における災害ボランティア活動

【一般会計－法人運営事業費】

【一般会計－地域福祉事業費】

【一般会計－共同募金配分金事業費】

・長野県に上陸した台風で県内千曲川沿線地域の河川が氾濫・決壊したことによって、11市町村で災害ボランティアセンターが設置された。

・本会では、各災害ボランティアセンター（災害VC）へ職員を派遣するとともに「長野県内社協職員災害初動時における先遣チーム（DSAT）」の派遣調整とともに、「長野県内災害時相互応援協定（協定）」に基づく県内社協職員の派遣等も実施し、被災地域の社協及び災害ボランティアセンターの支援を実施した。

・また、民間支援団体によるネットワーク「長野県災害時支援ネットワーク」とJAとの協働による「信州農業再生復興ボランティアプロジェクト」を組成し、農業ボランティアによる被災地支援を展開した。

##### （１）災害VC運営支援

最大 10 地域で災害ボランティアセンターが同時に運営されていたこともあり、本会職員も各地の災害VC運営支援に奔走しながら被災地支援を実施。

##### ①災害VC活動実績一覧

| 長野県内の被災状況及び災害ボランティアセンター設置数 |       |       |       |       |               |        |
|----------------------------|-------|-------|-------|-------|---------------|--------|
| 市町村名                       | 全世帯   | 全世帯   | 一部損壊  | 計     | 災害VC開設期間      | V数     |
| 長野市                        | 1,029 | 1,562 | 1,863 | 4,454 | 10/16 - 3/31  | 64,705 |
| 上田市                        | 1     | 10    | 411   | 422   | 10/13 - 31    | 295    |
| 須坂市                        | 1     | 246   | 107   | 354   | 10/16 - 11/4  | 2,084  |
| 中野市                        | 8     | 67    | 38    | 113   | 10/14 - 30    | 735    |
| 飯山市                        |       | 189   | 439   | 628   | 10/14 - 27    | 1,253  |
| 佐久市                        | 18    | 145   | 119   | 282   | 10/14 - 11/8  | 1,264  |
| 千曲市                        | 1     | 336   | 542   | 879   | 10/15 - 11/6  | 1,193  |
| 佐久穂町                       | 12    | 53    | 5     | 70    | 10/15 - 11/10 | 724    |
| 立科町                        |       | 3     | 34    | 37    | 10/13 - 23    | 72     |
| 小布施町                       | 5     | 28    | 24    | 57    | 10/16 - 28    | 641    |
| 栄村                         |       | 2     | 2     | 4     | 10/14 - 15    | 16     |
| 合計(注)                      | 1,075 | 2,641 | 3,584 | 7,300 |               | 72,989 |

災害ボランティアセンター（VC）が立ち上がった市町村を抜粋。  
床上・床下浸水は省略。（2020/3/31時点）

##### ②災害VCへのスタッフ（応援職員）の派遣実績

|          | 県社協 | DSAT | 協定  | スポット(※) | 関東・北陸<br>ブロック社協 |
|----------|-----|------|-----|---------|-----------------|
| 延べ<br>人数 | 856 | 174  | 976 | 851     | 587             |

※1日単位で応援可能な社協職員の派遣調整

## (2) 信州農業再生復興ボランティアプロジェクト（農ボラ）

多様な主体との協働によって農地に流れ着いた土砂や漂流物を撤去することを目的とした農ボラを立ち上げ、地域の産業である農業の復興からまちづくりを目指した被災地支援を実施した。

### ①実行委員会

〔構成団体〕

J Aながの・J Aグリーン長野・長野県災害時支援ネットワーク（県NPOセンター、県社会福祉協議会、県生活協同組合連合会、県長寿社会開発センター、日本青年会議所北陸信越地区長野ブロック協議会日本労働組合総連合会長野県連合会、県共同募金会）・長野県社会福祉協議会（まちづくりボランティアセンター）・株式会社長印・長沼地区林檎生産組合ぽんど童・小布施町日本笑顔プロジェクト

〔協力団体〕

長野県・長野市・長野市社会福祉協議会・青年海外協力協会

〔事務局〕

長野県災害時支援ネットワーク（県災害対策本部 内）

### ②活動実績

| 市町村    | 長野市                 | 須坂市   | 中野市        | 小布施町              | 合計    |
|--------|---------------------|-------|------------|-------------------|-------|
| 活動期間   | 11/19－12/17<br>2/16 | 12/15 | 11/30－12/8 | 11/23<br>12/15・21 |       |
| ボランティア | 6,773               | 515   | 688        | 806               | 8,782 |

## (3) ONE NAGANO 復興応援会議の開催

長野県災害時支援ネットワークとの協働による、被災地支援に携わる支援者等と現状とこれからを共有するために開催した。

期日・会場 令和元年12月18日（水）@長野市生涯学習センター

参加者 121人

内容 ①被災地住民や災害支援に関わる関係者のリレートーク

【出演者】

清水厚子 氏（とよの被災者支援チーム「集落元快」）

柳見澤宏 氏（長野市長沼地区住民自治協議会会長）

小野道子 氏（NPO 法人災害時こどものこころと居場所サポート副代表  
長野市子どもにやさしいまちフォーラム運営委員）

小林芳則 氏（J Aながの営農部次長）

前原土武 氏（災害 NGO 結代表）

山崎博之 （長野県社会福祉協議会）

②円卓を囲んでの情報共有

## (4) 台風19号災害支援のこれからを考えるための振り返りセミナーの開催

台風19号の社協による災害支援を振り返り、平時の社協活動と災害時の支援を考える機会として開催した。

期日・会場 令和2年1月18日(土) アグリながぬま(長野市)

参加者 100人

内容

|        |                                                                                                                                                                                                                   |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| シンポジウム | <p>「台風19号災害への取組みの共有」</p> <p>【コーディネーター】</p> <p>石井布紀子 氏(NPO法人さくらネット 代表)</p> <p>【シンポジスト】前原土武 氏(災害NGO結 代表)</p> <p>小林こず枝 氏(佐久穂町社会福祉協議会)</p> <p>唐木雅彦 氏(南箕輪村社会福祉協議会)</p> <p>山崎博之(長野県社会福祉協議会)</p> <p>福澤信輔(長野県社会福祉協議会)</p> |
| 分科会1   | <p>「災害ボランティアセンター運営支援」</p> <p>【コーディネーター】 石井布紀子 氏(再掲)</p> <p>【出演者】武井未緒 氏(長野市社会福祉協議会)</p> <p>松岡伸樹 氏(長野市社会福祉協議会)</p> <p>小林こず枝 氏(再掲)</p> <p>唐木雅彦 氏(再掲)</p> <p>山崎博之 (再掲)</p>                                            |
| 分科会2   | <p>「NPO・NGOとの連携」</p> <p>【コーディネーター】 前原土武 氏(再掲)</p> <p>【出演者】西川遼馬 氏(飯山市社会福祉協議会)</p> <p>足立 崇 氏(みゆき野青年会議所)</p> <p>小林周平 (長野県社会福祉協議会)</p>                                                                                |
| 分科会3   | <p>「農業支援連携」</p> <p>【コーディネーター】福澤信輔(再掲)</p> <p>【出演者】徳永慎吾 氏(長沼林檎生産組合ぼんど童 組合長)</p> <p>下川英紀 氏(津野復光隊 代表)</p> <p>塚田史郎 氏(Team SHIRO 代表)</p> <p>小林弘幸 氏(JAながの営農部指導課 考査役)</p>                                                |

### Ⅲ 相談事業部

#### 包括的な相談支援体制づくり～地域を基盤とする総合相談・生活支援の推進～

##### 1 総合相談機能の充実

【一般会計－生活支援事業費】

##### (1) 「コミュニティにおけるソーシャルワーク力強化研修・長野」

ソーシャルワークの理念、価値、知識、方法、技術等を学び、実践力を養い、その機能を高めることを目的として開催した。

○期日・会場

【松本会場】 令和元年8月20日（火）～21日（水） 深志神社梅風閣（松本市）

【長野会場】 令和元年8月22日（木）～23日（金） ホクト文化ホール（長野市）

○内 容

- ・説 明 「ソーシャルワークの機能強化による総合相談体制の整備について」  
説明者 長野県社会福祉協議会
- ・講義Ⅰ「地域共生社会づくりにおけるソーシャルワークの展開」  
講 師 上野谷加代子氏（同志社大学社会学部社会福祉学科教授） 【両会場】
- ・講義Ⅱ「ソーシャルワークの基礎理解」  
講 師 端田篤人氏（長野大学社会福祉学部准教授） 【両会場】
- ・演習Ⅰ「コミュニティとは何か、そこで暮らすとはどういうことか ～地域における生活課題に接近～」  
講 師 野村裕美氏（同志社大学社会学部社会福祉学科准教授） 【両会場】
- ・講義Ⅲ「住民を主体とした協働をつくる」  
講 師 川島ゆり子氏（愛知教育大学教授） 【松本会場】  
加山弾氏（東洋大学社会学部社会福祉学科教授） 【長野会場】
- ・講義Ⅳ「地域住民との協働実践 その①」  
講 師 野村裕美氏（前掲）、端田篤人氏（前掲）
- ・講義Ⅴ「地域住民との協働実践 その②」  
講 師 合津千香氏（松本短期大学介護福祉学科教授） 【松本会場】  
唐木雅彦氏（南箕輪村社協事務局次長） 【長野会場】
- ・講義Ⅵ・演習Ⅱ「ソーシャルサポートネットワークと社会資源開発」  
講 師 川島ゆり子氏（前掲） 【松本会場】  
加山弾氏（前掲） 【長野会場】
- ・講義Ⅶ・演習Ⅲ「包括的な支援体制における多職種連携」  
講 師 野村裕美氏（前掲）、長野県社会福祉協議会 【松本会場】  
野村裕美氏（前掲）、端田篤人氏（前掲） 【長野会場】

○参加者 120人（松本会場 62人、長野会場 58人）

##### (2) ブロック別事例検討会の推進

多様かつ複合的な生活課題を抱えている地域住民を、それぞれ地域でどう支援していくかについて、ブロック内の社協職員同士が互いの経験知を共有しながら事例検討を行うことで、職員の資質向上を

図ること、また、職種を横断して一事例を検討することで、社協事業の総合化の視点を養い、社協組織として総合相談体制の強化へとつなげていくこと、併せて、市町村の枠を超えた広域的な活動支援や連携の仕組みづくりをより一層進めていくことを目的に、ブロック別事例検討会の実施方法等を定めながら、その実施の推進を図った。

| ブロック | 開催日           | 場所                | 参加者 |
|------|---------------|-------------------|-----|
| 諏訪   | 令和2年2月20日（木）  | 下諏訪町老人福祉センター      | 15人 |
| 上伊那  | 平成31年4月15日（月） | 伊那市福祉まちづくりセンター    | 13人 |
|      | 令和元年6月14日（金）  |                   | 14人 |
|      | 令和元年8月20日（火）  |                   | 14人 |
|      | 令和元年10月16日（水） |                   | 11人 |
|      | 令和2年2月26日（水）  |                   | 14人 |
| 飯伊   | 令和元年10月11日（金） | 飯田市勤労者福祉センター      | 38人 |
| 松本   | 令和元年7月21日（日）  | 安曇野市社会福祉協議会堀金支所   | 49人 |
| 北信   | 令和元年8月28日（水）  | 北信圏域権利擁護センター（中野市） | 12人 |
|      | 令和元年12月16日（月） |                   | 9人  |
|      | 令和2年2月26日（水）  | 飯山市福祉センター         | 9人  |

### （３）福祉・生活に関する一般相談事業

#### ①実施状況

- ・相談員による悩み・心配ごと、家庭の問題、福祉・介護サービス等の相談
- ・本会において、土日・祝祭日を除く毎日実施

#### ②利用状況 113人

#### ③相談者の内訳

##### ア 性別

| 区 分 | 人 数  |
|-----|------|
| 男 性 | 42人  |
| 女 性 | 63人  |
| 不 詳 | 8人   |
| 合 計 | 113人 |

##### イ 相談内容の内訳

| 分 類      | 人 数  |
|----------|------|
| 家族・家庭    | 10人  |
| 暮らし・日常生活 | 56人  |
| 福祉・介護    | 38人  |
| 保健・医療    | 3人   |
| 人生       | 6人   |
| その他      | 0人   |
| 合 計      | 113人 |

##### ウ 相談対応の内訳

| 分 類     | 人 数         | 分 類        | 人 数         |
|---------|-------------|------------|-------------|
| ① 傾聴・助言 | 29人 (25.7%) | ④ ①及び②による  | 42人 (37.2%) |
| ② 情報提供  | 9人 (8.0%)   | ⑤ ①及び③による  | 10人 (8.8%)  |
| ③ 他機関紹介 | 16人 (14.2%) | ⑥ ②及び③による  | 2人 (1.8%)   |
|         |             | ⑦ ①及び②③による | 5人 (4.4%)   |
|         |             | 合 計        | 113人        |

#### (4) 福祉相談・権利擁護相談員ハンドブックの作成

県内の専門相談機関等を掲載したハンドブックを作成し、心配ごと相談所、市町村社会福祉協議会はじめ、地域住民の相談に携わっている関係機関に配布した。

#### (5) 交通遺児等支援事業

交通・災害遺児見舞金の支給を実施した。

○件数／3人(@150,000円)

○金額／450,000円

評価：市町村社協等における総合相談体制の更なる整備を進めるために、「コミュニティにおけるソーシャルワーク力強化研修・長野」を開催し、地域共生社会づくりにおける多機関による協働やソーシャルワークによる専門的実践の必要性について理解を進め、各組織のソーシャルワーク機能の強化に努めた。

ブロック別事例検討会については、ブロック社協とともに困難事例等について検討を行った。今後も引き続き各ブロックにおける実施支援を行っていく。

福祉・生活に関する一般相談では、相談内容を傾聴し、必要に応じて専門相談機関を紹介するとともに、県内の専門相談機関等を掲載したハンドブックを作成し、住民からの相談対応を実施している関係機関に対して情報提供を行った。

交通遺児等支援事業においては、市町村社協を通じて見舞金支給対象者の把握に努め、適正な管理を行った。

## 2 日常生活自立支援事業の推進

### 【一般会計－生活支援事業費】

判断能力が十分でない人が地域で安心して生活できるように福祉サービス利用援助・日常生活自立支援事業の推進を図った。

#### (1) 実施体制

利用者、本会及び次の基幹的社協等の三者契約による支援を行った。

○基幹的社協 19市社協、木曽町社協

○準基幹的社協 南箕輪村社協、山ノ内町社協、坂城町社協、軽井沢町社協

山形村社協、松川村社協、南木曽町社協、佐久穂町社協、下諏訪町社協

○単独実施町村社協 上松町社協、池田町社協、飯島町社協、大桑村社協、

飯綱町社協（H30から継続）、富士見町社協、木祖村社協（R1新規）

#### (2) 相談、契約状況

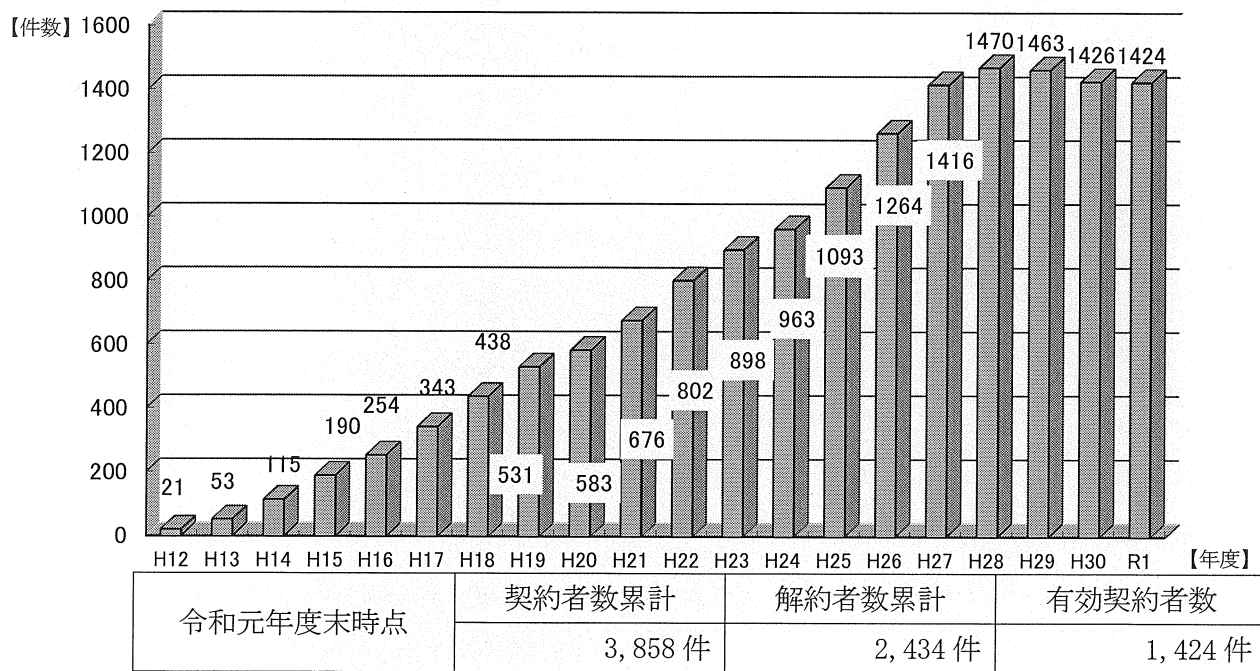
相談・問合せ件数 100,551回

|        | 問合せ   | 初回相談  | 継続相談   | 合 計     |
|--------|-------|-------|--------|---------|
| 認知症高齢者 | 1,091 | 549   | 19,055 | 20,695  |
| 知的障がい者 | 875   | 257   | 31,860 | 32,992  |
| 精神障がい者 | 1,596 | 245   | 44,481 | 46,322  |
| その他    | 70    | 51    | 370    | 491     |
| 対象外    | 51    |       |        | 51      |
| 合 計    | 3,683 | 1,102 | 95,766 | 100,551 |

新規契約締結件数 184 件（令和元年度）

| 年度 | H11 | H12 | H13 | H14 | H15 | H16 | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 件数 | 3   | 19  | 51  | 81  | 105 | 95  | 137 | 155 | 190 | 169 | 201 | 274 | 283 | 244 | 295 |
| 年度 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1  |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
| 件数 | 353 | 337 | 263 | 223 | 196 | 184 |     |     |     |     |     |     |     |     |     |

有効契約者数の推移（各年度末）



### （３）福祉サービス利用援助契約締結審査会

- 期 日 第１回 令和元年 ５月 14 日（火）  
第２回 令和元年 ６月 21 日（金）  
第３回 令和元年 ７月 24 日（水）  
第４回 令和元年 ８月 27 日（火）  
第５回 令和元年 ９月 27 日（金）  
第６回 令和元年 11 月 ８日（金）  
第７回 令和元年 12 月 17 日（火）  
第８回 令和２年 １月 24 日（金）  
第９回 令和２年 ３月 13 日（金）（※）



(※新型コロナウイルス感染拡大に伴い、書面審査にて実施。)

- 会 場 県社会福祉総合センター
- 内 容 福祉サービス利用援助契約締結疑義案件の審査(契約継続可否審査)  
解約審査及び困難事例等の助言等
- 審査件数 62 件

#### (4) 利用者の成年後見制度への移行促進

福祉サービス利用援助契約締結審査会で、判断能力が低下した利用者や新規契約希望者の契約継続・可否審査を行い、その結果をもとに成年後見制度利用支援、市町村長申立等、新たな支援体制の実施に努めた。

- 審査件数 4 件 (※上記審査件数 62 件のうち数)

#### (5) 日常生活自立支援事業推進会議

社会福祉協議会の職員を対象として、日常生活自立支援事業の理解を深めるとともに、本事業の基盤強化を図るために企画した。(※新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止。資料配布にて対応。)

- 期 日 令和2年3月4日(水)
- 会 場 松本市浅間温泉文化センター
- 内 容 ・講義「日常生活自立支援事業の役割について」  
講師 岡室 恭輔 氏(いちりん法律事務所)  
・説明「委託費予算等について」  
説明 長野県社会福祉協議会  
・ディスカッション  
助言者 岡室 恭輔 氏(いちりん法律事務所)  
萱津 公子 氏(長野大学社会福祉学部社会福祉学科)

#### (6) 日常生活自立支援事業会議(生活福祉資金貸付事業会議と合同)

基幹的社協の専門員等を対象に、職員の資質向上と情報交換のための会議・研修会を開催した。

- 期 日 令和元年5月22日(水)
- 会 場 松本市浅間温泉文化センター
- 参加者 78 人

#### (7) 生活支援員研修

生活支援員を対象に、活動の基本や役割について学び、本事業の果たす役割や、専門員と生活支援員の役割を確認し支援方法等に関する意見交換を企画した。

##### ①第1回(※令和元年東日本台風災害により延期)

- 期 日 令和元年11月5日(火)
- 会 場 県社会福祉総合センター
- 内 容 ・説明「日常生活自立支援事業の概要と生活支援員の役割」  
説明 長野県社会福祉協議会  
・講義・演習「日常生活自立支援事業利用者への相談援助の基本スキルについて」

講師 萱津 公子 氏(長野大学社会福祉学部社会福祉学科)

②第2回(※新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止。資料配布にて対応。)

○期 日 令和2年3月4日(水)

○会 場 松本市浅間温泉文化センター

○内 容 ・講義「生活支援員としての相談援助の基本スキルについて」

講師 萱津 公子 氏(長野大学社会福祉学部社会福祉学科)

(8) 日常生活自立支援事業の啓発

市町村社会福祉協議会や関係機関等に対して、権利擁護に係る相談・助言を行うとともに、日常生活自立支援事業の説明を行い本事業の啓発を図った。

(9) 権利擁護推進セミナー

高齢者・障がい者等の権利擁護について考えるとともに、地域における権利擁護のネットワーク強化を目指して、行政、社会福祉協議会、福祉施設や保健・福祉・医療等様々な関係機関が果たす役割を再確認するため開催した。

○期 日 令和元年12月4日(水)

○会 場 松本市浅間温泉文化センター

○内 容 ・実践報告「社会福祉法人における権利擁護の推進について」

報告者 増子 玲子 氏(社会福祉法人美芳会 富士市東部地域包括支援センター)

・講 義 「『身寄り』のない生活困窮者に対する権利擁護について」

講師 芝田 淳 氏(一般社団法人居住支援全国ネットワーク事務局長  
NPO 法人やどかりサポート鹿児島)

・説 明 「成年後見制度利用促進による権利擁護の推進について」

説明 厚生労働省社会・援護局地域福祉課 成年後見制度利用促進室

・トークセッション

増子玲子 氏(前掲)

芝田 淳 氏(前掲)

厚生労働省社会・援護局地域福祉課 成年後見制度利用促進室(前掲)

○対 象 市町村社協、市町村行政、地域包括支援センター、障害者総合支援センター  
成年後見支援センター、福祉関係団体等の職員等

○参加者 238人

(10) 指定町村における人材養成講座の開催

①主 催 池田町社協

講座名 健康づくり・社会参加推進講座

対象者 池田町町民

第1回

○期 日 令和2年2月6日(木)

○会 場 池田町総合福祉センターやすらぎの郷

○内 容 講演「気持ちが伝わる話し方・聴き方のコツ」

・講師 春原 るみ 氏（長野保健医療大学保健科学部准教授）

○参加者 29 人

第2回 ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。資料配布にて対応。

○期 日 令和2年2月28日（金）

○会 場 池田町総合福祉センターやすらぎの郷

○内 容 権利擁護の理解

○講 師 衛籐 史朗 氏（社会福祉士事務所ちろりん村村長）

②主 催 松川村社協

講座名 生活支援サポーター養成講座

対象者 生活支援サポーターとして活動を希望される方

松川村在住で地域の福祉に貢献する意思がある方 等

第1回

○期 日 令和2年2月13日（木）

○会 場 松川村福祉プラザゆうあい館

○内 容 ・講義「日常生活自立支援事業について、生活支援員の役割と具体的事業」  
講師 平塚 直也（長野県社会福祉協議会）  
・講義「財産保全管理サービスについて」  
講師 嶋田 勲 氏（松川村社協通所サービス係長）

○参加者 3人

第2回

○期 日 令和2年2月20日（木）

○会 場 松川村福祉プラザゆうあい館

○内 容 ・高齢者福祉と介護保険制度の概要  
・障害者福祉制度について  
・生活保護制度について

○講 師 地域包括支援センター、松川村福祉課、大町保健福祉事務所

○参加者 3人

第3回（※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。）

○期 日 令和2年2月27日（木）

○会 場 松川村福祉プラザゆうあい館

○内 容 対人援助技術について

③主 催 南箕輪村社協

講座名 終活・成年後見ワンポイントセミナー

対象者 南箕輪村住民

第1回（※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。資料配布にて対応。）

○期 日 令和2年2月28日（金）

○会 場 南箕輪村民センター

○内 容 ・講演「未来への遺し方や自分のために 基礎から知る 遺言・相続・任意後見制度」  
講師 田畑 恵一 氏（伊那公証役場 公証人）

第2回（※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。資料配布にて対応。）

○期 日 令和2年3月3日（火）

○会 場 南箕輪村民センター

○内 容 ・講演「知って納得、使ってあんしん 基礎から知る 成年後見制度」

講師 熊谷 健 氏

（成年後見センター・リーガルサポートながのの会員／司法書士）

#### （11）成年後見等相談

成年後見制度等に関する定例相談を開催し、関係機関の担当者等に助言を行った。

○実施回数 12回

○会 場 県社会福祉総合センター

○相談員 田幸 良友 氏（成年後見センター リーガルサポートながの）

#### （12）県内の成年後見制度の普及動向

成年後見支援センターの設置状況

- ・平成23年度 長野市成年後見支援センター、松本市社会福祉協議会成年後見支援センター  
かけはし、上伊那成年後見センター
- ・平成24年度 上小圏域成年後見支援センター、さく成年後見支援センター（旧：佐久広域  
連合成年後見支援センター）
- ・平成25年度 塩尻市成年後見支援センター、いいだ成年後見支援センター
- ・平成26年度 権利擁護センターかるいざわ、千曲市成年後見支援センター
- ・平成27年度 北信圏域権利擁護センター（広域、北信圏域、NPO法人北信ふくしMねっと）
- ・平成28年度 北アルプス成年後見支援センター、坂城町成年後見支援センター
- ・平成29年度 茅野市・富士見町・原村成年後見支援センター、  
諏訪市成年後見支援センター（平成30年度 諏訪市・下諏訪町成年後見支援  
センターへ名称変更）
- ・平成31年度（令和元年度） 岡谷市成年後見支援センター

評価： 本年度も基幹的社会福祉協議会との情報共有・連携に努めながら、判断能力が不十分な方の権利擁護推進のため本事業を実施した。契約件数はここ数年横ばいから若干の減少傾向にあるが、複合的で困難なケースが増加しており、契約者のニーズに対応したきめ細やかな支援を進めるためにも、必要な予算の確保に引き続き努めるとともに基幹的方式から各市町村での実施に向けた事業の基盤強化を進めることが必要である。

また、権利擁護推進セミナー等を開催し、関係者間の役割分担や連携の必要性等を再認識し、総合的な権利擁護体制の構築についての啓発に努めた。国においては「成年後見制度利用促進計画」等により、全国各地域において成年後見制度が利用できるよう各地域において、権利擁護支援の地域ネットワーク構築を図ることが掲げられているが、本県においては計画の中心となる地域連携ネットワークの構築やその中核を担う機関の設置等の体制整備が進んでいない状況にあるため、本事業の果たすべき役割を改めて考えながら、社協が中心となり設置が進んでいる成年後見支援センターの担うべき役割などについて検討していく必要がある。

### 3 信州パーソナル・サポート事業

### 【一般会計－信州パーソナル・サポート事業費】

生活困窮者自立支援法の施行に伴い長野県及び県内3市から事業を受託し、県内町村及び佐久、大町、飯山の各市で包括的かつ継続的な相談支援事業を実施するとともに、「社会福祉協議会総合相談体制整備事業」を展開し、社協における包括的な支援体制を整備するための実践に取り組んだ。

#### (1) 自立相談支援事業

##### ①相談・支援状況（令和2年3月31日現在）

|           | 長野県分 | 佐久市分 | 大町市分 | 飯山市分 | 計   |
|-----------|------|------|------|------|-----|
| 新規相談受付件数  | 635  | 164  | 44   | 35   | 878 |
| 支援プラン作成件数 | 345  | 62   | 32   | 9    | 448 |
| 就労支援対象者数  | 180  | 34   | 1    | 4    | 219 |
| 就労者数      | 84   | 41   | 0    | 2    | 127 |
| 増収者数      | 34   | 13   | 0    | 0    | 47  |

##### ②支援調整会議の実施状況

行政（実施主体）、受託団体、関係支援機関等の出席を得て、自立支援プランの適正性の協議、支援提供者間でのプランの共有、プラン終結時の評価等を行った。

| 地域名      | 回数  | 備考        |
|----------|-----|-----------|
| まいさぼ佐久   | 11  |           |
| まいさぼ大町   | 11  |           |
| まいさぼ飯山   | 11  |           |
| まいさぼ飯田   | 11  |           |
| まいさぼ東筑   | 16  | 自治体別14回含む |
| まいさぼ信州諏訪 | 18  | 自治体別12回含む |
| まいさぼ上伊那  | 29  | 自治体別12回含む |
| まいさぼ木曽   | 17  | 自治体別17回含む |
| まいさぼ信州長野 | 44  | 自治体別32回含む |
| 合 計      | 168 |           |

#### (2) 家計改善支援事業（令和2年3月31日現在）

| まいさぼ名     | 新規相談者数 | プラン作成件数 |
|-----------|--------|---------|
| まいさぼ佐久（郡） | 82     | 3       |
| （市）       | 164    | 2       |
| まいさぼ大町（郡） | 37     | 18      |
| （市）       | 44     | 4       |
| まいさぼ飯山（郡） | 28     | 0       |
| （市）       | 35     | 3       |
| まいさぼ飯田    | 85     | 11      |
| まいさぼ東筑    | 29     | 7       |

|          |     |     |
|----------|-----|-----|
| まいさぼ信州諏訪 | 85  | 10  |
| まいさぼ上伊那  | 80  | 5   |
| まいさぼ木曽   | 21  | 0   |
| まいさぼ信州長野 | 188 | 41  |
| 合計       | 878 | 104 |

### (3) 研修等従事者スキルアップ事業の実施

#### ①研修の実施

令和2年度から実施予定の都道府県研修に向けて研修体系を見直し、県内全てのまいさぼ支援員及び福祉事務所職員等を対象に研修を実施した。

|     |                                                                                                                                                                                                              |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 研修名 | ■階層別研修【初任】                                                                                                                                                                                                   |
| 日 時 | 平成31年4月23日（火）10時～16時                                                                                                                                                                                         |
| 会 場 | 塩尻総合文化センター 大会議室                                                                                                                                                                                              |
| 参加者 | 41人                                                                                                                                                                                                          |
| 内 容 | <p>◆講師： 県社協担当者2人、国研修修了生2人</p> <p>○講義Ⅰ「生活困窮者自立支援制度の理念を理解する」</p> <p>○講義Ⅱ「自立相談支援の展開を学ぶ」</p> <p>○演習Ⅰ「さまざまな対使用者の尊厳・主体性の確保を考える」</p> <p>○演習Ⅱ「【はたらくこと】【社会参加】の意義を考える」</p> <p>○演習Ⅲ「事例を通じた相談援助体験をしよう」</p>               |
| 研修名 | ■テーマ別研修【子ども・家庭支援編】※スクールソーシャルワーカー実務者会と合同開催                                                                                                                                                                    |
| 日 時 | 平成31年4月26日（金）13時～16時                                                                                                                                                                                         |
| 会 場 | 県総合教育センター（塩尻市）                                                                                                                                                                                               |
| 参加者 | 77人                                                                                                                                                                                                          |
| 内 容 | <p>◆講師： 主任相談支援員1人、スクールソーシャルワーカー2人</p> <p>○概要説明Ⅰ「まいさぼとは」</p> <p>○概要説明Ⅱ「スクールソーシャルワーカーとは」</p> <p>○講義・演習「スクールソーシャルワーカーとの連携について」</p> <p>○事例検討「スクールソーシャルワーカーとまいさぼの連携について」</p> <p>○まとめ「スクールソーシャルワーカーとまいさぼの視点から」</p> |
| 研修名 | ■生活困窮者支援推進セミナー                                                                                                                                                                                               |
| 日 時 | 令和元年7月5日（金）10時～16時                                                                                                                                                                                           |
| 会 場 | 長野市若里市民文化ホール                                                                                                                                                                                                 |
| 参加者 | 280人                                                                                                                                                                                                         |
| 内 容 | <p>◆講師： 社会活動家 湯浅誠氏</p> <p>◆登壇者： 県各課担当者7人 ◆進行： 県社協</p> <p>○基調説明「長野県地域福祉支援計画における生活困窮者支援について」</p> <p>○各施策説明及び取組報告「生活困窮者自立支援制度と各関係施策等との連携について」</p> <p>○講演「貧困問題の“これまで”と“これから” ～令和時代における生活困窮者支援の展</p>              |

|     |                                                                                                                                               |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | 開について～」<br>○フロアセッション「講師 湯浅誠氏に 聞きたい・伝えたい・学びたい ～長野県の生活困窮者支援へのアドバイスとメッセージ～」                                                                      |
| 研修名 | ■スキルアップ研修【主任相談支援員養成研修】                                                                                                                        |
| 日 時 | 令和元年7月26日（金） 10時～15時                                                                                                                          |
| 会 場 | 県社会福祉総合センター                                                                                                                                   |
| 参加者 | 23人                                                                                                                                           |
| 内 容 | ◆講師：市川市生活サポートセンターそら 主任相談支援員 朝比奈ミカ氏<br>○講義・演習Ⅰ「主任相談支援員の役割や視点について」<br>○講義・演習Ⅱ「事例から学ぶ支援困難ケースへの対応」                                                |
| 研修名 | ■スキルアップ研修【相談支援員養成研修】                                                                                                                          |
| 日 時 | 令和元年9月19日（木） 10時～16時                                                                                                                          |
| 会 場 | おかや総合福祉センター 諏訪湖ハイツ                                                                                                                            |
| 参加者 | 46人                                                                                                                                           |
| 内 容 | ◆講師：長野大学社会福祉学部准教授 端田篤人氏<br>○講義・演習Ⅰ「生活困窮者支援に必要な相談援助視点」<br>○講義・演習Ⅱ「生活困窮者自立支援における相談支援の展開」                                                        |
| 研修名 | ■スキルアップ研修【就労支援員養成研修】                                                                                                                          |
| 日 時 | 令和元年12月20日（金） 10時～16時                                                                                                                         |
| 会 場 | 県総合教育センター（塩尻市）                                                                                                                                |
| 参加者 | 46人                                                                                                                                           |
| 内 容 | ◆講師：明治学院大学教授 新保美香氏 ◆まいさぼ実践報告者2名<br>○講義・演習Ⅰ「生活困窮者支援に必要な就労支援」<br>○実践報告・事例検討「県内の就労支援の取り組み」<br>○講義・演習Ⅱ「企業へのアプローチを考える」<br>○まとめと振り返り「これからの就労支援に向けて」 |
| 研修名 | ■テーマ別研修【精神疾患編】                                                                                                                                |
| 日 時 | 令和元年12月2日（月）（伊那谷）、4日（水）（諏訪）、6日（金）（中信、東信）、18日（水）（北信） 計5圏域で実施                                                                                   |
| 会 場 | 伊那谷：伊那市社協、諏訪：諏訪市役所、中信：安曇野市社協、東信：東御市社協、北信：県社会福祉総合センター                                                                                          |
| 参加者 | 57人                                                                                                                                           |
| 内 容 | ◆講師：各圏域精神保健福祉士 計5人<br>○講義、事例検討「精神疾患を抱える（疑いのある）方への支援事例」                                                                                        |
| 研修名 | ■テーマ別研修【子ども・家庭支援編2】※スクールソーシャルワーカー実務者会と合同開催                                                                                                    |
| 日 時 | 令和2年2月3日（月） 13時～16時                                                                                                                           |
| 会 場 | 県総合教育センター（塩尻市）                                                                                                                                |
| 参加者 | 69人                                                                                                                                           |
| 内 容 | ◆講師：主任相談支援員1人、スクールソーシャルワーカー1人<br>○講義・演習「SSW×まいさぼで私たちが目指すもの」                                                                                   |

|  |                                                                                                |
|--|------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <p>～ソーシャルワーカーの連携と協働を考える～</p> <p>○事例検討「子どもやその世帯への支援事例」</p> <p>○まとめ「スクールソーシャルワーカーとまいさぼの視点から」</p> |
|--|------------------------------------------------------------------------------------------------|

## ②まいさぼレターの発行による情報共有

県内で生活困窮者自立支援事業に携わる支援員間で、より身近に、また迅速に事業の理念、支援に係る実務の基本、先進事例等を紹介していくため、「まいさぼレター」を作成・発行、メール配信した。

ア 発行回数：第20、21、22号の計3回及び特別号1回、増刊号1回発行

イ 配 信 先：生活就労支援センター及び福祉事務所ほか関係者

ウ 内 容：研修報告、まいさぼ情報、地域の取り組み紹介、関連情報等

## （４）その他事業の利用件数（令和2年3月31日現在）

|                  | 長野県分 | 佐久市分 | 大町市分 | 飯山市分 | 計   |
|------------------|------|------|------|------|-----|
| 住居確保給付金          | 1    | 1    | 0    | 1    | 3   |
| 一時生活支援事業         | 6    | 3    | 1    | 0    | 10  |
| 就労準備支援事業         | 18   | 0    | 0    | 0    | 18  |
| 認定就労訓練事業         | 6    | 0    | 0    | 0    | 6   |
| 家計改善支援事業         | 95   | 2    | 4    | 3    | 104 |
| 生活福祉資金等による貸付     | 21   | 6    | 0    | 1    | 28  |
| 生活保護受給者等就労自立促進事業 | 57   | 23   | 0    | 3    | 83  |

## （５）事業本部の取り組み

### ①広報活動

まいさぼの事業概要を周知するため、広報活動を行った。

ア ホームページの設置、更新

イ パンフレット、チラシの作成

ウ 『まいさぼ支援事例集（第3巻）』の作成

エ 『福祉だより信州』への記事掲載

### ②主任会議の開催

本会が運営するまいさぼ9か所の主任が集まり、事業推進方法の確認、課題検討等を行った。

・開催回数 5、7、9、12月の計4回

（なお、7月及び12月については、市が運営するまいさぼを含めた主任相談支援員会議とした）

・出席者 各主任相談支援員及び県地域福祉課

## （６）まいさぼ出張相談所の設置

町村部に居住の相談者がより気軽に相談できる拠点として各町村社協に「まいさぼ出張相談所」を設置し、生活困窮者支援の拠点としてのPRを行うとともに、住民からの相談を受け、まいさぼと連携して支援を行う等きめ細かな総合相談の体制を整えた。

【まいさぼ出張相談所 実績】



| 初期相談<br>受付人数 | まいさぼへ<br>の連絡件数 | 相談同席<br>回数 | 支援時の<br>同行回数 | 広報誌での<br>PR | 会議時の<br>事業紹介 | テレビ・有線放<br>送等でのPR | その他 |
|--------------|----------------|------------|--------------|-------------|--------------|-------------------|-----|
| 910          | 356            | 736        | 1152         | 68          | 129          | 10                | 210 |

#### (7) まいさぼ訪問による助言

各まいさぼの適切な事業運営、支援員のスキルアップ、関係機関・団体や近隣まいさぼとの業務連携が図れるよう、本部職員が随時各まいさぼを訪問し、助言を行った。

#### (8) 法定研修等への職員派遣

支援員を研修派遣し、情報収集、適正な業務運営及びスキルアップに努めた。

##### ①「自立相談支援事業従事者養成研修」(計8人)

・主任相談支援員養成研修(2人)・相談支援員養成研修(3人)・就労支援員養成研修(3人)

##### ②「職業紹介責任者講習」(計2人)

##### ③「第6回生活困窮者自立支援全国研究交流大会(仙台市)」(計2人)

#### (9) 県外主催行事への職員派遣

##### ①「第6回生活困窮者自立支援全国研究交流大会」(仙台市)

・分科会8「住まいがなくては始まらないー総合力としての居住支援」 報告者として1名派遣

##### ②「社会福祉施策と連携した多頭飼育対策に関する検討会」(環境省主催：東京都)

・検討会委員として1人派遣

#### (10)「長野県あんしん未来創造事業」推進会議の開催

「入居保証・生活支援事業」への理解を深めるとともに、利用者の人生軸と地域軸の視点から社協における包括的な支援が行われていくことを目的に企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

○期 日 令和2年3月5日(木)

#### (11) ネットワークづくり、他団体・他事業との連携による支援

##### ①事業連絡会の開催協力

県が主催する会議の開催に協力した。

##### ア 県域連絡会

|     | 期 日          | 会 場   | 参加者 |
|-----|--------------|-------|-----|
| 県 域 | 令和2年2月13日(木) | 県庁 講堂 | 82人 |

##### イ 地域連絡会

| 地域名     | 期 日          | 会 場         | 参加者 |
|---------|--------------|-------------|-----|
| 東信地域    | 令和元年10月3日(木) | 上田合同庁舎 6階講堂 | 20人 |
| 諏訪地域    | —            | —           | —   |
| 上伊那地域   | 令和2年1月21日(火) | 伊那合同庁舎 講堂   | 37人 |
| 飯伊地域    | —            | —           | —   |
| 松本・木曽地域 | —            | —           | —   |

|      |               |                      |     |
|------|---------------|----------------------|-----|
| 大北地域 | 令和2年1月16日（木）  | 北アルプス広域連合（大町市）2階大会議室 | 19人 |
| 長野地域 | 令和元年12月10日（火） | 長野保健福祉事務所 会議室        | 25人 |
| 北信地域 | 令和2年3月16日（月）  | 飯山合同庁舎 大会議室          | 中止  |

#### ウ 主な協議事項

- ・生活困窮者自立支援制度の普及啓発に関する事
- ・生活就労支援センターの運営及び生活・就労支援に関する事
- ・生活困窮者に係るネットワークの構築に関する事
- ・社会資源の開拓及び情報共有に関する事
- ・生活保護制度及び福祉事務所との連携に関する事
- ・その他、生活困窮者自立支援のために必要な事

#### ②他団体・他事業との連携による支援

##### ア 「社事協フードバンク事業」の利用による生活困窮者支援

社会福祉法人長野市社会事業協会が実施する「社事協フードバンク事業」を利用し、生活困窮者に対する緊急的な食糧支援を行った。

○令和元年度利用実績／ 22まいさば 1,466件

##### イ 「信州あんしんセーフティネット事業」の利用による生活困窮者支援

長野県社会福祉法人経営者協議会と連携し、同協議会会員が拠出した協賛金を原資に同協議会が実施する標記事業を利用し、生活困窮者への緊急的な金銭支援を行うとともに、就労支援にも活かした。また、実施要綱を策定し、様式の変更を行った。

○3月末現在の受入登録事業所数／ 245事業所（昨年度から86か所増）

（製造業、建設業、運送業、小売業、清掃業、サービス業、農業、社会福祉施設、行政機関など）

○令和元年度の利用状況／

（プチバイト）件数61 金額877,600円 （就職支度金）件数21 金額188,291円

○利用者の平均年齢／（プチバイト）41歳 （就職支度金）50歳

##### ウ 「長野県あんしん創造ねっと事業」の利用による生活困窮者支援

県内社会福祉協議会が実施する「長野県あんしん創造ねっと事業」における入居保証・生活支援事業を利用し、保証人がいないために賃貸住宅への入居継続が困難な方に対する支援を行った。また、身元保証・就労支援事業を利用し、保証人がいないため採用に至らない方に対する支援を行った。

○令和元年度の利用状況／（入居保証・生活支援事業）56件（身元保証・就労支援事業）1件

##### エ 生活福祉資金貸付事業との連携

総合支援資金及び緊急小口資金については市町村社協とも連携して借受人に対するアセスメントを行い、貸付を利用した自立支援を行った。また、必要に応じ家計相談から貸付のあっせんを行った。

##### オ 法テラスとの連携

各まいさばが調整しながら法テラスにおける巡回相談を行った。

○実施期間 令和元年9月～令和2年3月

○相談件数 46件

##### カ 長野県居住支援協議会への参画

低所得者、高齢者、障がい者、子どもがいる家庭その他住宅の確保に特に配慮を要する方の民間賃貸住宅への円滑な入居の促進に関して協議する居住支援協議会に参画した。

### ③他団体とのネットワークづくり

#### ア 就労準備支援事業者との連携

厚生労働省委託事業のコンサルタントサービスを活用した「就労準備支援事業者及び生活就労支援センターまいさぼ交流会」で今後の就労支援について意見交換を行った。（令和2年1月13日）

#### イ ひきこもり支援に関する関係者との連携

県実施の「ひきこもり等に関する調査」の結果を受け、今後の支援についてひきこもり支援センターと意見交換を行った。（令和元年7月2日）

#### ウ 県教育委員会との連携

長野県スクールソーシャルワーカー実務者会と合同研修を開催し、事例検討をとおして圏域ごとの繋がりを構築した。（平成31年4月26日、令和2年2月3日）

評価： 生活困窮者自立支援法が改正されたことを踏まえ、地域における福祉、就労、教育、住宅その他の関係機関及び民間団体との緊密な連携、必要な支援体制の構築に向け、各種研修会やセミナーの開催をとおして多職種・多機関と繋がり、共に学ぶ場を設けた。

特に県教育委員会が実施する「県スクールソーシャルワーカー実務者会」と支援員研修を合同開催し、事例検討をとおして顔つなぎと役割の明確化をおこなったことで、教育機関と連携して支援にあたるきっかけとなった。また、近年増加しているひきこもりや精神疾患を抱える方への相談支援について、圏域ごとに精神保健福祉士と事例検討・情報交換を行い、精神保健について学びを深めた。

長野県社会福祉法人経営者協議会が実施する「信州あんしんセーフティネット」については、実施要綱を策定するとともに、広報誌をとおして利用者の生の声を紹介し、事業周知を図った。

多職種・多機関と協働した包括的な支援の実施に向けて、協働の仕組みづくりや学びの場の提供を、今後も行っていきたい。

## 4 生活福祉資金等貸付事業

### 【生活福祉資金会計】

低所得世帯等の経済的自立と生活意欲の助長促進を図るため生活福祉資金貸付事業を実施した。

### （１）生活福祉資金貸付相談の実施

県内 77 の全市町村社協に生活福祉資金貸付業務の一部を委託し、きめ細かな貸付相談を行った。また、生活困窮者のための支援ツールとして効果的な貸付けが行われるよう、まいさぼと連携を図り、家計改善支援事業との一体化の検討を進めた。

### （２）生活福祉資金等の貸付及び償還の促進

#### ①貸付審査等運営委員会

○期 日 令和2年2月28日（金）

（※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、書面審査にて実施。）

○内 容 償還金及び延滞利子の支払免除について

#### ②審査委員会

ア 生活福祉資金審査委員会

- 期 日 第1回 令和元年5月30日(木)  
第2回 令和元年8月30日(金)  
第3回 令和元年11月26日(火)  
第4回 令和元年12月20日(金)  
第5回 令和2年2月28日(金)

(※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、書面審査にて実施。)

○会 場 県社会福祉総合センター

○内 容 生活福祉資金の新規貸付の審査

延滞利子の支払免除の審査

償還金の支払猶予の審査

生活福祉資金貸付事業の実施状況 等

○件 数 貸付審査件数5件(承認件数5件、承認額9,177,000円)

延滞利子免除審査件数7件(承認件数7件、免除額4,601,957円)

イ 不動産担保型生活資金審査委員会

○期 日 第1回 令和元年9月24日(火)

第2回 令和元年11月26日(火)

第3回 令和2年2月28日(金)(※)

(※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、書面審査にて実施。)

○会 場 県社会福祉総合センター

○内 容 要保護世帯向け不動産担保型生活資金の支払免除の審査

○件 数 支払免除審査件数1件(承認件数1件、免除額2,357,055円)

③総合支援資金の貸付

失業者世帯の自立を支援するための貸付けを実施した。

④福祉資金の貸付

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯等の自立を支援するための貸付けを実施した。

⑤教育支援資金の貸付

低所得世帯を対象に、高等学校、大学、高等専門学校及び短期大学の入学等に際し必要な経費の貸付けを実施した。

⑥不動産担保型生活資金(要保護世帯向けを含む)の貸付

現在の住居に住み続けることを希望する高齢者世帯を支援するための貸付けを実施した。

⑦臨時特例つなぎ資金の貸付

公的給付又は公的貸付を申請している住居のない離職者に対して、当該給付金又は貸付金の交付を受けるまでの生活費の貸付けを実施した。

⑧台風第19号災害に係る福祉資金(緊急小口資金)特例貸付の実施

台風第19号により被災した世帯を対象に福祉資金(緊急小口資金)について、特例による貸付を実施した。

○実施期間: 令和元年11月5日～令和2年3月31日

○貸付件数: 31件

○貸付金額: 4,060,000円

### ⑨新型コロナウイルス感染症拡大に係る特例貸付の実施

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による休業者や失業等により減収となった世帯等を対象に福祉資金（緊急小口資金）及び総合支援資金について、特例による貸付を実施した。

実施期間：令和2年3月25日～令和2年3月31日（※令和2年9月30日まで継続予定）

#### I 福祉資金（緊急小口資金）

○貸付件数：196件

○貸付金額：32,455,000円

#### II 総合支援資金

○貸付件数：0件

○貸付金額：0円

（以上、③から⑨の貸付決定状況は、【別表】のとおり）

### ⑩償還免除及び欠損処理

既存の不良債権の速やかな整理を行い、適正な事業運営に必要な貸付原資を確保するため、償還免除を行った。

・免除件数 65件（生活福祉資金64件、臨時特例つなぎ資金1件）

・免除元金 13,360,059円（生活福祉資金13,330,059円 臨時特例つなぎ資金30,000円）

## （3）担当者会議等の効果的な運営

### ①生活福祉資金貸付事業会議（日常生活自立支援事業会議と合同）

事業に関する現在の動向や具体的な実務等について確認し、効果的なソーシャルワークを実践し、包括的な支援体制が整備されることを目的に開催した。

○期 日 令和元年5月22日（水）

○会 場 松本市浅間温泉文化センター

○内 容 生活福祉資金貸付事業のあり方について  
生活福祉資金貸付事業の要綱改正について  
関係資料の変更について 等

○参加者 78人

### ②令和元年度関東ブロック都県・指定都市社会福祉協議会生活福祉資金担当職員研究協議会

関東ブロック内の都県・指定都市社会福祉協議会生活福祉資金担当職員が会し、本事業相談支援の充実に向けた具体的な方策等について協議することを目的に開催した。

○期 日 令和元年9月12日（木）～9月13日（金）

○会 場 ホテルJALシティ長野

○参加者 27人

## （4）生活福祉資金貸付償還金回収強化事業

滞納世帯に対して、初期段階から体系的な償還指導を実施するため、未償還・督促及び償還指導通知を毎月発送するほか、6か月連続滞納者には直接電話を掛け、長期滞納者に対しては市町村社協配置の相談員と連携して、呼出し及び滞納世帯への訪問による指導を行った。

また、随時、所在不明者の確認調査（住民票調査）を行い、居住地の特定を進めた。

### ①連続滞納世帯に対する未償還・督促及び償還指導通知の発送等

|                     |       |
|---------------------|-------|
| 1 か月滞納者（未償還通知）      | 898 件 |
| 2 か月連続滞納者（ 〃 ）      | 485 件 |
| 3 か月連続滞納者（ 〃 ）      | 328 件 |
| 4・5 か月連続滞納者（督促通知）   | 445 件 |
| 6 か月連続滞納者（電話連絡）     | 164 件 |
| 13 か月連続滞納者（呼び出し）    | 120 件 |
| ②所在不明者に対する住民票調査の実施  | 312 件 |
| ③県外転出者に対する所在確認調査の実施 | 53 件  |

評価： 令和元年度の貸付決定件数は 443 件（前年度 204 件）となり、前年度と比較して倍増しているが、これは令和元年東日本台風災害及び新型コロナウイルス感染症拡大の影響による 2 度の特例貸付を実施したことが要因となっている。

災害等により過去にも特例貸付が度々行われているところであるが、通常の貸付要件とは異なる点等を含めて対応窓口の混乱やその後の債権管理等に大きな課題を残しており、今後に向けて国の制度としての全国的な整理や調整が必要と思われる。特に新型コロナウイルス感染症拡大に係る特例貸付については未曾有の状況の中で、経済的な支援の側面が強く、本事業の大きな目的である世帯の自立支援の役割が果たせていない点が危惧される。今後の新型コロナウイルス感染症の収束状況等を見ながら就労支援を始め世帯に対する自立に向けた継続的な支援が必要と考える。

一方で、本貸付制度は創設から 60 年以上が経過する中、社会・経済情勢の変化に応じて制度の見直し等が行われながら長きにわたって低所得世帯等の自立を支えてきたところであるが、近年の貸付実績の減少、生活困窮者自立支援制度との関わり、社協や民生委員の事業への考え方や関わり方の変化等様々な課題が指摘されているところであり、本事業を実施する意義等について全国的に課題整理や今後の実施について検討がされている。

それらの状況を踏まえながら、地域共生社会の実現に向けて市町村における総合的な相談支援体制づくりを進める上で、本事業がその重要なツールであることを再認識しながら、改めて生活困窮者自立支援制度等との連携強化を図り、その役割を果たせるよう効果的な事業の推進に努めていきたい。

【別表】生活福祉資金等の貸付決定状況(令和元年度)

《表 1》 生活福祉資金貸付決定状況

| 資金種類           | 令和元年度累計 |              | 平成 30 年度累計 |              | 対前年度比  |         |
|----------------|---------|--------------|------------|--------------|--------|---------|
|                | 件数      | 金額(円)        | 件数         | 金額(円)        | 件数     | 金額(円)   |
| (1) 総合支援資金     | 19      | 4,916,000    | 8          | 2,286,000    | 237.5% | 215.0%  |
| ① 生活支援費        | 12      | 3,871,000    | 7          | 2,250,000    | 171.4% | 172.0%  |
| (貸付延長)         | (3)     | (1,221,000)  | (1)        | (450,000)    |        |         |
| (まいさぼ利用)       | (12)    | (3,871,000)  | (7)        | (2,250,000)  |        |         |
| ② 住宅入居費        | 4       | 693,000      | 1          | 36,000       | 400.0% | 1925.0% |
| (まいさぼ利用)       | (4)     | (693,000)    | (1)        | (36,000)     |        |         |
| ③ 一時生活再建費      | 3       | 352,000      | 0          | 0            | —      | —       |
| (まいさぼ利用)       | (3)     | (352,000)    | (0)        | (0)          |        |         |
| (2) 福祉資金       | 352     | 66,303,000   | 129        | 31,173,000   | 272.9% | 212.7%  |
| ① 福祉費          | 39      | 22,649,000   | 47         | 24,430,000   | 83.0%  | 92.7%   |
| (まいさぼ利用)       | (3)     | (477,000)    | (7)        | (2,468,000)  |        |         |
| ② 緊急小口資金       | 313     | 43,654,000   | 82         | 6,743,000    | 381.7% | 647.4%  |
| (まいさぼ利用)       | (79)    | (6,440,000)  | (74)       | (6,178,000)  |        |         |
| (3) 教育支援資金     | 71      | 39,255,000   | 66         | 43,627,000   | 107.6% | 90.0%   |
| ① 教育支援費        | 41      | 29,471,000   | 41         | 35,547,000   | 100.0% | 82.9%   |
| ② 就学支度費        | 30      | 9,784,000    | 25         | 8,080,000    | 120.0% | 121.1%  |
| (4) 不動産担保型生活資金 | 1       | 5,208,000    | 1          | 5,250,000    | 100.0% | 99.2%   |
| ① 一般世帯向け       | 0       | 0            | 0          | 0            | —      | —       |
| ② 要保護世帯向け      | 1       | 5,208,000    | 1          | 5,250,000    | 100.0% | 99.2%   |
| 合 計            | 443     | 115,682,000  | 204        | 82,336,000   | 217.2% | 140.5%  |
| (貸付延長)         | (3)     | (1,221,000)  | (1)        | (450,000)    |        |         |
| (まいさぼ利用)       | (101)   | (11,833,000) | (89)       | (10,932,000) |        |         |

【留意事項】

括弧内の件数及び金額は、全体の件数及び金額には含まれない。

《表 2》 臨時特例つなぎ資金決定状況

| 資金種類      | 令和元年度累計 |       | 平成 30 年度累計 |       | 対前年度比 |       |
|-----------|---------|-------|------------|-------|-------|-------|
|           | 件数      | 金額(円) | 件数         | 金額(円) | 件数    | 金額(円) |
| 臨時特例つなぎ資金 | 0       | 0     | 0          | 0     | —     | —     |
| ① 住宅手当申請  | 0       | 0     | 0          | 0     | —     | —     |
| ② 生活保護申請  | 0       | 0     | 0          | 0     | —     | —     |
| ③ 失業等給付申請 | 0       | 0     | 0          | 0     | —     | —     |
| 合 計       | 0       | 0     | 0          | 0     | —     | —     |

## 5 長野県あんしん未来創造事業

【一般会計—生活支援事業費】

【あんしん創造ねっと会計】

地域の福祉課題や生活課題が多様化・複雑化するなかで制度の狭間に陥る様々な課題に対して、分野を超えたネットワークを構築しながらこれまで開発された任意事業の拡大と新たなあんしんの創造にむけた研究会を実施した。

### (1) 長野県あんしん創造ねっとの運営

県内社協公益事業として37社協（県・市町村）の参画を得て活動してきた。

新しいあんしんの仕組みづくりの「入居保証・生活支援事業」については、市町村営住宅への適用も広がりつつあり、全県に幅広くこの制度が浸透してきたことで今年度56名が本事業により新たな生活を始めることができた。また、既存の制度が届かない制度の狭間への対応として現場の声を踏まえ、昨年度の取組を発展させた乳幼児支援品提供事業および生活改善支援事業に取り組み、より一層住民の課題に寄り添う社協の実践が見えやすくなった。

#### ①参加社協 37社協（県、36市町村社協）

| 東信     | 北信     | 中信    | 南信     |       |
|--------|--------|-------|--------|-------|
| 上田市社協  | 長野市社協  | 池田町社協 | 諏訪市社協  | 阿智村社協 |
| 御代田町社協 | 須坂市社協  | 松川村社協 | 下諏訪町社協 | 飯田市社協 |
| 川上村社協  | 信濃町社協  | 朝日村社協 | 伊那市社協  | 飯島町社協 |
| 東御市社協  | 坂城町社協  | 生坂村社協 | 駒ヶ根市社協 | 辰野町社協 |
|        | 中野市社協  | 大桑村社協 | 箕輪町社協  | 茅野市社協 |
|        | 山ノ内町社協 | 大町市社協 | 中川村社協  | 松川町社協 |
|        | 飯綱町社協  | 塩尻市社協 | 根羽村社協  | 宮田村社協 |
|        | 飯山市社協  | 筑北村社協 | 南箕輪村社協 | 岡谷市社協 |
| 長野県社協  |        |       |        |       |

#### ②運営体制

○総括 代表 長野県社協会長

副代表 長野市社協会長

○運営委員会 加入社協（4人）及び提携団体、外部委員、学識経験者 計7人

#### ③事業の運営

##### (ア) 運営委員会の実施

第1回 平成31年4月19日（金） 会場：松本市浅間温泉文化センター

第2回 令和元年7月16日（火） 会場：県社会福祉総合センター

第3回 令和2年3月5日（木）

（※新型コロナウイルス感染拡大防止を受け会議を中止し、書面表決を実施。）

##### (イ) 加入社協総会の実施

○平成31年4月19日（金） 会場：松本市浅間温泉文化センター

##### (ウ) 事業説明、加入促進

○市町村社協事務局長会議（平成31年4月19日（金）、松本市）

○市町村社協実務者会議（令和元年5月10日（金）、塩尻市）



○ブロック社協会議（県内10ブロック）

○一般社団法人居住支援全国ネットワーク視察受入（令和元年6月28日（金）、鹿児島県、宮崎県他）

○筑北村社協機関誌への寄稿（令和元年7月5日（金）、筑北村）

○須坂市西部地区民生児童委員会議（令和元年8月9日（金）、須坂市）

○国庫補助事業ヒアリング「『身寄り』のない生活困窮者及び若者に対する支援事例に関する調査研究事業に関する関係団体ヒアリング」（令和元年9月3日（火）、長野市）

○住宅と福祉等の連携による居住支援に関するインタビュー調査（令和元年9月3日（火）、長野市）

○長野大学専門ゼミナールでの事業紹介（令和元年9月30日（月）、上田市）

○第6回生活困窮者自立支援全国研究交流大会（令和元年11月4日（月）、宮城県仙台市）

○NPO法人わっぱの会 第三回居住支援セミナー（令和元年11月8日（金）、愛知県名古屋市）

○長野県住宅セーフティネット制度セミナー（令和2年2月、塩尻市）

○茨城県東海村社協視察受入（令和2年2月、長野市）

○行政への制度説明：長野市、松本市、上田市、伊那市、駒ヶ根市、大町市、塩尻市、東御市、安曇野市、松川村、小谷村、坂城町

#### ④事業の実績

ア 新しいあんしんの仕組みづくり

○入居保証・生活支援事業

|          |     |
|----------|-----|
| 累計契約者    | 67件 |
| うち今年度契約者 | 56件 |
| 契約終了者    | 7件  |
| 現契約件数    | 60件 |

○身元保証・就労支援事業

|          |    |
|----------|----|
| 累計契約者    | 3件 |
| うち今年度契約者 | 1件 |
| 契約終了者    | 3件 |
| 現契約者数    | 0件 |

○保証事例：1件 147,500円（滞納家賃120,000円、原状回復27,500円）

イ 乳幼児支援品提供事業

長野市社会福祉事業協会のフードバンク事業と提携して実施

○寄付等で入手しづらい支援物品（子ども用ミルク・お菓子・加工食品等）の支援・配送  
144件（27市町村で支援を実施）

○物品提供を含むケースについては、県社協と相談し、買い物同行支援の一環として実施  
4件：（4市町で支援を実施）

|      |                                                                                                                                              |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 東信地区 | 妊娠に際して退職した出産間近の20代母。20代夫は稼ぎが少なく出産後に夫婦で県外に転居予定。退職に伴い貯金が無くなり、生活がギリギリ。行政と連携し、新生児用衣服やベビーバスは行政が寄付を募り、本事業を利用して紙おむつや新生児用下着等、出産に際して必要な物品を助言しながら準備した。 |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|      |                                                                                                                                                                     |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北信地区 | 療育手帳 B2 所持の夫婦。障害年金を早期に使い切り、1 歳の乳児用の食事はコンビニパンを水で洗って与える等、食事の準備もままならない状態。行政もリスクのある家庭と認識しているが児童虐待ではなく養育能力が不足している状態であり、措置介入に至らない。粉ミルクを購入し、子どもの成長曲線を注視しながら世帯介入を続けている。     |
| 中信地区 | 「田舎暮らしをしたい」とあえて不便な山間地に越してきた夫婦と子ども 3 人。夫の林業のみで生活費を捻出しているが、2 歳と 0 歳のおむつ代が大きな負担となっている。本事業を利用して、子どもの発達状態を確認しながら必要な紙おむつの購入や、栄養補助としての粉ミルクを購入し、今後も社協として貸付等も含めて必要な支援につながった。 |

ウ 生活改善支援事業 計36件（累計46件）

○買い物等同行支援事業 5 件（累計 7 件）

|      |                                                                                                                               |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北信地区 | 小 6 児童と母の母子世帯。子が望むゲーム機やお菓子の支出を優先してしまい、食事や衣類など必要な支出が捻出できない。本事業を利用して初めて対象者の子と接触することができ、母との関係性や欲求のタイミング等を把握し、今後の家計改善事業に繋げた。      |
| 南信地区 | 精神保健福祉手帳を所持する 30 代女性。躁時に携帯電話で買い物に依存してしまい、鬱時に引落ができずに落ち込む生活。実家と連携し米や野菜は物品提供を受け、生鮮食品を 6 回に分けて購入支援することで、自炊する能力の向上や計画的な買い物の仕方を学んだ。 |

○地域住民との協働活動支援事業 11件（累計14件）

|      |                                                                                                                                                               |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 中信地区 | 両親と兄の 4 人暮らしであったが、ここ数年で 3 人が亡くなり 1 人暮らしとなった 50 代女性。両親同居時からごみ屋敷状態であったが、本人透析のため片付ける体力が無い。本事業により 1 部屋ずつ片付けることで、綺麗にするイメージが湧き、人と関わることで部屋を綺麗にしようという意欲が生まれた。         |
| 南信地区 | 生活保護受給中の 50 代男性。知的障がいのある妻と子に対して虐待し、世帯分離中。寂しさや不安から飲酒量も多く、精神科も受診している。自宅は可燃、不燃、資源、缶ゴミ等に分別されたごみ屋敷。本事業により世帯分離から止まっていた部屋の時間が動きだし、常会長として団地内で住民同士がつながる仕組み作りに向け社協と相談中。 |

○医療受診支援事業 20件（累計25件）

|      |                                                                                                                                                                |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 南信地区 | 30 代母と小 4 児童の母子家庭。母親は精神保健福祉手帳 1 級と自立支援医療受給者証の期限が切れている。また、児童も精神障がいがあり特別児童扶養手当の受給により経済的な安定を図るために通院支援と診断書の取得を支援し、自立支援医療制度の利用により定期通院につながり、行政・社協職員との関係も築くことができた。    |
| 中信地区 | 50 代知的障がいのある男性で両親、兄夫妻とその子ども 3 人と一緒に暮らす 8 人世帯。両親は高齢で年金収入が少なく、主たる生計者は兄夫妻だが子の教育費の負担も大きく、無収入の本人の医療費捻出が困難。本事業を利用し、障害年金の受給を目的に医療受診支援に繋がったところ、緊急入院が必要な状態だったため、入院に至った。 |
| 東信地区 | 40 代知的 B 2 の女性。母、姉、兄、本人、甥の 5 人暮らしだが、収入は母の老齢年金と姉の障害年金の合計 15 万円程度で生活保護基準ギリギリ。本人はうつと長年の引きこもりのため就労が難しいため、世帯収入増を目指し、本事業を活用して障害年金の申請をした。                             |

## （２）長野県あんしん未来創造プロジェクト

身寄りのない方、あるいは障がいを持つ子の親等の生前から死後に向けた様々な課題（葬儀、相続、

不動産、債務整理、死後事務等）に対して研究を行った。

①「身寄りのない方等のエンディング」に関する研究会 at 南箕輪村

第1回 令和元年7月31日（水）

第2回 令和元年12月19日（木）

第3回 令和2年2月27日（木）

○参加者：弁護士、司法書士、社会保険労務士、医療関係者、民生児童委員、福祉事務所、行政  
県共同募金会、社会福祉協議会（村、県）

②「身寄りのない方等のエンディング」に関する研究会 at 松川村

第1回 令和元年11月29日（金）

第2回 令和2年1月30日（木）

第3回 令和2年2月26日（水）

○参加者：弁護士、司法書士、医師、金融機関、葬祭関係者、警察、民生児童委員、福祉事務所  
行政、社会福祉協議会（村、県）

評価： あんしん創造ねっと事業のうち特別公益事業では入居保証・生活支援事業が県営住宅の  
利用が可能になったことで公営住宅でも広く利用が進み、利用が大きく増加した。また、  
一般公益事業についても制度が徐々に普及したことにふまえ、これまで対応困難であった  
相談にも社協として対応することが可能となった。

長野県あんしん未来創造プロジェクトでは、身寄りの無い方のエンディングについて研  
究結果を報告書にまとめ、それぞれの地域での課題を整理する指針を作成した。今後はこ  
の報告書を活用し、普及啓発に取り組んでいくとともに、継続した課題について新たなプ  
ロジェクトを立ち上げ、検討していくことが必要と考えられる。

## 6 被災者見守り・相談支援事業

### 【一般会計－生活支援事業費】

令和元年東日本台風で被災された方々の相談支援体制構築のため、「長野県生活支援・地域ささえあいセンター」を設置し、市町村生活支援・地域ささえあいセンターと連携しながら被災者の孤立防止等のための見守りや日常生活上の相談対応等への支援を行った。

#### （１）センター設置に向けた「長野県における被災者見守り・相談支援体制構築会議」の開催

○期 日 令和元年11月14日（木）

○会 場 県社会福祉総合センター

○内 容 ・情報共有 これまでの災害ボランティアセンターの動きについて  
・事業提案 「被災者見守り・相談支援体制の構築」について 等

○参加者 20人

#### （２）センターの設置

○名 称 「長野県生活支援・地域ささえあいセンター」

○設置日 令和元年12月18日（水）

○事業内容

- ・市町村センターからの相談対応
- ・市町村センターとの連絡会議の開催
- ・「生活支援・地域ささえあいセンター生活相談員等研修」の実施

期 日 令和2年1月16日（木）

会 場 県社会福祉総合センター

内 容 ・講 義 「被災者支援に関する基本的視点と生活支援相談員の役割」

講 師 石井布紀子氏（特定非営利活動法人さくらネット代表理事）

・先行事例報告「東広島市における生活支援相談員の活動の実際」

報告者 邑岡徹哉氏（東広島市社協地域福祉課課長補佐兼相談支援係長）

永谷しのぶ氏（東広島市地域支え合いセンター主任生活支援相談員）

・グループワーク

講 師 石井布紀子氏（前掲）、邑岡徹哉氏（前掲）、永谷しのぶ氏（前掲）

参加者 35人

- ・市町村センター生活支援相談員との同行訪問支援
- ・市町村センターへのアドバイザー派遣

アドバイザー：石井布紀子氏（特定非営利活動法人さくらネット代表理事）

※参考 市町村センターの設置状況

長野市 【設置日】令和元年12月19日

飯山市 【設置日】令和2年1月16日

佐久穂町 【設置日】令和2年1月17日

中野市 【設置日】令和2年2月1日

評価： 令和元年10月におきた令和元年東日本台風災害については、被災された方々の相談支援体制構築のため、まいさぼを中心に取り組みを進めてきた生活困窮者支援を中核とした長野モデルともいえる支援体制を模索しながら、「長野県生活支援・地域ささえあいセンター」を設置し、市町村生活支援・地域ささえあいセンターと連携しながら被災者の孤立防止等のための見守りや日常生活上の相談対応等への支援を行った。コロナ渦の影響で状況がさらに厳しくなる中、被災者の復興、1日も早く安心した生活が取り戻せるよう被災者に寄り添った息の長い支援の継続が必要である。

## IV 福祉人材部 ～福祉・介護サービスを担う人材確保・育成とキャリア形成～

### 1 福祉人材の確保・定着支援

【一般会計－福祉人材センター事業費】

#### (1) 人材確保策の検討

##### ①福祉・介護人材確保ネットワーク会議の開催

県内の福祉・介護人材の確保・定着及び育成等について、現状と課題を研究し、今後の取り組みを検討することを目的に、関係機関・団体の関係者が協議する会議を設置した(全体会議の他、人材確保・定着、人材育成、イメージアップの3作業部会を設置)。

##### ア 福祉・介護人材確保ネットワーク会議(全体会議)

###### ○第1回

- ・期 日 令和元年6月10日(月)
- ・場 所 ホテル信濃路(長野市)
- ・内 容 正副委員長の選出  
この会議の趣旨と概要について  
福祉人材確保・定着・育成の現状・課題と今後の方向について  
主な検討課題について

###### ○第2回(介護労働安定センター長野支部主催の「介護労働懇談会」と併催)

- ・期 日 令和2年2月6日(木)
- ・場 所 県社会福祉総合センター
- ・内 容 各部会での検討結果について  
参画団体からの報告事項  
令和2年度地域医療介護総合確保基金事業等について

##### イ 人材確保・定着部会

###### ○第1回

- ・期 日 令和2年3月18日(水)
- ・場 所 県社会福祉総合センター
- ・内 容 福祉・介護人材確保対策事業の進捗状況と次年度新規事業について  
福祉人材確保・定着のための課題と論点について

##### ウ 人材育成部会

###### ○第1回

- ・期 日 令和元年7月18日(木)
- ・場 所 県社会福祉総合センター
- ・内 容 今年度の人材育成部会について  
ヒアリング調査、事例集の作成について

###### ○第2回

- ・期 日 令和2年1月17日(金)
- ・場 所 県社会福祉総合センター
- ・内 容 ヒアリング調査、事例集について、  
「福祉人材の確保・育成・定着に関する調査」について

## エ イメージアップ部会

### ○第1回

- ・期 日 令和元年6月10日(月)
- ・場 所 ホテル信濃路(長野市)
- ・内 容 平成30年度事業報告、令和元年度事業について

### ○第2回

- ・期 日 令和2年3月9日(月)
- ・場 所 長野社会福祉専門学校(長野市)
- ・内 容 漫画啓発冊子「笑顔を支えるプロになる」について  
「企画会議による魅力の発信」について

## (2) 福祉人材無料職業紹介事業

福祉人材の確保や資質向上・定着を図ることを目的に、長野県福祉人材センターを運営。福祉の職場へ就職を希望する人を求職登録し、求人情報の発信・提供、就職相談に対応し、事業所へ紹介・斡旋に努めた。

### ①無料職業紹介事業

県内の福祉・介護事業所を回り、求人の開拓を行った。また、福祉の職場へ就職を希望する人を求職登録し、求人事業所と求職者のマッチングを行った。

【長野県福祉人材センターの実績】※平成31年4月1日～令和2年3月31日まで

| 項目      | 人数・件数  | 説明                                   |
|---------|--------|--------------------------------------|
| 新規求人数   | 5,571人 | 3ヶ月毎の更新分含む                           |
| 有効求人数   | 1,365人 | 毎月平均                                 |
| 新規求職者数  | 3,258人 | 3ヶ月毎の更新分含む(うち純新規求職者1,352人)           |
| 有効求職者数  | 815人   | 毎月平均                                 |
| 求人相談件数  | 8,111件 | 来所2,101件/電話3,444件/文書等988件/説明会等1,578件 |
| 求職相談件数  | 5,258件 | 来所696件/電話2,492件/文書等1,641件/説明会等429件   |
| 応募・紹介人数 | 252人   | 応募数10人/紹介数242人                       |
| 採用人数    | 195人   | 正職員59人/常勤(パート以外)66人/パート70人           |

【過去6年間の求人・求職状況の推移】(単位:人)

| 項目                 | H26   | H27   | H28   | H29   | H30   | R1    |
|--------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 新規求人数(3ヶ月毎の更新分含む)  | 6,904 | 5,972 | 5,773 | 5,717 | 6,023 | 5,571 |
| 有効求人数(毎月平均)        | 1,754 | 1,507 | 1,388 | 1,343 | 1,462 | 1,365 |
| 新規求職者数(3ヶ月毎の更新分含む) | 2,051 | 2,676 | 1,728 | 753   | 1,225 | 3,258 |
| 有効求職者数(毎月平均)       | 545   | 680   | 484   | 220   | 293   | 815   |
| 有効求人倍率(毎月平均)       | 3.23  | 2.26  | 3.39  | 6.12  | 5.98  | 1.89  |
| 求人相談件数             | 6,402 | 5,937 | 6,061 | 2,506 | 1,413 | 8,111 |
| 求職相談件数             | 4,250 | 4,276 | 3,116 | 1,010 | 453   | 5,258 |
| 応募人数               | 317   | 160   | 172   | 7     | 16    | 10    |
| 紹介人数               | 228   | 194   | 198   | 137   | 194   | 242   |
| 採用人数               | 301   | 198   | 232   | 94    | 145   | 195   |

## ②求職者・求人事業所への情報提供

### ア 「福祉のしごと求人情報」の発行(毎月1回発行)

求人情報を掲載した「福祉のしごと求人情報」を毎月発行するとともに、本会ホームページにも掲載し、就職希望者等へ情報を提供した。

○送付先 求職登録者、福祉人材養成校、ハローワーク、長野県・現地機関、市町村社会福祉協議会等

○送付件数 毎月160件

### イ 求人サイト「福祉のお仕事」による求人・求職情報等の提供

中央福祉人材センターが運営する福祉・介護の求人サイト「福祉のお仕事」を通じて、求人・求職情報等を提供した。



福祉のお仕事

## (3) 福祉・介護人材マッチング支援事業

キャリア支援専門員を配置し、個々の求職者にふさわしい職場を開拓するとともに、円滑な就労・定着を支援するため本事業を実施した。

また、求職者と事業所のマッチング機会を提供する福祉の就職説明会等を開催し、福祉人材の確保に努めた。

### ①キャリア支援専門員の配置・支援活動

#### ア キャリア支援専門員の配置

長野県福祉人材センターにキャリア支援専門員を4名配置し、以下の活動を行った。

- 北信地区担当(長野市若里) 1名
- 東信地区担当(上田市中央) 1名
- 中信地区担当(東筑摩郡山形村) 1名
- 南信地区担当(上伊那郡南箕輪村) 1名

#### イ 福祉・介護の基礎知識習得支援

松本・諏訪を除く県内12箇所のハローワーク会議室等で「福祉ジョブセミナー」を開催し、福祉・介護の職場に就職するために必要な基礎知識の習得を支援した(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月中旬以降は開催中止)。

【福祉ジョブセミナー受講者数の推移】(単位:人)

| H26 | H27   | H28 | H29 | H30 | R01 |
|-----|-------|-----|-----|-----|-----|
| 926 | 1,031 | 642 | 657 | 800 | 715 |

#### ウ 個々の求職者に対する就職相談及び就職活動支援

キャリア支援専門員が求職者と個別相談や施設訪問の同行などを通じ、個々の求職者のニーズに沿った福祉・介護の職場を紹介するとともに、就職活動を支援した。

#### エ 求職者のニーズに合わせた職場開拓およびマッチング

キャリア支援専門員が担当区域内の福祉・介護事業所及び高校・大学・短大・専門学校などを随時訪問し、事業周知及び求人開拓を行うとともに、求職者とのマッチングを進めた。

【キャリア支援専門員の活動実績】(単位:件)

| 活動内容         | 北信  | 東信  | 中信  | 南信    | 合計    |
|--------------|-----|-----|-----|-------|-------|
| 求人事業所訪問・相談件数 | 581 | 900 | 553 | 1,503 | 3,537 |
| 求職者との相談件数    | 498 | 622 | 312 | 1,152 | 2,584 |

## ②就職説明会の実施

### ア 福祉の職場説明会・就職面接会

福祉の職場へ就職を希望する人・興味がある人や職種・資格について知りたい人と、従業員採用予定のある県内の福祉事業所とが直接相談・面談できる場として、「福祉の職場説明会・就職面接会」を開催した。会場には、長野労働局・ハローワーク・長野県・長野県看護協会・介護労働安定センター長野支部の相談コーナーも設けた。

また、職場説明会に合わせて求職者の福祉のお仕事に関する理解を深めるため、各回で求職者向けにプレイベント(法人・事業所プレゼンテーション)も行った。

#### 【開催実績】

|      | 会場                    | 期日       | 場所           | 参加<br>事業所数 | 参加者数<br>(人) |
|------|-----------------------|----------|--------------|------------|-------------|
| 第1回  | 長野                    | 8月2日(金)  | メルパルク長野      | 69         | 154         |
|      | 松本                    | 8月9日(金)  | 松本勤労者福祉センター  | 45         | 90          |
|      | 上田                    | 8月21日(水) | 上田東急REIホテル   | 30         | 56          |
|      | 伊那                    | 8月30日(金) | 信州INAセミナーハウス | 20         | 9           |
| 第2回  | 長野                    | 11月1日(金) | ホテル信濃路       | 52         | 71          |
|      | 松本                    | 11月8日(金) | 松本勤労者福祉センター  | 45         | 76          |
| 第3回  | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 |          |              |            |             |
| 合計6回 |                       |          |              | 261        | 456         |

### イ 福祉のしごと地区面接会

「福祉の職場説明会」の開催会場から遠い地域の求人事業所・求職者のため、小規模な就職説明会を開催し、就職相談の場として県内10箇所で開催した。

#### 【開催実績】

| 開催地   | 期日        | 場所             | 参加<br>事業所数 | 参加者数<br>(人) |
|-------|-----------|----------------|------------|-------------|
| 南松本   | 7月7日(日)   | 林友ホール          | 12         | 9           |
| 中野    | 10月23日(水) | 中野地域職業訓練センター   | 6          | 5           |
| 飯田    | 10月30日(水) | 南信州・飯田産業センター   | 10         | 20          |
| 佐久    | 11月22日(金) | 佐久平交流センター      | 9          | 9           |
| 下條    | 11月25日(月) | 下條村民センター       | 8          | 11          |
| 飯田    | 12月24日(火) | 南信州・飯田産業センター   | 10         | 10          |
| 千曲    | 1月23日(木)  | 更埴文化会館「あんずホール」 | 台風災害のため中止  |             |
| 安曇野   | 1月29日(水)  | 豊科交流学習センター     | 12         | 16          |
| 飯田    | 1月31日(金)  | 南信州・飯田産業センター   | 6          | 12          |
| 上田    | 2月5日(水)   | サントミューゼ        | 10         | 36          |
| 須坂    | 2月8日(土)   | 須坂市メセナホール      | 7          | 8           |
| 合計11回 |           |                | 90         | 136         |



## ウ 福祉の仕事・就職なんでも相談会

福祉の仕事や就職に関心はある方が、就職に向けた様々な疑問や不安を解消し、安心して就職できるようにするために開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

## ③ 県外就職説明会の実施

県の移住交流施策とも連携し、県外在住で今後長野県にUターン・Iターン就職を考えている者(学生も含む)を対象に、長野県の福祉・介護・保育業界での就職PRを図るため、「銀座NAGANO」等において就職説明会を開催し、求職者との個別相談の他、ミニ講演、参加事業所によるプレゼンテーション、求職者との個別相談を実施した。

### ア 第1回「一人多役の信州で暮らす、働くフェア」

- ・期 日 令和元年11月17日(日)
- ・会 場 東京交通会館(東京都千代田区)
- ・参加事業所 岳北地域2事業所が参加
- ・参加求職者 15人、うち本会相談ブース訪問は2人

### イ 第2回「日本福祉大学長野県UIターンセミナー」

- ・期 日 令和元年12月13日(金)
- ・会 場 日本福祉大学(愛知県美浜町)
- ・参加数 同大学の学生24人

### ウ 第3回「北アルプスdeカイゴ」

- ・期 日 令和2年1月13日(月)
- ・会 場 銀座NAGANO(東京都中央区)
- ・参加業所数 大北地域の3事業所が参加
- ・参加求職者 24人

### エ 第4回「日本福祉大学学内合同就職説明会」

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

## ④ 長野県福祉人材確保定着支援セミナーの実施

介護業界の人材確保・定着力の向上を図るため、外国人技能実習生受入れ方法、働き方改革に関するセミナーを開催した。

- ・期 日 令和2年1月22日(水)
- ・会 場 松本市勤労者福祉センター
- ・内 容 「高齢化アジアの中での『介護』技能実習生の受入れ」  
講師 社会福祉法人ハynesライフ渉外部長 深井克純 氏  
「福祉・介護事業所に求められる『働き方改革』とは」  
講師 社会保険労務士 杉山逸人 氏
- ・参加者 47法人/事業所64人

### ⑤福祉施設見学会の実施

実際の福祉施設を見学し、仕事の様子を知ること、将来、福祉・介護への就職をめざす契機とすることを目的に、福祉施設見学会を開催した。

#### 【開催状況】

| 地区  |     | 開催日      | 見学先法人名・施設名                                                    | 参加者<br>(人) |
|-----|-----|----------|---------------------------------------------------------------|------------|
| 中信  | 松本市 | 9月14日(土) | 株式会社ウェルライフ信州<br>複合福祉施設セントラルビオス                                | 22         |
| 南信  | 根羽村 | 10月1日(火) | 社会福祉法人愛知慈泉会<br>根羽村高齢者福祉施設ねばねの里「なごみ」                           | 23         |
| 北信  | 長野市 | 10月9日(水) | 社会福祉法人四徳会<br>特養グリーンヒル<br>社会福祉法人ながのコロニー<br>ワークサポート篠ノ井ハートフル五明   | 3          |
| 東信  | 上田市 | 11月5日(火) | 社会福祉法人かりがね福祉会<br>本部・ライフステージかりがね<br>指定生活介護事業所アトリエF u u グループホーム | 4          |
| 全4回 |     | 合計       |                                                               | 52         |

### ⑥アドバイザー等の派遣

福祉・介護人材の確保・定着及び施設経営者を支援するための相談員(大学教授、弁護士、税理士、社会保険労務士など)を派遣し、専門家から助言等を行うことで、福祉・介護事業所の支援を行った。

#### 【派遣内訳】(単位:件)

| 分野 \ 月        | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|---------------|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|----|
| 運営管理          |   |   |   |   |   | 1 | 1  |    | 1  | 1 | 1 |   | 5  |
| 会計・税務         |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   | 0  |
| 労務管理          | 2 |   |   |   | 1 | 2 | 1  | 1  |    |   |   | 1 | 8  |
| 法務            |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   |   | 0  |
| 職場における心の健康づくり |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |   | 1 | 1  |
| 人材マネジメント      |   |   |   |   |   |   |    | 1  |    |   | 1 |   | 2  |
| 合計            | 2 |   |   |   | 1 | 3 | 2  | 2  | 1  | 1 | 2 | 2 | 16 |

### ⑦事業の広報・周知活動

長野県福祉人材センター事業の利用促進のため、ラジオ放送、新聞広告掲載、チラシ・ポスター作成・配布の他、動画投稿サイトも活用し、広報・周知した。

#### ア ラジオ番組でのPR

FM長野で、福祉の職場説明会・就職面接会開催を案内し、参加を呼び掛けた。

#### イ 新聞広告掲載

福祉の職場説明会・就職面接会、福祉のしごと地区面接会、福祉施設見学会の開催にあたり、「信毎就職情報」に広告を掲載し、参加を呼び掛けた。

### ウ チラシ・ポスターの作成・配布

就職説明会・福祉施設見学会の開催にあたり、チラシ・ポスターを作成し、求職登録者の他、長野県・県内の市町村行政機関、市町村社会福祉協議会、ハローワーク、学校（福祉系高校・大学、介護福祉士養成校、看護学校）等に配布し、利用を呼び掛けた。

### エ YouTubeを利用したPR、就職相談呼びかけ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当初予定していた「第3回福祉の職場説明会・就職面接会」および「福祉の仕事・就職なんでも相談会」が中止となり、県労働雇用課が急遽開催を呼び掛けた「長野県オンライン企業セミナー」に参加、当日の映像は動画投稿サイト「YouTube」にも掲載され、福祉の仕事PRや本会福祉人材センターの相談利用を呼び掛けた。

- ・名称 長野県オンライン企業セミナー
- ・参加日 令和2年3月27日(金)  
当日の映像はYouTubeにも掲載



### ⑧福祉人材センター相談コーナーの開設

ハローワーク・県・民間団体などが開催する就職相談会やイベント会場内に福祉人材センター相談コーナーを開設し、来訪者に対する福祉の仕事や資格等の相談、個々の求職者の就職相談に対応した。

### （４）福祉の職場体験事業の実施

福祉・介護の仕事の魅力ややりがい理解され、将来の就職先として選ばれるようにするため、学生や一般県民に福祉の職場での就業体験の機会を提供した。

- ・体験者数 721人 ※詳細は以下のとおり
- ・体験日数 1,646日（1人あたり体験日数平均2.28日）
- ・登録事業所数 781事業所
- ・受入事業所数 295事業所

【体験者数の内訳、推移】（単位：人）

| 年度  | 一般  | 学生  |     |                |     | 合計  |
|-----|-----|-----|-----|----------------|-----|-----|
|     |     | 中学生 | 高校生 | 大学・短大<br>専門学校等 | 小計  |     |
| H26 | 149 | 178 | 149 | 25             | 352 | 501 |
| H27 | 80  | 212 | 263 | 22             | 497 | 577 |
| H28 | 59  | 255 | 236 | 20             | 511 | 570 |
| H29 | 48  | 427 | 193 | 19             | 639 | 687 |
| H30 | 35  | 314 | 201 | 18             | 533 | 568 |
| R01 | 35  | 446 | 233 | 7              | 686 | 721 |

#### (5) 潜在的有資格者支援事業及び介護入門者研修の実施

福祉・介護に関する資格を保有しているが、現在は福祉・介護の職に就いていない「潜在的有資格者」の復職や、介護に興味があるが業務経験がないために就労に不安を抱える子育て世代の女性・アクティブシニア等「介護入門者」の就労を促進することを目的に、福祉・介護の職場への就職を前提とする個別相談会並びに研修会を県内各地で開催した。

また、介護福祉士等有資格者への届出制度の運用を行い、届出者の拡大に努めた。

##### ①福祉のお仕事復職支援研修「1日コース」

- ・ 日 程 県内4地区において各2回開催
- ・ 内 容 1日4時間の日程で、福祉・介護に関する資格を有しているが、現在は福祉・介護の職に就いていない人を対象に福祉職場の最新情報を講義併せてキャリア支援専門員による就労相談を実施
- ・ 実施事業者 北信地区:長野県高齢者生活協同組合  
東信地区:株式会社ニチイ学館  
中信地区:キャリアバンク株式会社  
南信地区:キャリアバンク株式会社

##### 【開催実績】

| 地区           | 開催地  | 会場         | 開催日       | 受講者数(人) |
|--------------|------|------------|-----------|---------|
| 北信           | 長野市  | かがやきスペース   | 8月24日(土)  | 3(男1女2) |
|              | 千曲市  | 千曲ふれあい情報館  | 9月7日(土)   | 2(男1女1) |
| 東信           | 上田市  | こさと教室      | 11月16日(土) | 5(男1女4) |
|              | 上田市  | こさと教室      | 11月30日(土) | 5(男0女5) |
| 中信           | 塩尻市  | グレイスフル塩尻   | 9月7日(土)   | 1(男1女0) |
|              | 安曇野市 | 豊科交流学習センター | 9月8日(日)   | 2(男2女0) |
| 南信           | 伊那市  | きたっせ       | 7月28日(日)  | 1(男0女1) |
|              | 下諏訪町 | キャリアバンク(株) | 8月3日(土)   | 2(男0女2) |
| 合計21(男6、女15) |      |            |           |         |

##### ②介護に関する入門的研修「4日コース」

- ・ 日 程 県内2地区において各2会場で開催
- ・ 内 容 4日間21時間の日程で、介護の基礎知識や技術を学び、未経験者が安心して介護分野へ就業できるよう後押しをするとともに資格を有しているが、現在は福祉・介護の職に就いていない人に福祉・介護施設への再就職促進を図るため講座を実施した。終了後、キャリア支援専門員による就労相談を実施
- ・ 実施事業者 東北信地区:長野県高齢者生活協同組合  
中南信地区:キャリアバンク株式会社

【開催実績】

| 地区           | 開催地  | 会場            | 開講期間<br>[期間中 4 日間]     | 受講者数(人)   |
|--------------|------|---------------|------------------------|-----------|
| 東北信          | 長野市  | 長野地域職業訓練センター  | 9月14日(土)<br>～10月4日(金)  | 20(男9女11) |
|              | 上田市  | 上田市ふれあい福祉センター | 11月2日(土)<br>～12月1日(日)  | 4(男2女2)   |
| 中南信          | 塩尻市  | グレイスフル塩尻      | 9月28日(土)<br>～10月26日(土) | 4(男2女2)   |
|              | 下諏訪町 | キャリアバンク株式会社   | 11月2日(土)<br>～11月30日(土) | 6(男3女3)   |
| 合計34(男16女18) |      |               |                        |           |

③介護福祉士等届出システムへの対応

介護福祉士等、有資格者の届出制度の周知のためのチラシを県内関係事業所へ配布し、届出者の拡大に努めた。

【届出実績】(単位:人)

| 年度  | 介護福祉士 | 介護職員<br>実務者研修 | 介護職員<br>基礎研修 | ヘルパー<br>1級 | 介護職員初<br>任者研修、ヘル<br>パー2級 | 保育士   | その他、社会福<br>祉士・精神保健<br>福祉士他 |
|-----|-------|---------------|--------------|------------|--------------------------|-------|----------------------------|
| H29 | 21    | 47            | 7            | 6          | 90                       | 165   | 37                         |
| H30 | 71    | 24            | 2            | 2          | 58                       | 443   | 76                         |
| R01 | 46    | 20            | 5            | 1          | 44                       | 745   | 42                         |
| 合計  | 138   | 91            | 14           | 9          | 192                      | 1,353 | 155                        |

(6) 福祉職場PR事業

今後、ますます多くの人材が必要とされる福祉・介護の業務が中高生等若者に理解され、将来の就職を促すため、福祉・介護の仕事・職場の意義・魅力を広く伝えるPR活動を実施した。

①訪問講座の開催(「福祉を学ぼう」訪問講座)

中学校、高校の他、小学校や地域へ介護福祉養成校教員や社会福祉施設職員等を派遣し、授業や課外活動等の時間に福祉・介護の経験や仕事の魅力を伝えることにより、若者の進路選択に活かした。

また、今年度から上田千曲高校生活福祉科生徒の協力を得て、主に小学生以下を対象に、大規模イベント会場内で実際のユニフォームを着用し、福祉現場のスタッフになりきって福祉のお仕事を模擬的に体験する「ふくしニア」を実施した。この「ふくしニア」は、参加した小学生など子どもたちだけでなく、親子で福祉の仕事の魅力を知る機会にもなった。

【派遣先数(カッコ内は開催講座数)】

| 小学校   | 中学校    | 高校     | 大学・短大<br>専修学校 | 企業<br>その他 | 計       |
|-------|--------|--------|---------------|-----------|---------|
| 8(13) | 25(42) | 20(37) | 5(6)          | 10(12)    | 68(110) |

【受講者数(単位:人)】

| 小学校 | うち<br>保護者 | 中学校   | うち<br>保護者 | 高 校 | うち<br>保護者 | 大学・短大<br>専修学校 | 企業<br>その他 | 計     |
|-----|-----------|-------|-----------|-----|-----------|---------------|-----------|-------|
|     |           |       |           |     |           |               |           |       |
| 455 | 60        | 1,644 | 60        | 585 | 24        | 278           | 562       | 3,524 |

【上記のうち「ふくしニア」の実施実績(単位:人)】

| 期日                  | 場所       | 体験者数 | 備考                           |
|---------------------|----------|------|------------------------------|
| 6月23日(日)            | ビッグハット   | 100  | 「ハピスポ広場2019」内で実施             |
| 7月27日(土)<br>～28日(日) | ビッグハット   | 150  | 「体験と学びの環境博～信州環境フェア2019～」内で実施 |
| 7月28日(日)            | アザレアンさなだ | 38   |                              |
| 8月2日(金)             | 長野県庁     | 100  | 「夏休み県庁見学イベント」内で実施            |
| 9月8日(日)             | エス・バード   | 93   | 2019南信州お仕事キッズタウン内で実施         |
| 11月23日(土)           | 上田千曲高校   | 20   |                              |
| 計                   | 7日間      | 501  |                              |

②啓発用ツールの作成

ア マンガ啓発冊子「笑顔を支えるプロになる」単行本の改訂・増刷と配布

中学生・高校生を中心とする若年世代に福祉・介護の仕事の現状や魅力を伝え、理解を図るとともに、福祉・介護分野で働く人材の確保につなげていくことを目的に、平成30年度に制作した「かいごのおにいさん。」単行本にInstagram・YouTubeのQRコードを付加して増刷(5,000部)し、求職者や介護福祉士養成校などへ配布した。

イ Instagramの開設とPR

福祉の仕事の様子をより多くの若年世代が知る機会を増やすことをめざし、Instagramに「笑顔を支えるプロになる」を開設し、福祉の訪問講座の様子等を掲載した他、アクセス増のためのカードも制作し、PRに努めた。

ウ マンガ啓発冊子「笑顔を支えるプロになる」動画制作

上記マンガ啓発冊子を、より多くの学生・若者に観ていただけるよう動画化した。動画化に当たっては松本国際高校声優部の協力を得て音声吹き込みを行った。

また制作した動画は上記Instagramの他、YouTubeにも掲載した他、アクセス増のためのカードも制作・配布し、PRに努めた。



Instagram「かいごのおにいさん。」 YouTube「笑顔を支えるプロになる」

## エ その他

本会福祉人材センターをPRし、福祉・介護の仕事をより理解していただくためのツールとして「かいごのおにいさん。」イラスト入りクリアファイルを作成し、学校その他、福祉・介護の仕事に興味関心のある人等へ配布した。また、「かいごのおにいさん。」等身大パネルを制作し、訪問講座など多数の人が来訪する場で「アイキャッチ」として福祉の仕事PRに活かした。

### ③各種媒体による広報活動(「信毎中学生NAVI」への広告掲載)

福祉・介護の仕事の理解促進のため、信濃毎日新聞社が発行する「信毎中学生NAVI」令和元年7月号に、福祉の訪問講座や福祉の職場体験事業の広告を掲載し、利用促進を図った(「信毎中学生NAVI」は50,000部発行、県内の中学2年生・3年生全員に配布した)

### ④企画会議による魅力発信「信州共生みらいアイデアコンテスト2019」の実施

平成30年度から設置している「信州福祉ものづくりひとづくり(企画会議)」実行委員会での検討を踏まえ、工学やデザイン等の様々な分野で学ぶ学生が各専門分野の知識を活かしたイノベーションの進展による福祉・介護現場の活性化、若者の福祉・介護業界への新規参入を促すことを目標に「信州共生みらいアイデアコンテスト2019」を開催した。

## ア 実行委員会

- ・期 日 令和元年9月3日(火)
- ・会 場 県社会福祉総合センター(長野市)
- ・内 容 ・「共生みらいアイデアコンテスト」の進捗状況と今後の予定について

## イ 応募者向けオリエンテーションの開催

標記コンテスト応募者が、福祉の現場で発生している課題を知り、当事者の声を聴き、アイデアをまとめる際の参考とするため、下記のとおりオリエンテーションを実施した。

### ○岡学園トータルデザインアカデミー学生向け

- ・第1回 岡学園トータルデザインアカデミー(長野市)  
令和元年5月21日(火) 同校学生14名参加
- ・第2回 老人保健施設野澤苑(長野市)  
令和元年5月28日(火) 同校学生14名参加
- ・第3回 長野市ななせ仲まち園(長野市)  
令和元年6月4日(火) 同校学生14名参加

### ○長野大学学生向け

- ・第1回 長野大学(上田市)  
令和元年6月19日(水) 同校学生4名参加

## ウ 作品・アイデアの募集受付

募集内容「福祉×〇〇〇」のコラボにより、福祉・介護の課題解決に役立つ、信州らしい技術、サービス、ビジネスモデル、政策アイデア等を募集。

- ・募集期間 平成31年4月24日(水)～令和元年6月10日(月)
- ・募集対象 県内の高校、専門学校、高等専門学校、大学、短期大学等の学生チーム
- ・エントリー数 信州大学教育学部、長野大学企業情報学部・福祉学部、駒ヶ根工業

高等学校、岡学園トータルデザインアカデミーの4校、計20チーム

## エ 審査会

### ○第1次審査

エントリーのあった20作品・アイデアについて書類審査を行い、11作品・アイデアを第2次審査に諮るものとして選考した。

### ○第2次審査

第1次審査で選考された作品を対象に審査会を行い、受賞者を決定した。

- ・期 日 令和元年9月5日(木)
- ・会 場 長野県立図書館(長野市)
- ・内 容 1チーム10分以内のプレゼンテーションにより審査を行った
- ・審査員 藤原忠彦 (長野県社会福祉協議会会長)  
佐藤正雄 氏 (長野県社会福祉法人経営者協議会会長)  
小池玲子 氏 (長野県社会教育委員連絡協議会会長)  
山田光徳 氏 (長野県在宅福祉機器協議会会長)  
増澤良雄 氏 (福祉を考える企業の会会長)
- ・審査結果 以下の2チーム・3個人に5賞授与を決定した

| 賞                      | チーム(個人)名                    | テーマ                          |
|------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| 長野県教育委員会賞              | 駒工乙<br>(駒ヶ根工業高等学校)          | 介護職の為のゆっくりリフター               |
| 長野県社会福祉協議会<br>会長賞      | とろチャレ<br>(信州大学教育学部)         | とろみの付き具合が測定できるアイデア           |
| 長野県社会福祉法人<br>経営者協議会会長賞 | 井澤詩萌<br>(岡学園トータルデザインアカデミー)  | ショートステイ時の荷物チェックの改善案          |
| 長野県在宅福祉機器協議会<br>会長賞    | 山崎隆道<br>(岡学園トータルデザインアカデミー)  | 食事介助用のエプロンデザイン               |
| 福祉を考える企業の会<br>会長賞      | 青木くるみ<br>(岡学園トータルデザインアカデミー) | 誰にとっても楽しく遊べるユニバーサルカラーすごろくの提案 |

## オ 表彰式

- ・期 日 令和元年9月20日(金)※第68回長野県社会福祉大会と併せて実施
- ・会 場 駒ヶ根市文化会館
- ・対 象 受賞決定した2チーム、3個人
- ・内 容 表彰状授与、受賞者によるプレゼンテーション



## (7) 信州福祉事業所認証・評価制度運用事業

求職者に対して入職の判断につながる情報発信を行うとともに、福祉事業者全体の意識改革を促し、職員研修等の充実による人材育成・定着の取り組みを促進することを目的に、キャリアパス構築や人材育成、職場環境の改善等の取り組みが一定以上の水準にある福祉事業所を認証・評価する制度を運用し、事業の周知・理解促進、申請の拡大に努めた。

### ①制度の広報周知

#### ア 広報チラシ、ポスター等の配布等による周知

制度のPRと認証申請の呼びかけのため、広報用チラシ、ポスター及びクリアファイル等を県内で福祉事業を実施する法人・事業所へ配布した。県が主催する「介護人材確保対策事業合同説明会」では制度の説明を行い、「認証申請の手引き」の利用・申請を呼び掛けた。

またホームページ「信州福祉・介護のひろば」でも申請を呼びかけた。さらに、認証された事業所への就職を促進するため、新たに求職者向けチラシを作成、求職登録者や福祉の仕事に興味関心のある者に配布し、認証事業所へ就職するメリットを周知した。

#### イ 制度説明会開催

信州福祉事業所認証・評価制度の認証を目指して「取り組み宣言」をしている事業者を主な対象に、認証基準を満たすポイント等を解説し、認証申請につなげることを目的に制度説明会を開催した。

|     | 期日・会場                         | 内容                                | 参加数         |
|-----|-------------------------------|-----------------------------------|-------------|
| 第1回 | 令和元年7月3日(水)<br>長野県庁(長野市)      | ・信州福祉事業所認証・評価制度について<br>・評価項目について  | 19法人<br>21人 |
| 第2回 | 令和元年7月4日(木)<br>長野県諏訪合同庁舎(諏訪市) | ・認証申請方法について<br>・サポートについて<br>・質疑応答 | 16法人<br>18人 |

### ②認証・評価審査委員会

「信州福祉事業所認証・評価制度」に基づき申請のあった事業所の認証・審査のため、関係機関・団体が協議するための委員会を設置して委員・調査員を委嘱し、認証申請のあった内容を審査した(委員数:7名委嘱、その他調査員1名を委嘱)

#### ア 第1回委員会

- ・期 日 令和元年6月14日(金)
- ・会 場 長野県庁
- ・内 容 令和元年度第1回認証事業者の決定について(審査件数1件)  
報告事項、今後の取組内容及び予定について

#### イ 第2回委員会

- ・期 日 令和元年10月11日(金)
- ・会 場 長野県庁
- ・内 容 令和元年度第2回認証事業者の決定について(審査件数2件)  
報告事項、その他

### ウ 第3回委員会

- ・期 日 令和2年2月14日(金)
- ・会 場 長野県庁
- ・内 容 令和元年度第3回認証事業者の決定について(審査件数1件)  
報告事項、その他

### ③専用ホームページによる情報発信

認証・評価制度における宣言事業所、認証法人の公開のためのホームページ「信州福祉・介護のひろば」での情報発信に努めた。



#### 【認証・評価実績】

|     | 取組宣言済み |      | うち認証決定 |      |
|-----|--------|------|--------|------|
|     | 法人数    | 事業所数 | 法人数    | 事業所数 |
| H29 | 9      | 34   | 0      | 0    |
| H30 | 46     | 288  | 2      | 11   |
| R01 | 4      | 10   | 4      | 31   |
| 合計  | 59     | 332  | 6      | 42   |

### (8) 長野県保育士人材バンクの設置・運営

長野県内の保育士資格を持つ方に、求人・求職情報を提供するなどして就職を支援し、保育士・保育所等へのマッチングを支援することを目的に長野県保育士人材バンクを運営。保育士資格を持つ方への届出促進、保育所等へ就職を希望する人を求職登録し、求人情報の発信・提供、就職相談に対応し、保育所等への紹介・斡旋に努めた。

#### ①無料職業紹介事業

福祉・介護に特化した無料職業紹介事業を行う長野県福祉人材センター(運営:長野県社会福祉協議会)と協力・連携し、長野県内の保育所等の求人開拓を行った。

また、保育所等へ就職を希望する人を求職登録し、保育所等と求職者のマッチングを行った。

#### 【長野県保育士人材バンクの実績】

| 項目         | 人数・件数  | 説明                             |
|------------|--------|--------------------------------|
| 新規事業所登録件数  | 43件    | 25町村分(平成29年度からの累計166所)         |
| 新規求人件数     | 303件   | 保育所235件/認定こども園30件/その他38件       |
| 求人人数       | 1,112人 | 正社員135人/常勤609人/パート368人         |
| 求職者登録数     | 194人   | 現在も有効な登録者56人/抹消138人            |
| 保育士資格の届出件数 | 746件   | 平成29年度からの累計1,354件              |
| 求人相談件数     | 1,327件 | 来所451件/電話535件/文書268件/説明会等73件   |
| 求職相談件数     | 1,960件 | 来所70件/電話1,026件/文書:803件/説明会等61件 |
| 採用人数       | 82人    | 応募数2人/紹介数80人                   |

#### ②保育士・保育所等への情報提供

##### ア 「保育のしごと求人情報」の発行(毎月1回発行)

求人情報を掲載した「保育のしごと求人情報」を毎月発行するとともに、本会ホームページ「信州福祉介護のひろば」にも掲載し、保育士資格の届出者、就職希望者等へ情報を提供した。

##### イ 求人サイト「福祉のお仕事」による求人情報等の提供

中央福祉人材センター(運営:全国社会福祉協議会)が運営する福祉・介護の求人サイト「福祉のお仕事」を通じて、求人情報等を提供した。

### ③保育士再就職支援コーディネーターの配置

長野県保育士人材バンクに保育士再就職支援コーディネーター(保育士支援専門員)を2名(長野市及び東筑摩郡山形村)配置し、保育所や市町村保育担当課、保育士養成学校等を訪問し、情報提供、求人開拓・登録、求職登録、就職相談等を実施した。

#### ア 個々の求職者に対する就職相談及び就職活動支援

保育士支援専門員が求職者と個別相談などを通じ、個々の求職者のニーズに沿った保育所等を紹介するとともに、就職活動を支援した。

#### イ 求職者のニーズに合わせた職場開拓およびマッチング

保育士支援専門員が担当区域内の保育所、保育士養成学校などを随時訪問し、事業周知及び求人開拓を行うとともに、求職者とのマッチングを進めた。

- ・事業所 関係機関等訪問件数451件

※相談件数、採用実績等は上記(8) -①のとおり

### ④広報活動の実施

チラシ等の制作・配布のほか、マスメディアも活用して広報活動を行い、長野県保育士人材バンクのPR及び求職者の掘り起こしに努めた。

#### ア チラシの制作・配布による広報活動

長野県保育士人材バンクPRチラシを制作し、ハローワーク、保育士養成校等へ配布する他、県内の公共施設や商店等へも配置して就職求職者の掘り起こしに努めた。

#### イ マスメディア等を活用した広報活動

- 育児雑誌への広告掲載

- ・月刊イクジイ令和2年2月号に掲載

- 保育士養成校の広報誌を活用した広報活動

- ・松本短期大学同窓会広報誌への掲載

- ・清泉女学院大学同窓会会員向けにチラシ送付

### ⑤再就職支援及び雇用管理改善研修の実施

保育所の理事者・管理者および保育士への就職に興味関心のある者を対象に、保育士の確保・定着の現状と課題、今後の取り組みのポイントを学び、雇用管理改善に活かすため、県内2会場で準備したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

### ⑥学生向け就職ガイダンスの実施

就職活動を迎える学生を対象に、就職活動に活かすためのガイダンスを保育士養成校へ出向いて実施した。

#### ア 上田女子短期大学「上田女子短期大学公務員(保育士)合同説明会」

- ・期 日 令和元年12月16日(月)

- ・会 場 上田女子短期大学

- ・参加者 市町村保育担当課(12市町村)、同学で公務員保育士を希望する1年生34名

- ・内 容 全体説明会(各市町村5分程度の説明)、個別説明会

#### イ 日本福祉大学「長野県UIターンセミナー」

- ・期 日 令和元年12月13日(金)

- ・会 場 日本福祉大学美浜キャンパス(愛知県美浜町)

- ・参加者 長野県へのU・Iターン就職を希望する同学の学生(1～3年生)18名

- ・内 容 長野県からの説明、参加団体別ガイダンス、個別相談会

#### ウ 長野県福祉大学校「長野県福祉大学校進路選択のための就職ガイダンス(保育士)」

- ・期 日 令和元年12月18日(水)
- ・会 場 長野県福祉大学校(諏訪市)
- ・参加者 市町村保育担当課(6市町村)、同校で保育士専攻の1年生(50名)
- ・内 容 全体説明会、各市町村5分程度の説明、個別相談会

#### エ 飯田女子短期大学「飯田女子短期大学キャリアサポートセミナー(保育士)」

- ・期 日 令和2年1月16日(木)
- ・会 場 飯田女子短期大学
- ・参加者 市町村保育担当課(5市町村)、同学で保育士専攻の1年生(50名)
- ・内 容 全体説明会(各市町村5分程度の説明)、個別説明・質疑応答

#### オ 文化学園長野保育専門学校「文化学園長野保育専門学校市町村就職ガイダンス」

- ・日 時 令和2年1月16日(木)
- ・会 場 文化学園長野保育専門学校(長野市)
- ・参加者 市町村保育担当課(3市町村)、同校の1年生(6名)、
- ・内 容 自己紹介、各自治体のプレゼンテーション、各ブースでの面談

### ⑦潜在保育士等を対象とした就業状況調査の実施

県内の保育士資格保有者を対象に、保育士としての就業状況の現状と課題を把握し、求職登録・届出を増やすことを目的に、長野県こども・家庭課から保育士登録者の情報提供を受け、調査を実施した。

- ・調査対象者 長野県に保育士登録のある40代及び50代の者(10,000人)
- ・調査期間 令和元年8月6日～9月24日
- ・調査方法 郵送により調査用紙を送付、返信用封筒で回答
- ・回収数 2,316人(回収率23.2%)

### ⑧保育士登録簿を活用した就職促進

上記⑦の調査対象者に対し、調査実施に併せて求職登録及び保育士資格の届出を奨め、希望者に対して保育所等への就職を促進した。

## (9) 介護サービス情報に関する指定情報公表センター事業【一般会計－介護情報公表センター事業費】

長野県から「介護サービス情報の公表事業業務」を受託して、継続事業所及び新規開設事業所の公表を行うとともに、公式ホームページ「福祉・介護べんり帖」により、効果的な情報発信に努めた。

### ①運営委員会の開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

### ②情報公表センター事業

- ・対象事業所数 3,670事業所(新規70、継続3,600)
- ・公表数 3,299事業所(新規10、継続3,289)
- ・公表率 89.9%

### ③福祉・介護べんり帖の運営

公式ホームページ「福祉・介護べんり帖」について、公表対象事業所に加えて、対象外の高齢者福祉事業所、障害福祉・児童福祉サービス事業所、インフォーマルサービスマップ等を一体的に発信することで、県内福祉情報の総合的な提供に努めた。



## 2 義務教育教員免許志願者等に対する介護等体験調整事業【一般会計一福祉人材センター事業費】

小学校及び中学校の教諭免許取得希望者に社会福祉施設での介護等の体験が義務付けられていることから、大学から社会福祉施設への受入調整を行った。

【体験者数等の内訳、推移】(単位:人)

| 項目      | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R01 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 申請大学数   | 36  | 33  | 36  | 32  | 30  | 33  | 20  |
| 体験決定大学数 | 36  | 33  | 36  | 32  | 29  | 33  | 19  |
| 体験決定者数  | 525 | 530 | 518 | 492 | 456 | 494 | 498 |
| うち辞退者   | 6   | 11  | 6   | 12  | 5   | 6   | 12  |
| 受入施設数   | 134 | 138 | 151 | 155 | 155 | 145 | 137 |

評価: 福祉・介護・保育分野の人材不足が長期化する中、本会には「情報発信」「福祉・介護・保育の仕事の正しい理解促進」「求職者に対するきめ細かな相談支援」「安心して働ける事業所運営支援」が求められている。

令和元年度は求人・求職・マッチングの実績は向上したが、①福祉の仕事の担い手増に向けたPR活動、②求職者へのきめ細かなニーズ把握・相談支援、③認証評価に向けた取り組みを進める事業所増、が大きな課題となっていた。そのため、①求職者の裾野拡大を目指す広報、②インターネット(特にSNS)の積極的活用、③ふくしニアをはじめとした中高生の他、保護者や小学生に対する理解促進、④学校就職担当者への働きかけ、⑤求人事業所・求職者への情報発信強化、⑥求人事業所・求職者との対話・交渉の強化、⑦働きやすい福祉事業所づくり支援、⑧ハローワーク、他機関・団体との情報共有など事業連携に取り組んだ。

新年度では年度末から始まった新型コロナウイルス感染症予防に関する社会の変化の中、求人・求職動向を見極めながら、柔軟に取り組んで行かなければならない。

### 3 福祉人材の育成・研修事業【一般会計－福祉人材センター事業費】

#### (1) 研修情報の発信と受講者情報の管理

県内の福祉研修情報を集約し、冊子・インターネット・ファックスを組み合わせることで効率的に情報発信し、福祉・介護職員の研修受講機会の増加に資した。

##### ①きやりあねっと「福祉研修ガイド2020」の発行

長野県版キャリアパス・モデル及び生涯研修の普及と各種団体における研修情報の幅広い提供を目的に作成し、各福祉関係事業所・関係団体に配布した。

- ・発行部数 8,000部
- ・掲載内容 研修計画(長野県、長野県社会福祉協議会、福祉関係団体等)

##### ②福祉研修実施団体共同ホームページ「きやりあねっと」の運営

本会及び長野県実施(委託等含む)の研修の他、福祉職員向けの研修実施団体の研修情報を掲載した。また、研修情報が調べやすくなるよう、ホームページをリニューアルした。

- ・登録団体 50団体
- ・掲載情報数 115件
- ・訪問件数 延べ23,780件

##### ③「月例ファックス研修情報」の発行

- ・送信先 約1,200事業所

#### (2) 福祉職員生涯研修(長野県委託研修事業)

「長野県福祉・介護サービス従事者のキャリアパス・モデル及び研修体系検討委員会」(平成22～23年度)での検討結果に基づき、福祉サービスを支える人材の確保と質の向上を目指し、全国社会福祉協議会が策定した「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」のカリキュラムによる4階層別の研修の他、長野県独自のプログラムを加え、全13課程の福祉職員生涯研修を実施した。

##### ①研修の実施状況

| 研修名                      | 会場                   | 実施日                       | 定員<br>(人)              | 受講者(人)<br>[上段人数/下段人数] | 定員比(%) | 修了者<br>(人) |
|--------------------------|----------------------|---------------------------|------------------------|-----------------------|--------|------------|
| 上級管理者課程<br>(種別共通)        | ホテル信濃路<br>(長野市)      | 12月2日(月)                  | 50                     | 41<br>[41]            | 82.0   | 38         |
| ※管理者課程<br>(種別共通)         | 上田市西部公民館<br>(上田市)    | 9月12日(木)<br>～13日(金)       | 50                     | 46<br>[92]            | 92.0   | 43         |
|                          | 浅間温泉みやま荘<br>(松本市)    | 令和2年<br>3月5日(木)<br>～6日(金) | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 |                       |        |            |
| 新任管理者課程<br>(種別共通)        | 長野市医師会館(長野市)         | 6月13日(木)                  | 80                     | 75<br>[75]            | 93.8   | 74         |
|                          | 飯田勤労者福祉センター<br>(飯田市) | 6月14日(金)                  | 80                     | 23<br>[23]            | 28.8   | 23         |
| キャリアマネージャー<br>養成課程(種別共通) | 県総合教育センター(塩尻市)       | 7月12日(金)                  | 80                     | 28<br>[56]            | 35.0   | 24         |
|                          | 浅間温泉みやま荘(松本市)        | 9月27日(金)                  |                        |                       |        |            |
|                          | 東御市総合福祉センター<br>(東御市) | 7月19日(金)<br>9月26日(木)      | 80                     | 31<br>[62]            | 38.8   | 23         |

| 研修名                   | 会場                          | 実施日                               | 定員<br>(人) | 受講者(人)<br>[上段実人数/下段延べ人数] | 定員比(%) | 修了者<br>(人) |
|-----------------------|-----------------------------|-----------------------------------|-----------|--------------------------|--------|------------|
| ※チームリーダー課程<br>(種別共通)  | 長野市医師会館<br>(長野市)            | 8月5日(月)<br>～6日(火)                 | 80        | 82<br>[164]              | 102.5  | 81         |
|                       | アイバル(駒ヶ根市)                  | 10月29日(火)<br>～30日(水)              | 80        | 50<br>[100]              | 62.5   | 47         |
|                       | 浅間温泉みやま荘<br>(松本市)           | 12月5日(木)<br>～6日(金)                | 80        | 50<br>[100]              | 62.5   | 48         |
| チームリーダー課程<br>(保育所等)   | ホテル信濃路(長野市)                 | 6月18日(火)<br>7月9日(火)               | 80        | 66<br>[132]              | 82.5   | 65         |
|                       | 浅間温泉みやま荘<br>(松本市)           | 9月17日(火)<br>10月15日(火)             | 80        | 75<br>[150]              | 93.8   | 67         |
| OJTリーダー養成課程<br>(種別共通) | 東御市総合福祉センター<br>(東御市)        | 10月3日(木)<br>11月7日(木)              | 80        | 61<br>[122]              | 76.3   | 59         |
|                       | 県総合教育センター<br>(塩尻市)          | 10月4日(金)<br>11月8日(金)              | 80        | 56<br>[112]              | 70.0   | 55         |
| ※中堅職員課程<br>(種別共通)     | 飯田勤労者福祉センター<br>(飯田市)        | 6月26日(水)<br>～27日(木)               | 80        | 44<br>[88]               | 55.0   | 41         |
|                       | 諏訪湖ハイツ(岡谷市)                 | 7月18日(木)<br>～19日(金)               | 80        | 74<br>[148]              | 92.5   | 71         |
|                       | ホテル信濃路(長野市)<br>長野県自治会館(長野市) | 9月30日(月)<br>～10月1日(火)             | 80        | 88<br>[196]              | 110.0  | 84         |
|                       | 東御市総合福祉センター<br>(東御市)        | 11月21日(木)<br>～22日(金)              | 80        | 50<br>[100]              | 62.5   | 47         |
|                       | 浅間温泉みやま荘<br>(松本市)           | 12月19日(木)<br>～20日(金)              | 80        | 56<br>[112]              | 70.0   | 52         |
| 新人育成担当者課程<br>(種別共通)   | 長野市医師会館(長野市)                | 5月24日(金)<br>6月21日(金)              | 80        | 57<br>[114]              | 71.3   | 57         |
|                       | 浅間温泉みやま荘<br>(松本市)           | 11月26日(火)<br>12月13日(金)            | 80        | 70<br>[140]              | 87.5   | 66         |
| ※新任職員課程<br>(種別共通)     | 上田市西部公民館<br>(上田市)           | 5月14日(火)<br>～15日(水)<br>6月19日(水)   | 50        | 37<br>[111]              | 74.0   | 36         |
|                       | 県自治会館<br>(長野市)              | 6月5日(水)<br>～6日(木)<br>7月3日(水)      | 80        | 87<br>[261]              | 108.8  | 87         |
|                       | 諏訪湖ハイツ(岡谷市)                 | 7月25日(木)<br>～26日(金)<br>8月23日(金)   | 80        | 77<br>[231]              | 96.3   | 70         |
|                       | 浅間温泉みやま荘<br>(松本市)           | 10月17日(木)<br>～18日(金)<br>11月15日(金) | 80        | 73<br>[219]              | 91.3   | 65         |
| 新任職員課程<br>(保育所等)      | 浅間温泉文化センター<br>(松本市)         | 5月31日(金)<br>7月5日(金)               | 80        | 81<br>[162]              | 101.3  | 79         |
|                       | 県自治会館(長野市)                  | 6月7日(金)<br>7月11日(木)               | 80        | 80<br>[160]              | 100.0  | 77         |
| 合計                    | 26会場                        | 53日間                              | -         | 1,558<br>[3,271]         | -      | 1,479      |

※は福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程のカリキュラム

## ②講師団会議の開催

「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」の進め方について、令和元年度の振り返りと今後の研修のあり方について協議した。

| 期日           | 会場          | 出席講師 |
|--------------|-------------|------|
| 令和2年1月17日(金) | 県社会福祉総合センター | 7人   |

## (3) 専門・課題別研修(長野県社協独自事業)

子育て支援機関のニーズに応え、子育て支援を担う保育士等を対象とした研修を実施した。なお、保育士を対象とした研修は、長野県こども・家庭課から保育士の「技能・経験に応じた保育士等の処遇改善」のキャリアアップ研修として指定された。

| 研修名                     |     | 会場              | 実施日       | 修了者<br>(人) |
|-------------------------|-----|-----------------|-----------|------------|
| 子育て支援機関<br>三歳未満児担当保育士研修 | 基礎編 | 県自治会館(長野市)      | 5月20日(月)  | 102        |
|                         | 応用編 | 浅間温泉みやま荘(松本市)   | 11月5日(火)  | 89         |
|                         |     | ホテル信濃路(長野市)     | 11月6日(水)  | 84         |
| 子育て支援機関<br>障がい児担当保育士研修  | 基礎編 | ホテル信濃路(長野市)     | 9月18日(水)  | 79         |
|                         | 応用編 | 浅間温泉文化センター(松本市) | 11月13日(水) | 83         |
|                         |     | 県自治会館(長野市)      | 12月11日(水) | 60         |
| 保護者支援<br>・子育て支援研修       | 基礎編 | ホテル信濃路(長野市)     | 8月22日(木)  | 52         |
|                         | 応用編 | 浅間温泉みやま荘(松本市)   | 8月29日(木)  | 71         |
|                         |     | 上田市西部公民館(上田市)   | 9月6日(金)   | 31         |
| 相談援助スキルアップ研修            |     | 浅間温泉みやま荘(松本市)   | 5月23日(木)  | 29         |
|                         |     |                 | 6月3日(月)   |            |
|                         |     | 長野市医師会館(長野市)    | 10月7日(月)  | 15         |
| キャリアパス制度運用研修            |     | ホテル信濃路(長野市)     | 10月10日(木) |            |
|                         |     | 県自治会館(長野市)      | 10月31日(木) | 22         |
|                         |     |                 | 12月18日(水) |            |
| 合計                      |     |                 |           | 717        |

評価： 福祉人材の確保・定着のため、本会では福祉職員研修や認証評価制度を通して福祉事業所でのキャリアパス制度の導入を推進してきたが、制度導入後に課題を抱える事業所も少なくない。こうした背景から、専門・課題別研修として「キャリアパス制度運用研修」を新設するなど、新たなニーズに対応した研修を実施した。

研修内容の評価については、終了後に回収する「振り返りシート」の集計から、受講生から概ね高い評価を得ていると分析している。特に、「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」に準拠した研修に参加した受講生からは、各々のキャリアステージについて気づきがあったとの記述も多く、所期の目的を達成できていると思われる。また、新たに「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」に職員を参加させた事業所に対しアンケートを実施した。回答した法人・事業所の51.0%が「職員の意識面や行動面に変化があった」、96.0%が「今後も職員も参加させたい」としており、高く評価されている。

一方、受講者数は福祉職員生涯研修、専門・課題別研修とも受講者とも前年度か200人前後受講者が減少した。原因として受講料の値上げや災害、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による研修中止、職員を参加させる法人・事業所の固定化が考えられる。研修内容については評価されているので、今後はこのデータを元にまだ本会の研修事業を利用していない法人・事業所に働きかけていく必要がある。



#### 4 介護サービスの支援事業

##### (1) 長野県介護支援専門員実務研修受講試験 【一般会計一介護支援専門員試験事業費】

長野県から指定試験実施機関の指定を受け、長野県介護支援専門員実務研修の受講者を選考する介護支援専門員実務研修受講試験を実施した。なお、令和元年東日本台風災害の影響により当初予定された10月13日(日)の試験実施は中止し、令和2年3月8日(日)に再試験を実施した。

###### ①指定試験実施機関について

- ・ 指定期間 平成27年度～令和元年度

###### ②試験日程

- ・ 募集案内配布期間 令和元年6月3日(月)から7月1日(月)まで
- ・ 受験申込受付 令和元年6月3日(月)から7月1日(月)まで
- ・ 試験日時(再試験) 令和2年3月8日(日)午前10時から12時まで
- ・ 合格発表期日 令和2年4月21日(火)

###### ③受験者数等

- ・ 受験申込書提出者数 1,083人
- ・ [当初]受験申込者数 1,072人
- ・ [再試験]受験申込者数 956人
- ▷[再試験]事前辞退者 306人
- ▷[再試験]当日欠席者 54人
- ・ [再試験]受験者数 596人
- ・ 合格者数 150人

###### ④試験会場

- ・ 信州大学松本キャンパス(松本市)

##### (2) 介護支援専門員研修事業(県指定研修) 【一般会計一介護支援専門員研修事業費】

長野県から指定研修実施機関の指定を受け、介護保険法に定められる法定研修を実施した。なお、10月に実施予定だった長野県介護支援専門員実務研修受講試験が中止となったため、その合格者を対象とする介護支援専門員実務研修は、再試験の合格発表後に実施することとなった。

###### ①介護支援専門員研修(法定研修)の実施状況

| 研修名                               |                     | 実施回数<br>(回) | 実施日数<br>(日) | 修了者<br>(人) |
|-----------------------------------|---------------------|-------------|-------------|------------|
| 介護支援専門員実務研修[未実施]                  |                     | -           | -           | -          |
| 介護支援専門員更新研修(実務経験者)                |                     | 4           | 42          | 642        |
| 内訳                                | 初回更新者 <sup>※1</sup> | 2           | 30          | 293        |
|                                   | 2回目更新者              | 2           | 12          | 349        |
| 介護支援専門員更新研修(実務未経験者) <sup>※2</sup> |                     | 1           | 8           | 142        |
| 介護支援専門員専門研修(専門Ⅰ及びⅡ) <sup>※1</sup> |                     | 4           | 30          | 185        |
| 内訳                                | 専門Ⅰ                 | 2           | 18          | 121        |
|                                   | 専門Ⅱ                 | 2           | 12          | 64         |
| 主任介護支援専門員研修                       |                     | 2           | 24          | 198        |

| 研修名           | 実施回数<br>(回) | 実施日数<br>(日) | 修了者<br>(人) |
|---------------|-------------|-------------|------------|
| 主任介護支援専門員更新研修 | 2           | 16          | 134        |
| 介護支援専門員再研修※2  | 1           | 8           | 131        |
| 合計            | 14          | 128         | 1,432      |

※1 介護支援専門員更新研修(実務経験者・初回更新)と介護支援専門員専門研修は同時開催。

※2 介護支援専門員更新研修(実務未経験者)と介護支援専門員再研修は同時開催。

## ②長野県介護支援専門員研修委員会・企画部会の開催

介護支援専門員研修の企画・運営のため、研修委員会及び企画部会を開催した。

|                         | 期日                | 会場              |
|-------------------------|-------------------|-----------------|
| 長野県介護支援専門員研修委員会※        | 平成31年<br>4月11日(木) | 県社会福祉総合センター     |
|                         | 令和2年<br>2月12日(水)  | 松本合同庁舎          |
| 長野県介護支援専門員研修委員会<br>企画部会 | 平成31年<br>4月11日(木) | 県社会福祉総合センター     |
|                         | 令和元年<br>5月10日(金)  | 県社会福祉総合センター     |
|                         | 6月1日(土)           | 松塩筑木曽老人福祉施設組合本部 |
|                         | 7月20日(土)          | 松塩筑木曽老人福祉施設組合本部 |
|                         | 9月10日(火)          | 松塩筑木曽老人福祉施設組合本部 |
|                         | 11月16日(土)         | 松塩筑木曽老人福祉施設組合本部 |
|                         | 12月6日(金)          | 松塩筑木曽老人福祉施設組合本部 |
|                         | 令和2年<br>1月31日(金)  | 県社会福祉総合センター     |
|                         | 2月12日(水)          | 松本合同庁舎          |

※ 長野県介護支援専門員研修委員会は県が主催

## ③介護支援専門員研修演習助言者フォローアップ研修

介護支援専門員研修の演習において受講者に的確な指導をするため、指導する助言者のレベルアップを目的とした研修を実施した。

- ・期 日 平成31年4月19日(金)～20日(土)
- ・会 場 県社会福祉総合センター、ホテル信濃路(長野市)
- ・参加者 44人

## ④介護支援専門員研修に係る演習助言者養成研修

介護支援専門員研修での演習指導者を養成する研修を実施した。(主任介護支援専門員研修1期12日目と同時開催)

- ・期 日 令和元年10月4日(金)
- ・会 場 長野市生涯学習センター
- ・参加者 10人

#### ⑤介護支援専門員実務研修実習指導者養成研修

介護支援専門員実務研修の居宅支援事業所での実習指導者養成研修を実施した。(主任介護支援専門員研修 2 期12日目と同時開催)

- ・期 日 令和 2 年 1 月17日(金)
- ・会 場 松本市浅間温泉文化センター
- ・参加者 63人

評価： 介護支援専門員実務研修受講試験実施機関、介護支援専門員研修指定研修実施機関として、台風災害や新型コロナウイルス感染症に対応し、責任を持って適正に業務を実施することができた。財政面においては、試験事業は再試験に関わる経費の一部補助により安定的に実施することができた。研修事業については、受講者の減少や会場費の高騰などを原因とする構造的な収支不均衡が続く中で実務研修の中止など、今後の事業継続が厳しい状況になっている。今後、より適正な予算執行とともにその上での収入不足を補填する補助制度について、引き続き長野県と協議する必要がある。

介護支援専門員研修の研修内容については、受講後の振り返りシート(アンケート)からみて、受講者から高い評価を得ていると考えられる。今後も高齢者ケアの専門職として、地域共生社会の・地域包括ケアを担うため、介護支援専門員の資質向上を目指した研修にしていく必要がある。



# 令和元年(平成 31 年)度事業報告書

長野県福祉サービス運営適正化委員会



# 1 長野県福祉サービス運営適正化委員会の運営

【一般会計—生活支援事業費】

## (1) 県福祉サービス運営適正化委員会の開催

### ① 運営適正化委員

○委員数 8人

○構成

|       |    |                                             |
|-------|----|---------------------------------------------|
| 公益代表  | 2人 | 川島 良雄 氏 (大学教授)<br>小宮山 直道 氏 (長野県社会福祉士会)      |
| 利用者代表 | 1人 | 鎌田 晴之 氏 (認知症の人と家族の会長野県支部)                   |
| 事業者代表 | 1人 | 小林 彰 氏 (長野県知的障がい福祉協会)                       |
| 法律関係  | 2人 | 神戸 美佳 氏 (長野県弁護士会)<br>宮川 洋一 氏 (長野県司法書士会)     |
| 医療関係  | 2人 | 飯塚 康彦 氏 (長野県医師会)<br>岩田 宜己子 氏 (長野県精神保健福祉士協会) |

[任期：平成30年8月7日～令和2年8月6日]

### ② 運営適正化委員会の開催

○期日会場 令和元年 9月 5日 (木) 県社会福祉総合センター

内 容 ・令和元年度事業の進捗状況について

○期 日 令和2年 3月 23日 (月) (新型コロナウイルス感染症対策のため書面決議)

内 容 ・令和元年度事業の進捗状況について  
・令和2年度事業計画(案)について

### ③ 運営監視合議体の開催

○期日会場 令和元年 9月 5日 (木) 県社会福祉総合センター

内 容 ・日常生活自立支援事業現地調査の実施について

○期日会場 令和2年 3月 23日 (月) (新型コロナウイルス感染症対策のため書面決議)

内 容 ・日常生活自立支援事業現地調査結果について  
・日常生活自立支援事業に対する助言・勧告について

### ④ 日常生活自立支援事業現地調査の実施

○期 日 令和元年 9月～12月

○対 象 8基幹的社会福祉協議会 (準基幹的社会福祉協議会含む)

- ・佐久市社会福祉協議会 令和元年12月 4日 (水)
- ・岡谷市社会福祉協議会 令和元年11月 19日 (火)
- ・諏訪市社会福祉協議会 令和元年11月 25日 (月)
- ・茅野市社会福祉協議会 令和元年11月 18日 (月)
- ・塩尻市社会福祉協議会 令和元年10月 28日 (月)
- ・須坂市社会福祉協議会 令和元年12月 19日 (木)
- ・飯山市社会福祉協議会 令和元年 9月 26日 (木)
- ・軽井沢町社会福祉協議会 令和元年11月 29日 (金)

- 内 容 ・書類預かり状況の確認及び日常的金銭管理通帳の支出状況と  
利用援助報告書の照合確認他（事務局）  
・日常生活自立支援事業全般についての聞き取り調査及び  
状況確認（委員）

#### ⑤ 苦情解決合議体の開催

- 期日会場 令和元年 5月17日（金）県社会福祉総合センター  
令和元年 7月19日（金）県社会福祉総合センター  
令和元年 9月 5日（木）県社会福祉総合センター  
令和元年12月 6日（金）県社会福祉総合センター  
令和2年 1月17日（金）県社会福祉総合センター  
令和2年 3月23日（月）（新型コロナウイルス感染症対策のため  
書面決議）

- 内 容 ・苦情申し立てに対する対応の検討等

## 2 福祉サービスに関する苦情解決事業の実施について

### （1） 対応実績

- ① 苦情受付件数 52件（昨年度からの継続対応2件を含む）

| 苦情の種類   |     | 苦情の内容              | 対応結果         |
|---------|-----|--------------------|--------------|
| ・高齢者関係  | 14件 | ・職員の接遇に関するもの 32件   | ・相談助言 3件     |
| ・障がい者関係 | 27件 | ・サービスの質や量に関するもの 9件 | ・事業所伝達 43件   |
| ・児童関係   | 5件  | ・利用、情報提供に関するもの 5件  | ・あっせん 0件     |
| ・救護関係   | 1件  | ・利用料に関するもの 1件      | ・関係機関紹介伝達 4件 |
| ・社協関係   | 5件  | ・被害、損害に関するもの 1件    | ・知事通知 0件     |
| ・その他    | 0件  | ・権利侵害に関するもの 4件     | ・その他 2件      |
|         |     | ・その他 0件            | ・対応継続中 0件    |

（延べ苦情対応回数 349回）

- ② 相談対応件数 186件（延べ相談対応回数 220回）

### （2） 事業所段階における苦情対応システムづくりの支援

#### ① 苦情対応に関する調査の実施

- ・対 象 県下3,079ヶ所の福祉施設等  
・回収率 42.8%（1,318事業所）

#### ② 苦情対応実践講座

- 期日会場 【中南信会場】令和元年 6月13日（木）  
松本市浅間温泉文化センター  
【東北信会場】令和元年 6月14日（金）  
ホクト文化ホール（長野市）

- 参 加 者 224名（中南信会場97名、東北信会場127名）  
福祉・介護サービス事業所（保育所含む）の苦情解決責任者、



受付担当者

- 内 容 「事例から学ぶ苦情対応とリスクマネジメント」  
(講義・グループワーク)

講師 山田 滋 氏 (株式会社安全な介護 代表取締役)

### ③ 苦情対応システム研修会

- 期日会場 【中南信会場】 令和元年 10 月 24 日 (木)

長野県伊那文化会館

- 【東北信会場】 令和元年 11 月 14 日 (木)

メセナホール (須坂市文化会館)

- 参 加 者 1,044 名 (中南信会場 451 名、東北信会場 593 名)

福祉・介護サービス事業者・保育所等の苦情解決責任者、  
苦情受付担当者、第三者委員等

- 内 容

シンポジウム 「福祉サービスにおける苦情の把握と対応について」

- ・シンポジスト 長野県福祉サービス運営適正化委員会委員 (苦情解決合議体委員)

神戸 美佳 氏 (弁護士)

小宮山 直道 氏 (社会福祉士)

岩田 宜己子 氏 (精神保健福祉士)

- ・コーディネーター 川島 良雄 (長野県福祉サービス運営適正化委員会委員長)

### ④ 福祉施設巡回指導

- 内 容 苦情 (意見要望含む) の受付状況及び苦情対応システム等についての  
意見聴収及び助言等

- 訪問実績

令和 2 年 2 月 10 日 (月) ・社会福祉協議会 (1 施設)

### (3) 広報啓発活動

- ① ポスターの配布
- ② 福祉だより信州への掲載
- ③ 長野県社会福祉協議会ホームページを通じての周知

